

1. 地質の概要に関する補足	P. 3
2. 解析用物性値に関する補足	P. 17
3. 評価方針に関する補足	P.101
4. 評価結果に関する補足	P.185
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認	P.185
4. 2 すべり安全率一覧	P.227
4. 3 地震時最大接地圧一覧	P.297
4. 4 基礎底面の傾斜一覧	P.305
4. 5 静的非線形解析による検討	P.313
4. 6 解析用物性値の使い分けによる影響	P.337
参考文献	P.356

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

①検討内容及び検討結果(1/3)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○審査ガイド※に準拠し、設定したすべり面について、要素の安全率が低い領域やモビライズド面との位置関係を踏まえ、設定したすべり面の妥当性を確認する。

※審査ガイド「4. 1 地震力に対する基礎地盤の安定性評価(2) 確認事項」に記載されているすべり面設定上確認すべき事項に該当する項目。

【検討内容】

- 最小すべり安全率発生時刻の応力状態を踏まえ、要素ごとの安全係数図及び主応力分布図を作成し、設定したすべり面が要素の安全率が低い領域(せん断強度に達した要素や引張応力が発生した要素)を通るすべり面になっていることを確認する。
- また、同応力状態を踏まえ、モビライズド面図を作成し、設定したすべり面がモビライズド面を通るすべり面になっていることを確認する。
- 要素の安全率が低い領域やモビライズド面からすべり面が想定される場合は、設定したすべり面と比較の上、必要に応じてすべり面を追加設定する。
- せん断強度に達した要素や引張応力が発生した要素における強度の考え方は、P189参照。

【検討結果】

- 要素ごとの安全係数図、主応力分布図及びモビライズド面図を確認した結果、設定したすべり面については、下表及びP187～P188の表に示す確認結果のとおり、いずれも妥当な設定となっており、すべり面を追加設定する必要はないことを確認した。

断面	確認結果
X-X'断面 (原子炉建屋 基礎地盤)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布(P190～P191参照)】 ○せん断強度に達した要素及び引張応力が発生した要素が連続的に分布しないことから、これらの要素の分布を踏まえたすべり面は想定されないため、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面(P192参照)】 ○モビライズド面を概ね通るすべり面が、想定すべり面の設定において、パラメトリックに検討している範囲(既検討範囲)に含まれることから、すべり面の追加設定は不要である。
Y-Y'断面 (原子炉建屋 基礎地盤)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布(P194～P195参照)】 ○引張応力が発生した要素が斜面内に連続しており、せん断強度に達した要素がF-11断層に認められる。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素及びせん断強度に達した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面(P196参照)】 ○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

(次頁へ続く)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

①検討内容及び検討結果 (2/3)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

(前頁からの続き)

断面	確認結果
a-a'断面 (緊急時対策所 指揮所基礎地盤)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P198～P199参照)】 ○引張応力が発生した要素が連続的に分布しないが、せん断強度に達した要素がF-1断層に認められる。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素及びせん断強度に達した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P200参照)】 ○モビライズド面を概ね通るすべり面が、想定すべり面の設定において、パラメトリックに検討している範囲 (既検討範囲) に含まれることから、すべり面の追加設定は不要である。
b-b'断面 (緊急時対策所 指揮所基礎地盤)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P202～P203参照)】 ○引張応力が発生した要素が緊急時対策所指揮所周辺に連続している。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P204参照)】 ○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。
c-c'断面 (防潮堤基礎地盤)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P206～P207参照)】 ○引張応力が発生した要素が主に防潮堤山側の岩盤部において連続している。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P208～P209参照)】 ○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。
e-e'断面 (防潮堤基礎地盤)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P210～P211参照)】 ○引張応力が発生した要素が主に防潮堤山側の岩盤部において連続している。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P212～P213参照)】 ○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

(次頁へ続く)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

①検討内容及び検討結果 (3/3)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

(前頁からの続き)

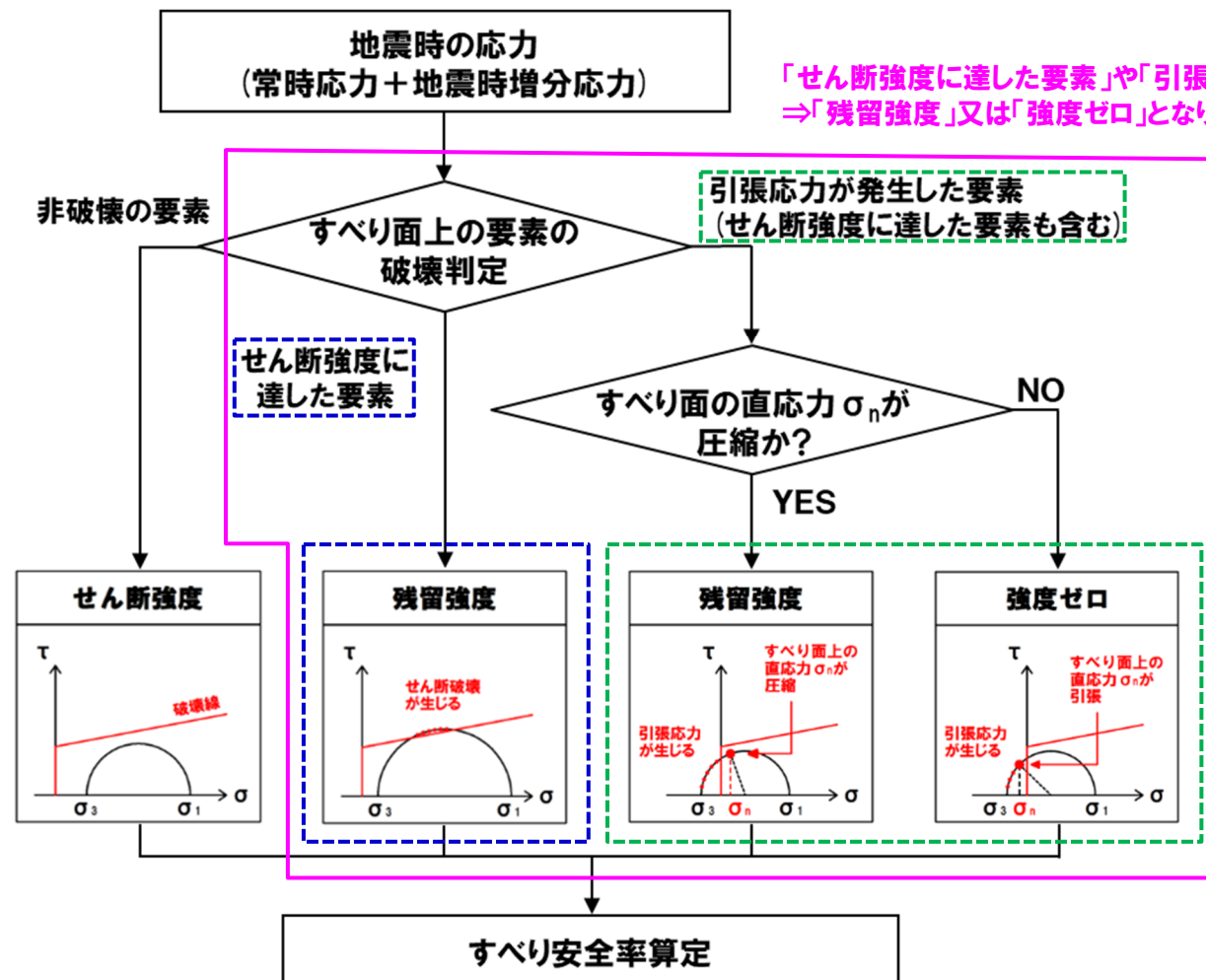
断面	確認結果
Y-Y'断面 (原子炉建屋等 周辺斜面)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P214～P215参照)】 ○引張応力が発生した要素が斜面中腹付近に連続しており、せん断強度に達した要素がF-11断層に認められる。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素及びせん断強度に達した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P216～P217参照)】 ○F-11断層から斜面法尻に抜ける部分では、モビライズド面を概ね通るすべり面が想定されるものの、そのすべり安全率は2.0 (平均強度) であり、設定したすべり面の最小すべり安全率1.6 (平均強度) より大きいことから、すべり面の追加設定は不要である。
B-B'断面 (茶津側防潮堤 周辺斜面)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P220～P221参照)】 ○引張応力が発生した要素が斜面内に連続している。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P222～P223参照)】 ○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。
C-C'断面 (堀株側防潮堤 周辺斜面)	【要素ごとの安全係数及び主応力分布 (P224～P225参照)】 ○引張応力が発生した要素が斜面内に連続している。 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。 【モビライズド面 (P226参照)】 ○最小すべり安全率を示すすべり面は、モビライズド面を概ね通るすべり面であることから、すべり面の追加設定は不要である。

4.1 設定したすべり面の妥当性確認

(参考) せん断強度に達した要素や引張応力が発生した要素における強度の考え方

一部修正 (R6/1/19審査会合)

- 岩盤及び断層の強度は、モールクーロンの破壊基準に従い、すべり面上の要素の応力状態に応じて設定する。
- せん断強度に達した要素や引張応力が発生した要素における強度を以下に示す。



「せん断強度に達した要素」や「引張応力が発生した要素」
⇒「残留強度」又は「強度ゼロ」となり、要素の安全率が低くなる

すべり安全率算定フロー (強度の考え方)

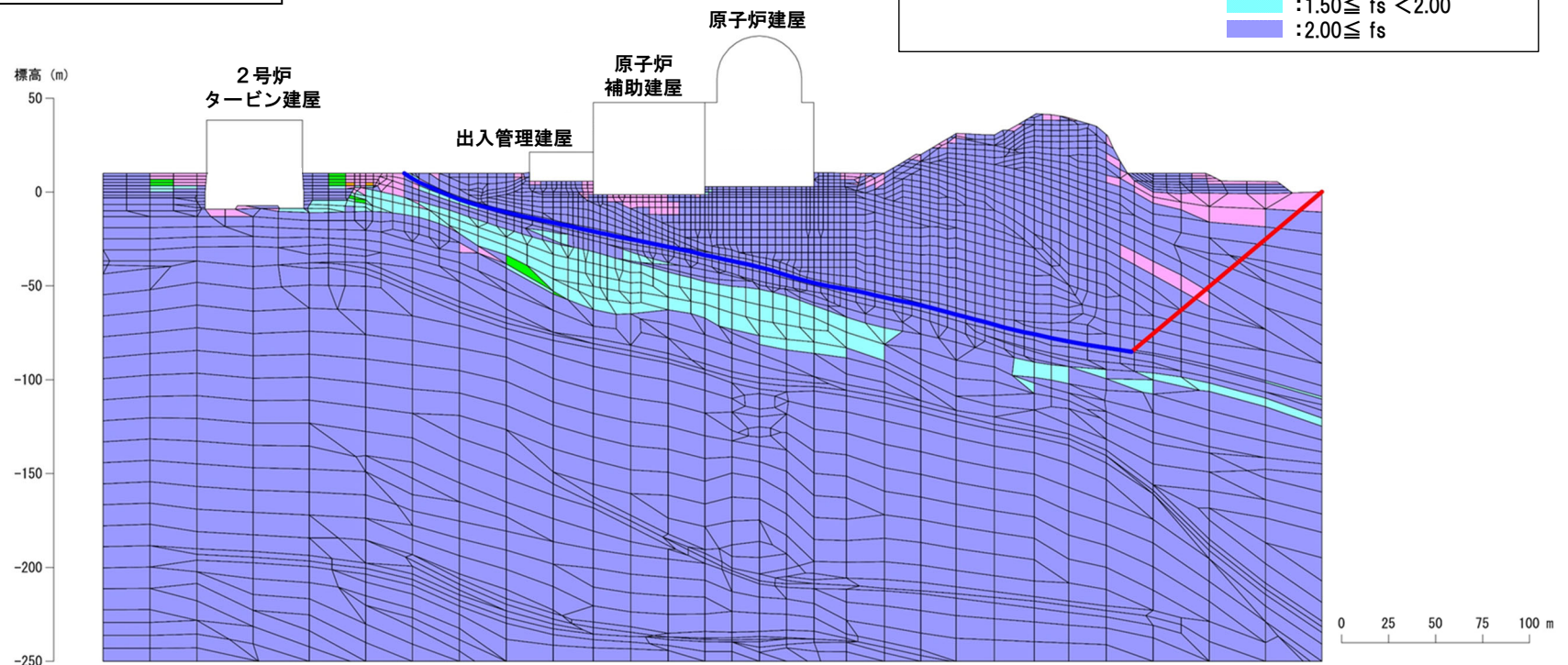
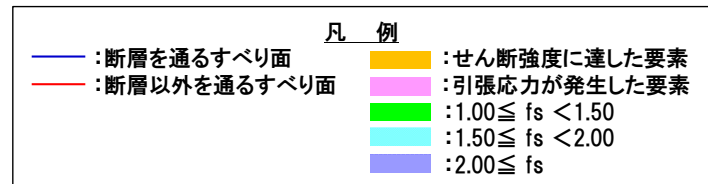
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

②-1 要素ごとの安全係数:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○最小すべり安全率発生時刻において、せん断強度に達した要素及び引張応力が発生した要素が連続的に分布しないことから、これらの要素の分布を踏まえたすべり面は想定されないため、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (-,+)
- ・時刻 : 7.54秒
- ・すべり安全率 : 2.1 (平均強度)

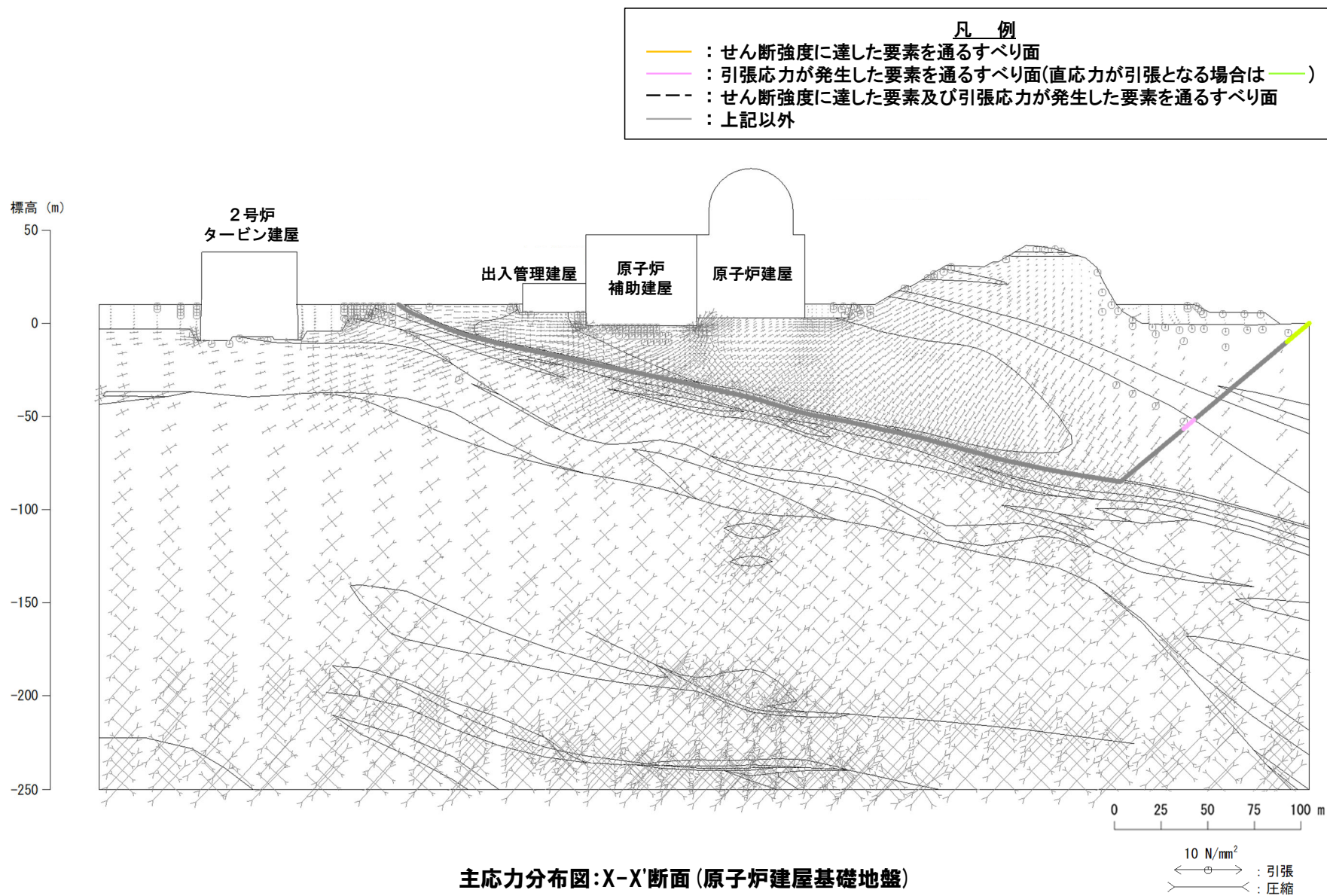


要素ごとの安全係数図:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

②-2 主応力分布:X-X'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

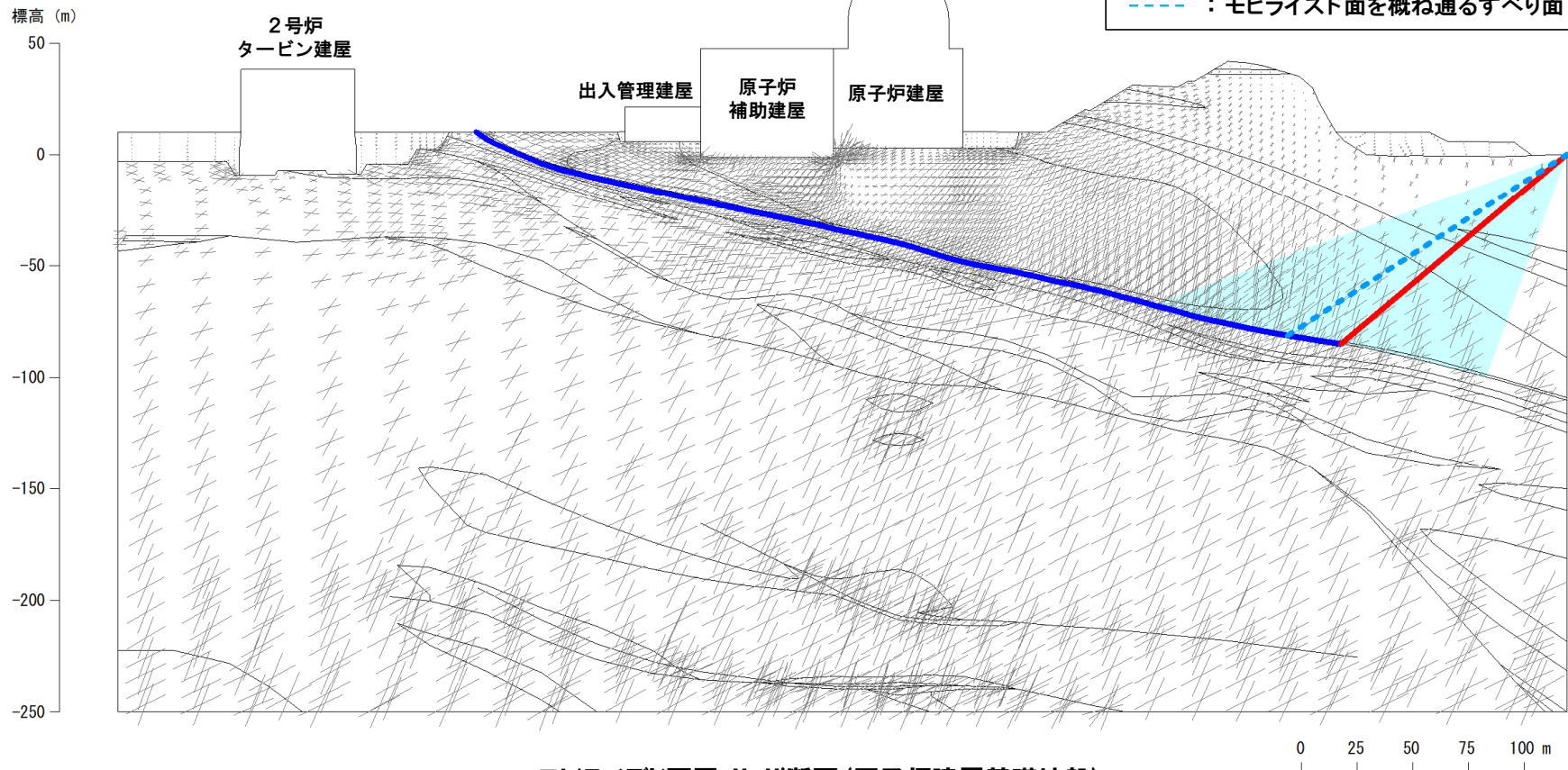
②-3 モビライズド面:X-X'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○F-11断層から解析モデル右端に抜ける部分では、モビライズド面を概ね通るすべり面 (下図の青破線) が想定されるものの、想定すべり面の設定において、パラメトリックに検討している範囲 (既検討範囲) に含まれることから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (-,+)
- ・時刻 : 7.54秒
- ・すべり安全率 : 2.1 (平均強度)

- 凡 例
- : パラメトリックに設定している範囲
 - : 断層を通るすべり面
 - : 断層以外を通るすべり面
 - - - : モビライズド面を概ね通るすべり面



モビライズド面図:X-X'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

余白

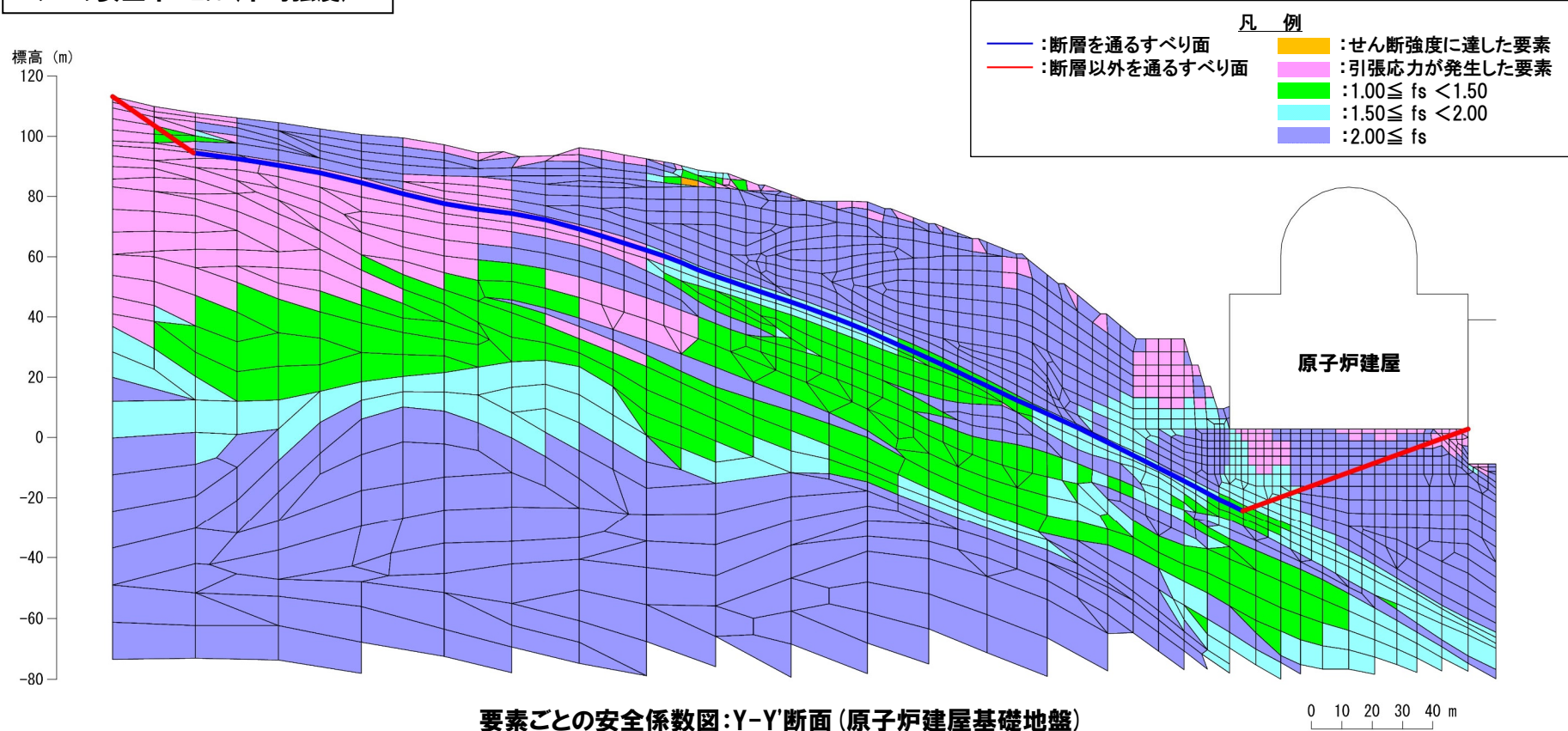
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

③-1 要素ごとの安全係数:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が斜面内に連続しており、せん断強度に達した要素がF-11断層に認められる(次頁参照)。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素(直応力が引張となる強度の低い要素も含む)及びせん断強度に達した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。

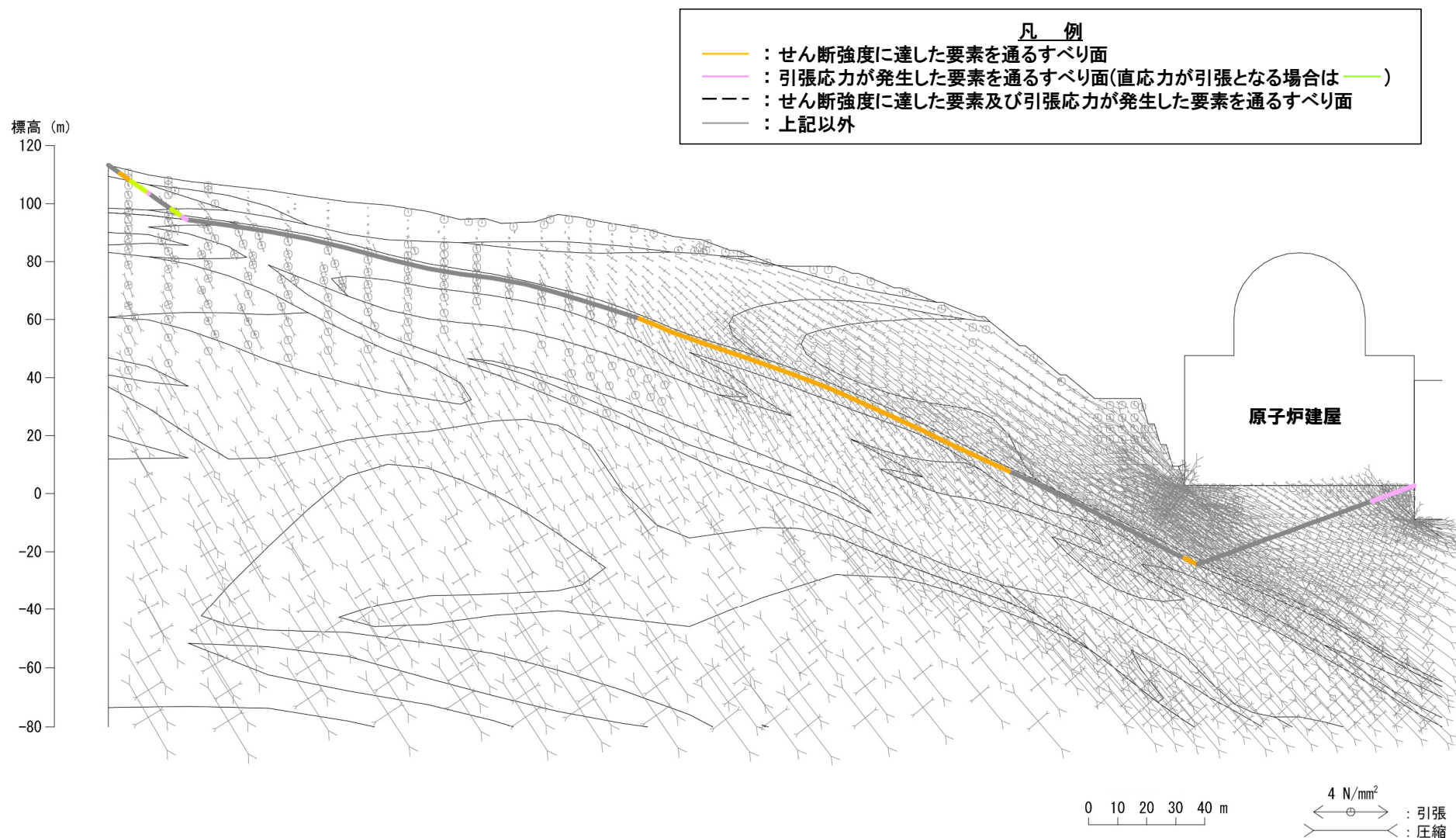
- ・基準地震動 : Ss3-4(+,+)
- ・時刻 : 7.54秒
- ・すべり安全率 : 2.0(平均強度)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

③-2 主応力分布:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)



主応力分布図:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

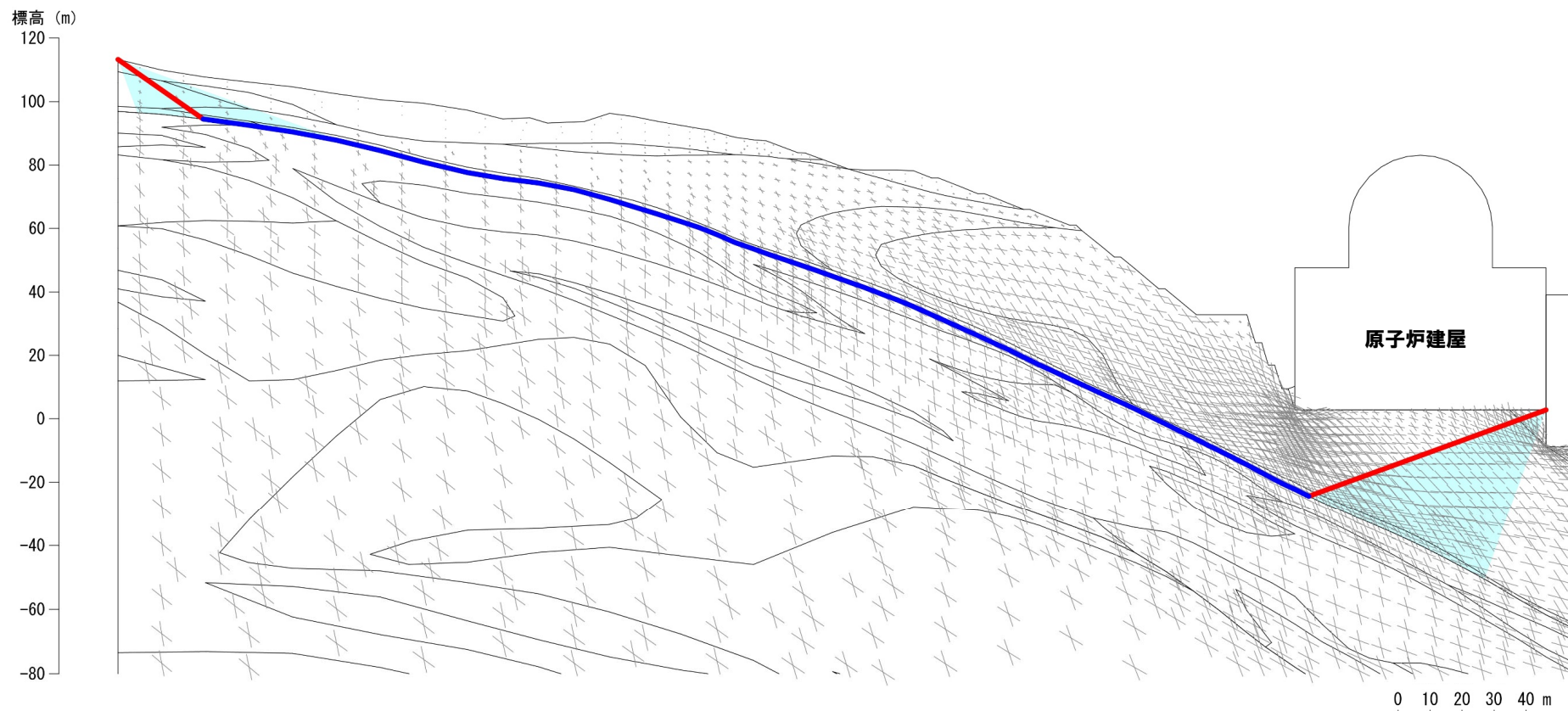
③-3 モビライズド面:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (+,+)
- ・時刻 : 7.54秒
- ・すべり安全率 : 2.0 (平均強度)

- 凡 例
- ：パラメトリックに設定している範囲
 - ：断層を通るすべり面
 - ：断層以外を通るすべり面



モビライズド面図:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤)

余白

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

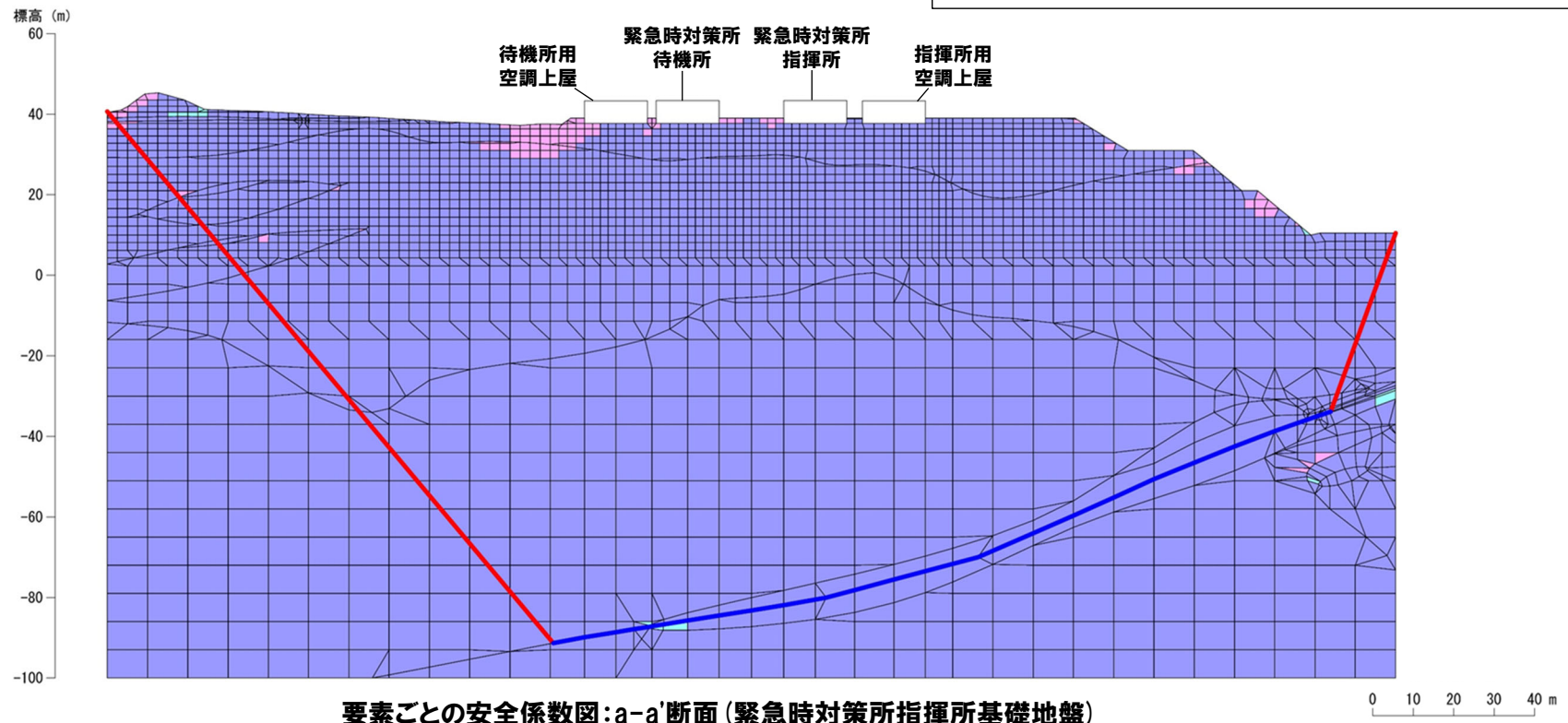
④-1 要素ごとの安全係数:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が連続的に分布しないが、せん断強度に達した要素がF-1断層に認められる(次頁参照)。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素(直応力が引張となる強度の低い要素も含む)及びせん断強度に達した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4(+,+)
- ・時刻 : 7.53秒
- ・すべり安全率 : 4.1(平均強度)

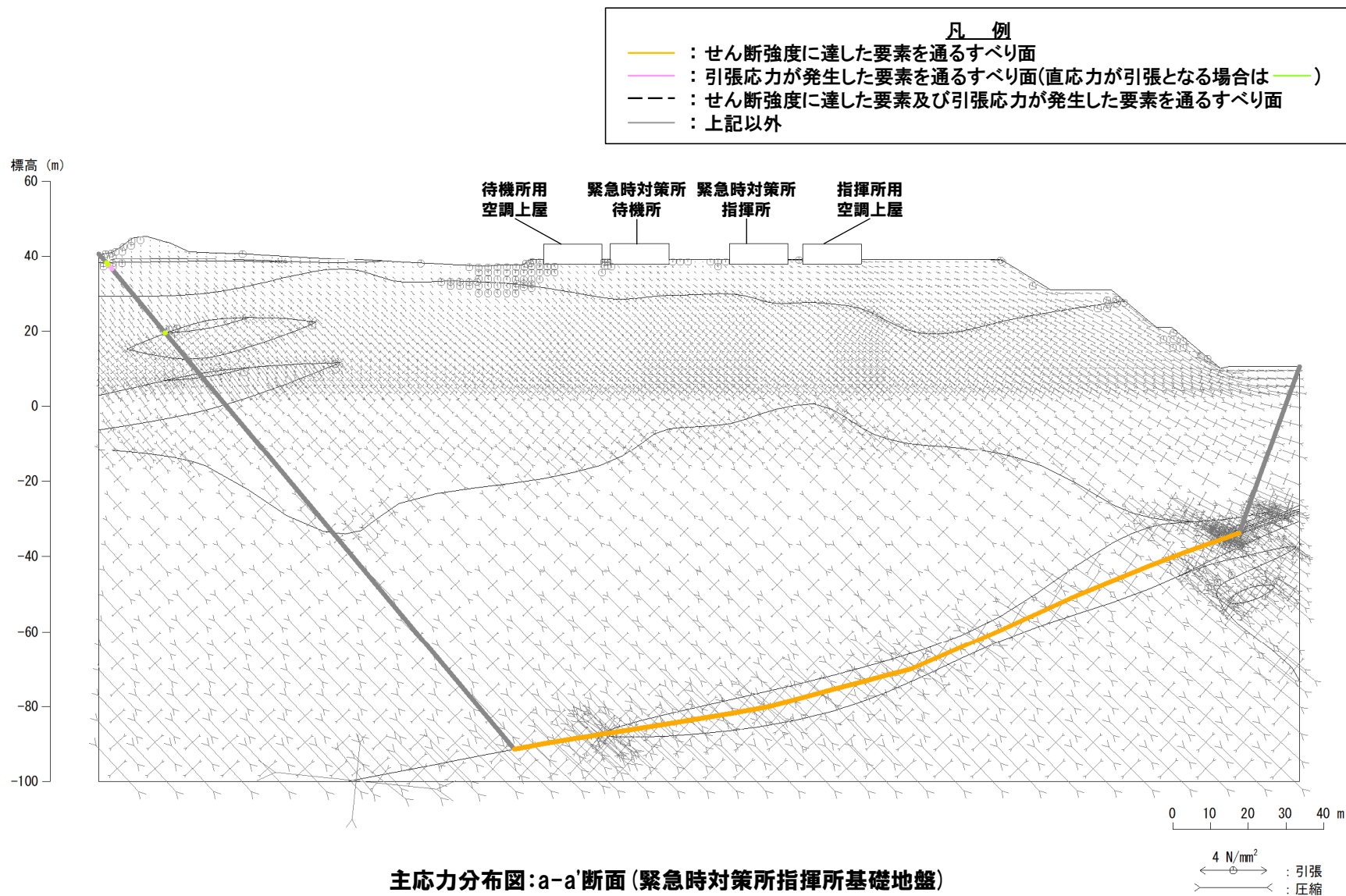
凡 例	
— : 断層を通るすべり面	■ : せん断強度に達した要素
— : 断層以外を通るすべり面	■ : 引張応力が発生した要素
	■ : $1.00 \leq fs < 1.50$
	■ : $1.50 \leq fs < 2.00$
	■ : $2.00 \leq fs$



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

④-2 主応力分布:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

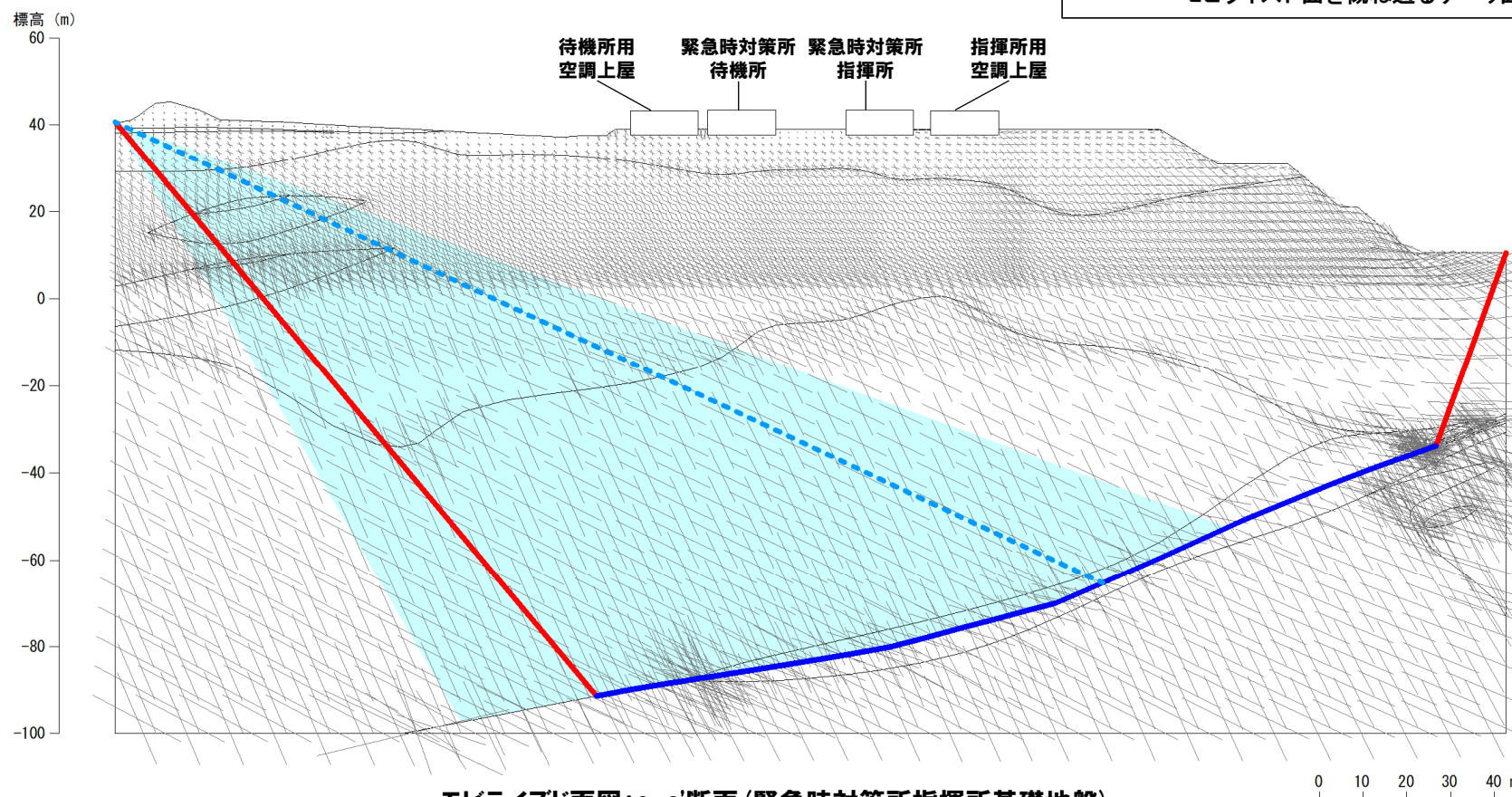
④-3 モビライズド面:a-a'断面 (緊急時対策所指揮所基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○解析モデル左端からF-1断層に至る部分では、モビライズド面を概ね通るすべり面 (下図の青破線) が想定されるものの、想定すべり面の設定において、パラメトリックに検討している範囲 (既検討範囲) に含まれることから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (+,+)
- ・時刻 : 7.53秒
- ・すべり安全率 : 4.1 (平均強度)

- 凡 例
- : パラメトリックに設定している範囲
 - : 断層を通るすべり面
 - : 断層以外を通るすべり面
 - - - : モビライズド面を概ね通るすべり面



モビライズド面図:a-a'断面 (緊急時対策所指揮所基礎地盤)

余白

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

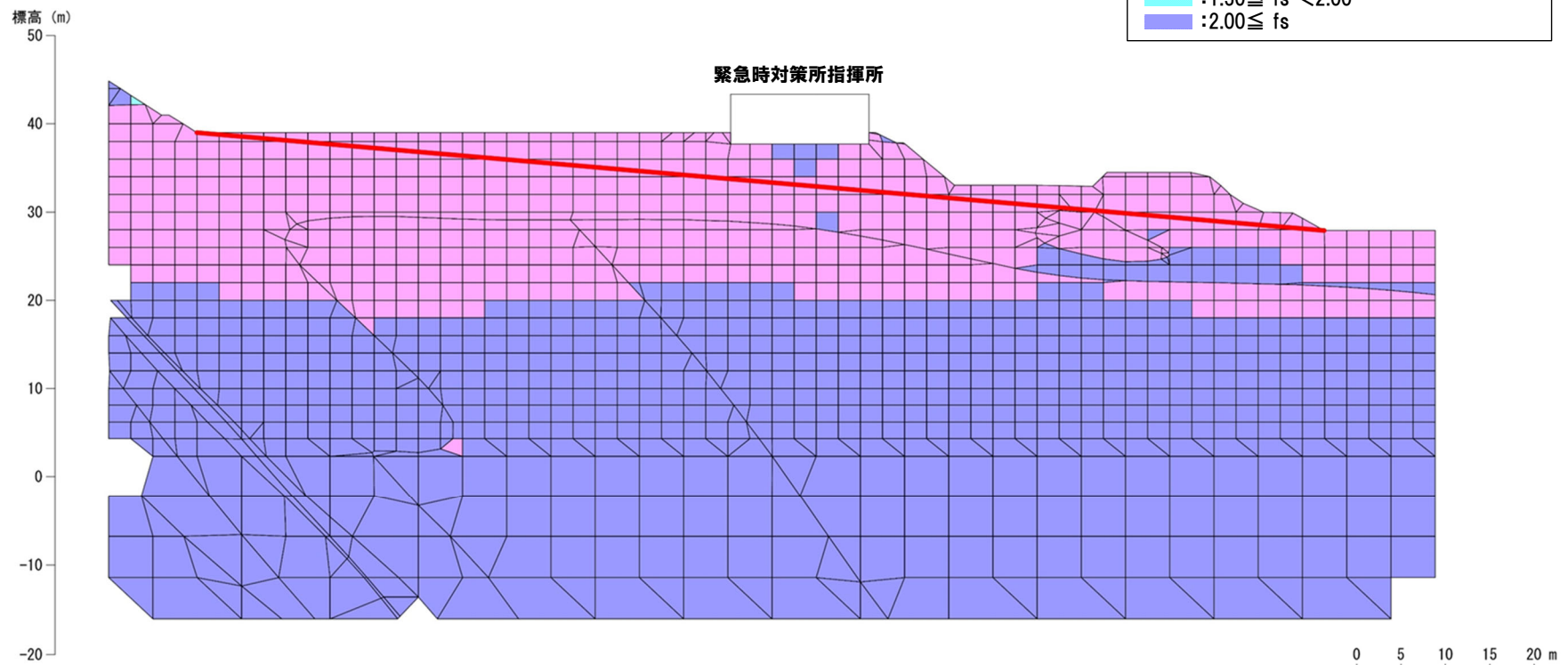
⑤-1 要素ごとの安全係数:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が緊急時対策所指揮所周辺に連続している。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素(直応力が引張となる強度の低い要素も含む)を通る位置に設定されている(次頁参照)ことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4(+,+)
- ・時刻 : 7.43秒
- ・すべり安全率 : 5.0(平均強度)

- 凡 例
- : 断層以外を通るすべり面
 - : せん断強度に達した要素
 - : 引張応力が発生した要素
 - : $1.00 \leq fs < 1.50$
 - : $1.50 \leq fs < 2.00$
 - : $2.00 \leq fs$

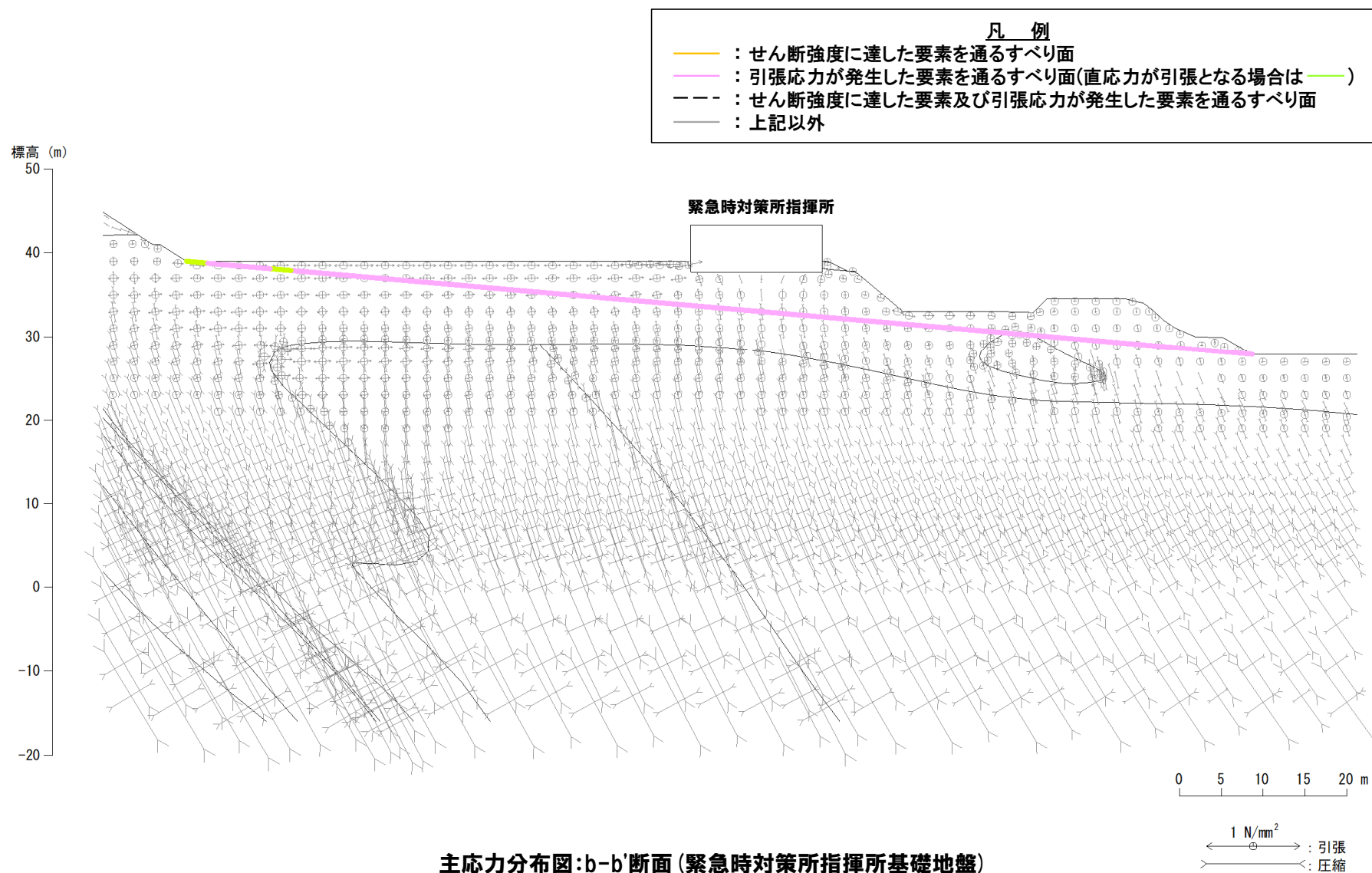


要素ごとの安全係数図:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑤-2 主応力分布:b-b'断面 (緊急時対策所指揮所基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

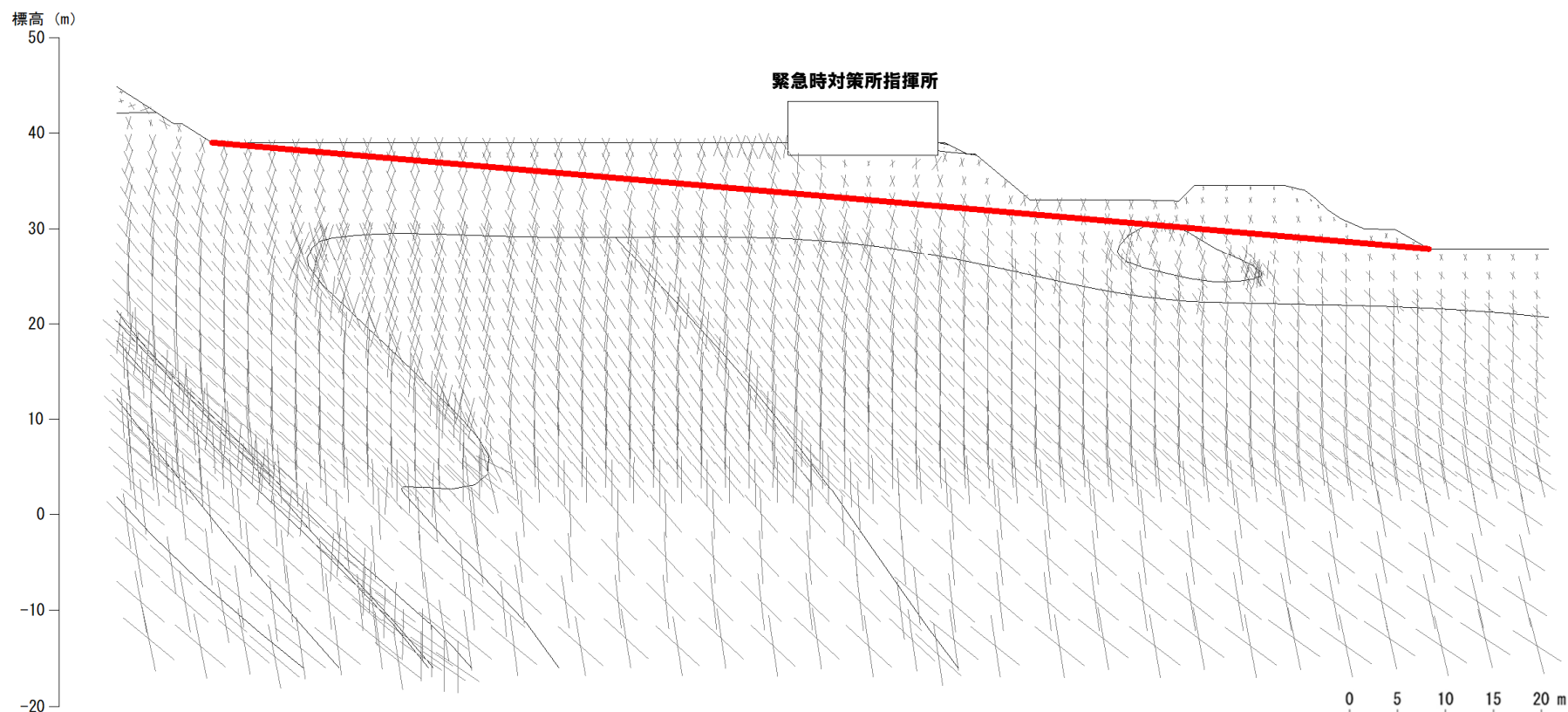
⑤-3 モビライズド面:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (+,+)
- ・時刻 : 7.43秒
- ・すべり安全率 : 5.0 (平均強度)

凡 例
— : 断層以外を通るすべり面



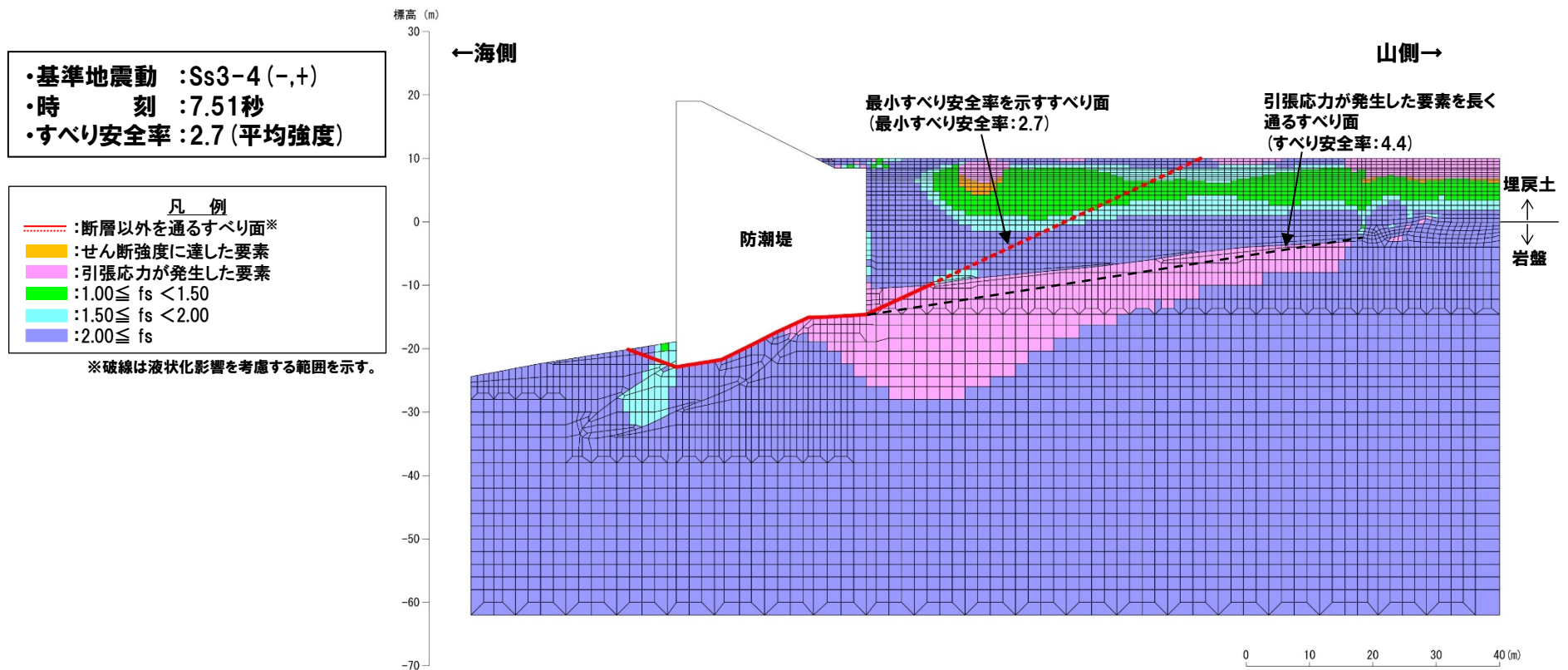
モビライズド面図:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)

余白

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑥-1 要素ごとの安全係数:c-c'断面(防潮堤基礎地盤)

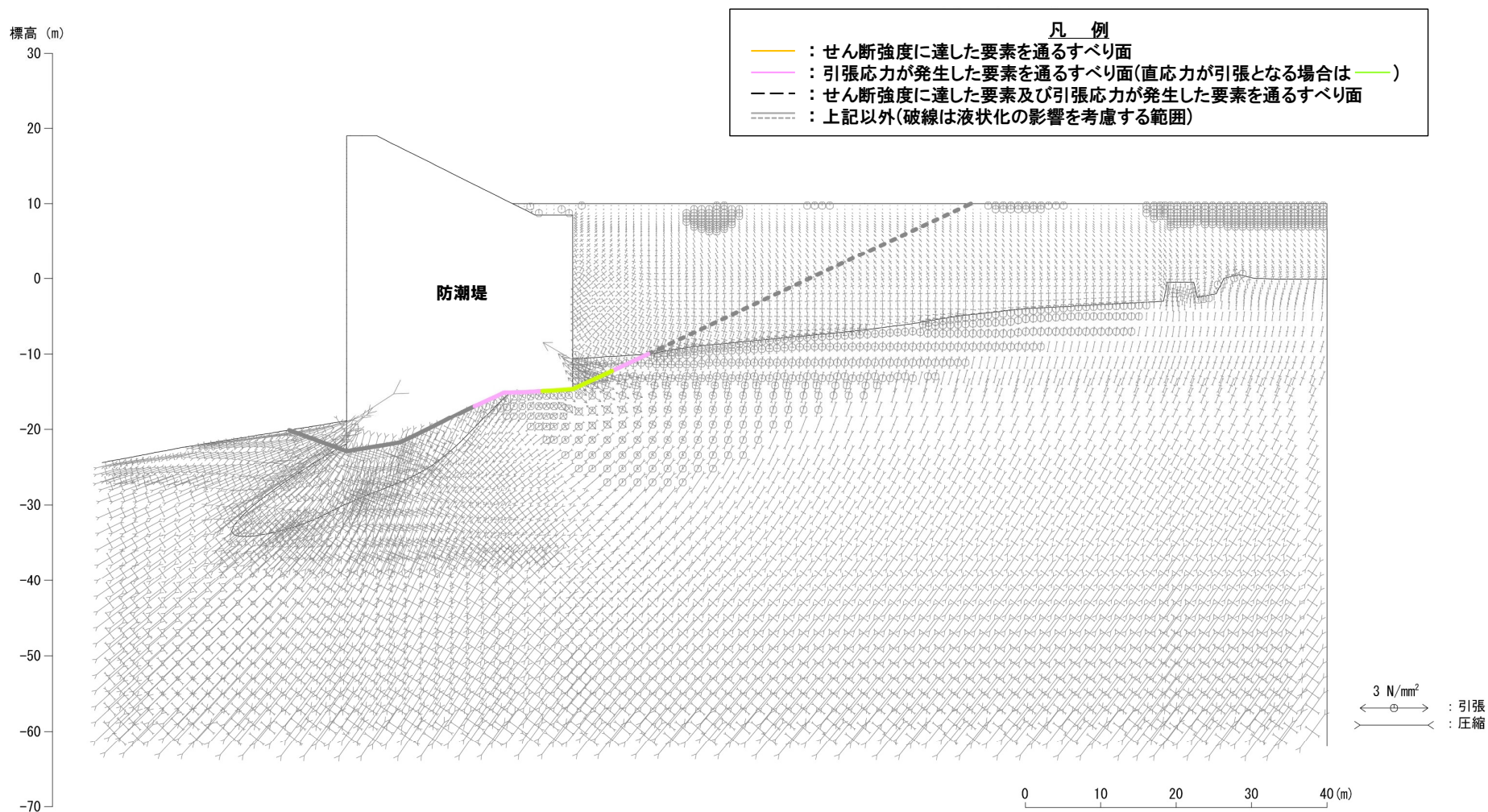
- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が主に防潮堤山側の岩盤部において連続している。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素(直応力が引張となる強度の低い要素も含む)を通る位置に設定されている(次頁参照)。
- 一方、引張応力が発生した要素を長く通るすべり面(下図黒破線)が想定されるものの、そのすべり安全率は4.4(平均強度)であり、設定したすべり面の最小すべり安全率2.7(平均強度)より大きいことから、すべり面の追加設定は不要である。



要素ごとの安全係数図:c-c'断面(防潮堤基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑥-2 主応力分布:c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤)



主応力分布図:c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

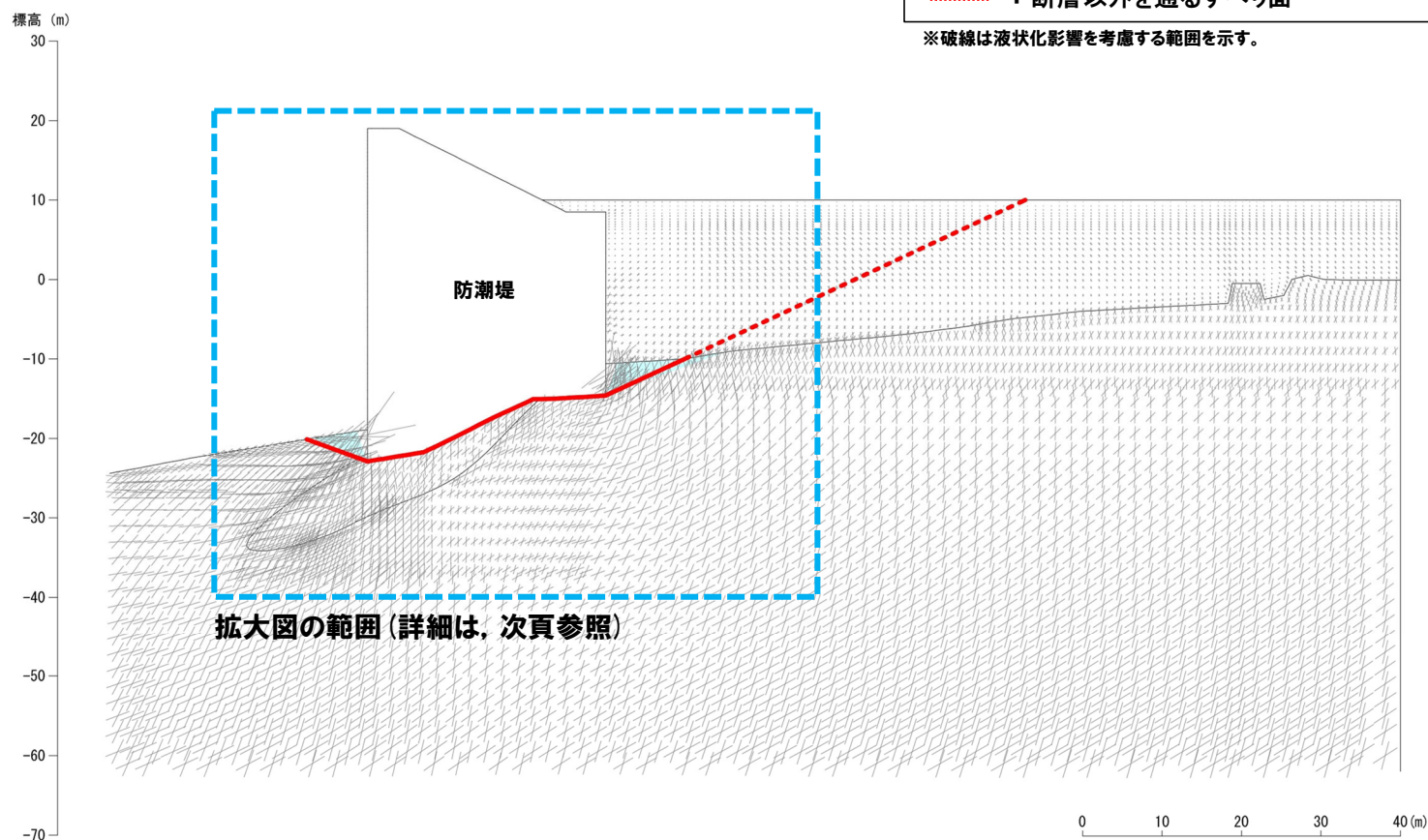
⑥-3 モビライズド面:c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤) (1/2)

○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (-,+)
- ・時刻 : 7.51秒
- ・すべり安全率 : 2.7 (平均強度)

- 凡 例
- : パラメトリックに設定している範囲
 - : 断層以外を通るすべり面※

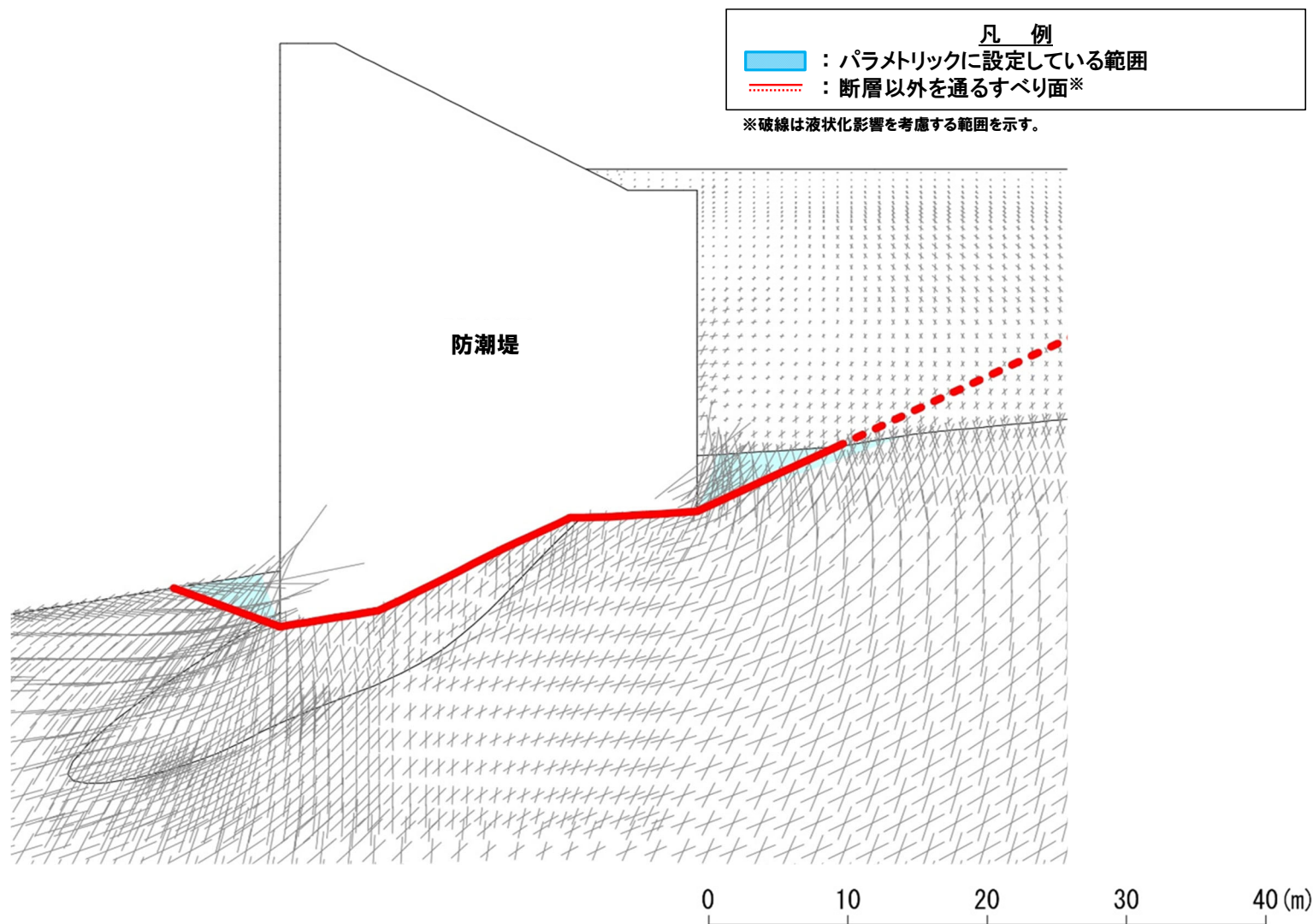
※破線は液状化影響を考慮する範囲を示す。



モビライズド面図:c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑥-3 モビライズド面:c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤) (2/2)



モビライズド面図 (拡大図) :c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤)

4.1 設定したすべり面の妥当性確認

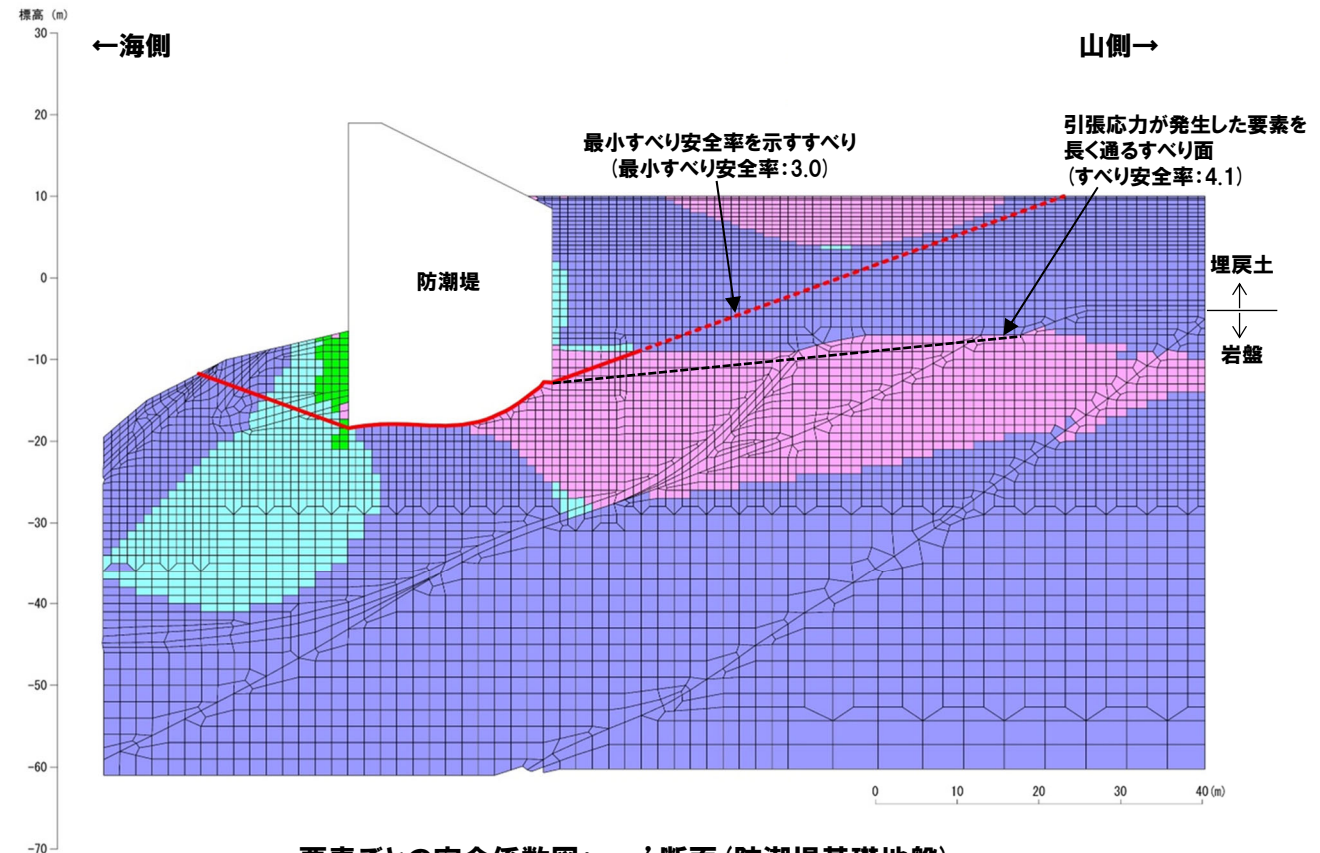
⑦-1 要素ごとの安全係数:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤)

- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が主に防潮堤山側の岩盤部において連続している。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素(直応力が引張となる強度の低い要素も含む)を通る位置に設定されている(次頁参照)。
- 一方、引張応力が発生した要素を長く通るすべり面(下図黒破線)が想定されるものの、そのすべり安全率は4.1(平均強度)であり、設定したすべり面の最小すべり安全率3.0(平均強度)より大きいことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (-,+)
- ・時刻 : 7.51秒
- ・すべり安全率 : 3.0 (平均強度)

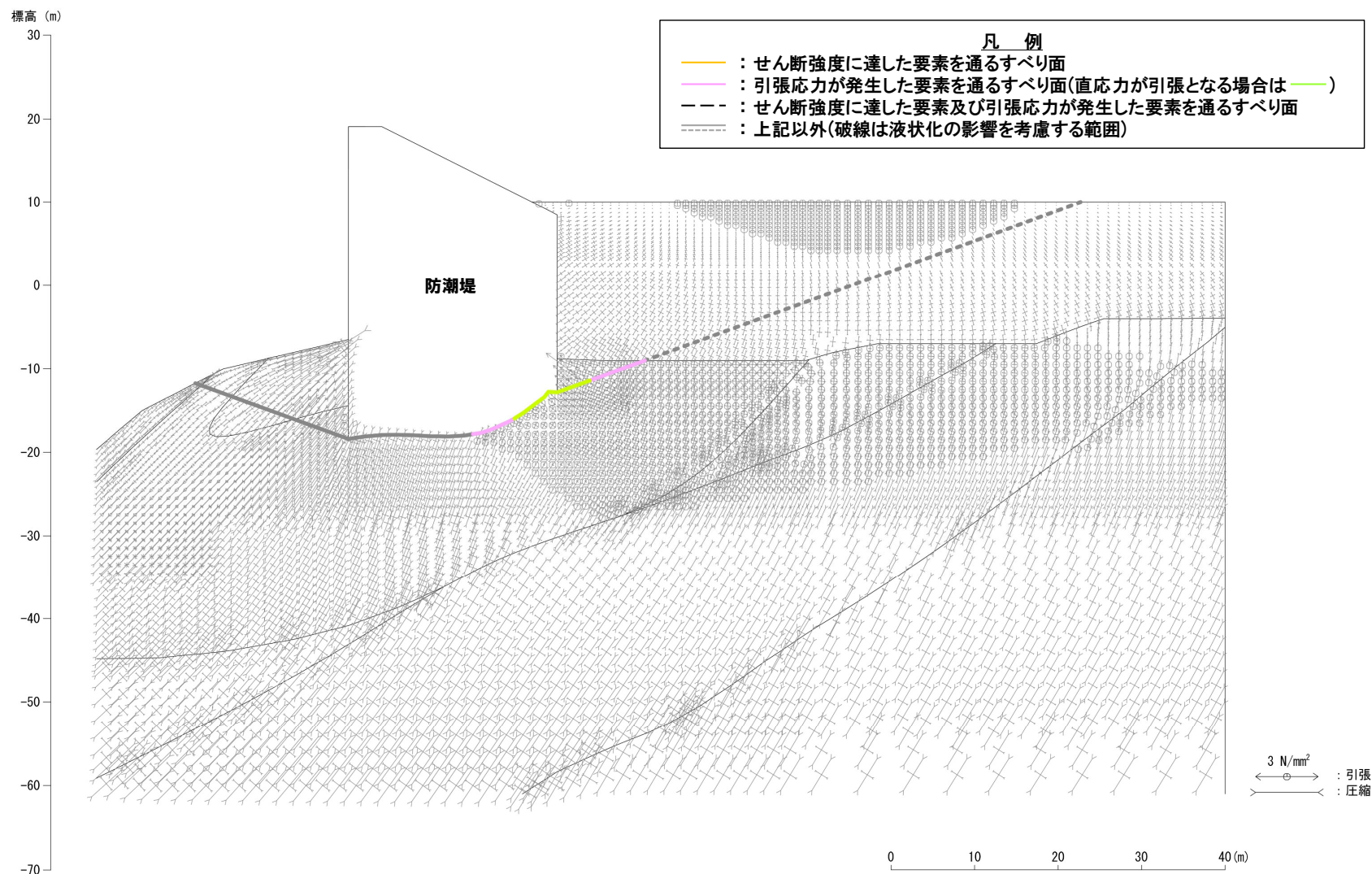
- 凡 例
- : 断層以外を通るすべり面※
 - : せん断強度に達した要素
 - : 引張応力が発生した要素
 - : $1.00 \leq f_s < 1.50$
 - : $1.50 \leq f_s < 2.00$
 - : $2.00 \leq f_s$

※破線は液状化影響を考慮する範囲を示す。



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑦-2 主応力分布:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤)



主応力分布図:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

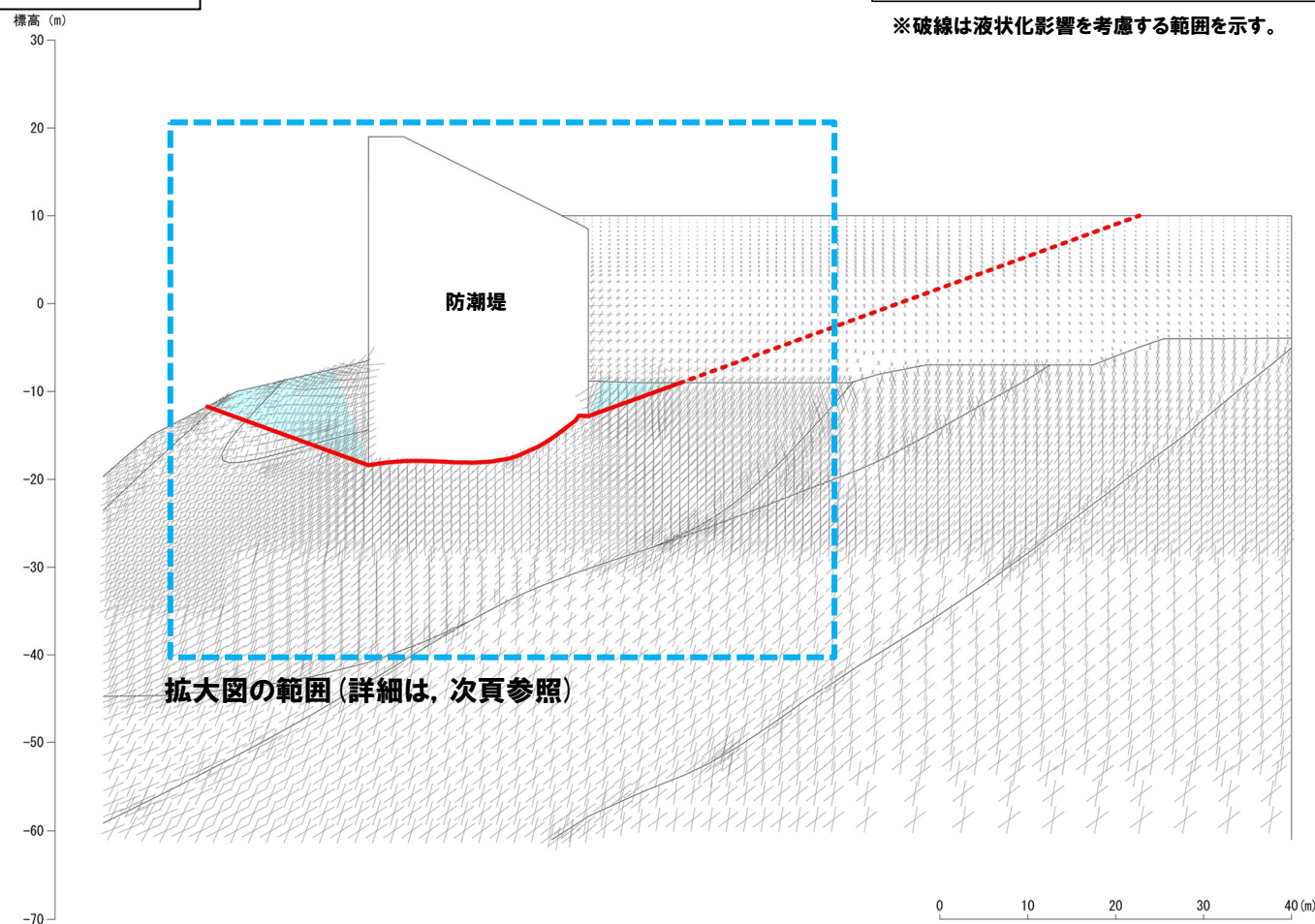
⑦-3 モビライズド面:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤) (1/2)

○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (-,+)
- ・時刻 : 7.51秒
- ・すべり安全率 : 3.0 (平均強度)

- 凡 例
- : パラメトリックに設定している範囲
 - : 断層以外を通るすべり面※

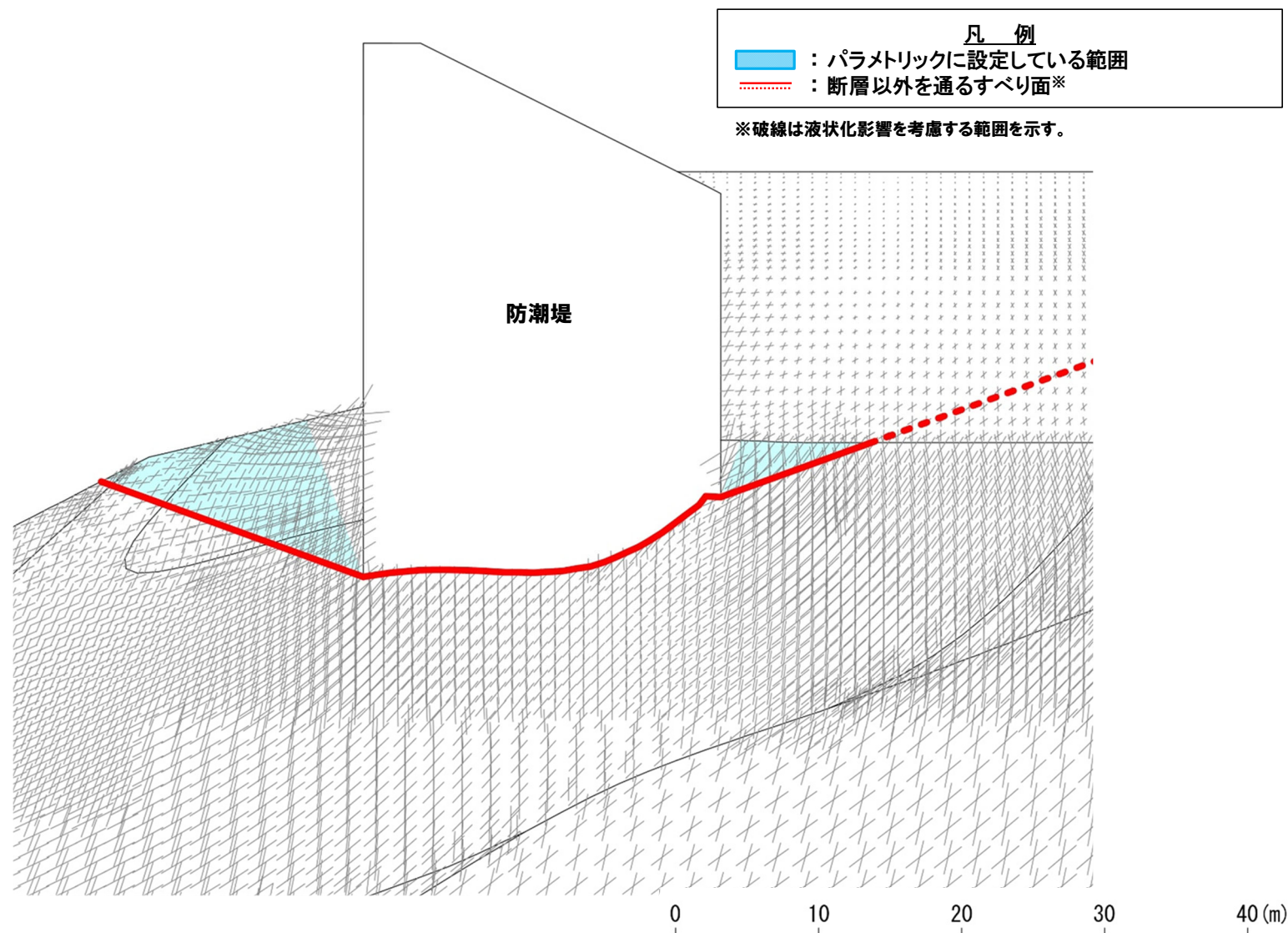
※破線は液状化影響を考慮する範囲を示す。



モビライズド面図:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑦-3 モビライズド面:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤) (2/2)



モビライズド面図 (拡大図) :e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤)

4.1 設定したすべり面の妥当性確認

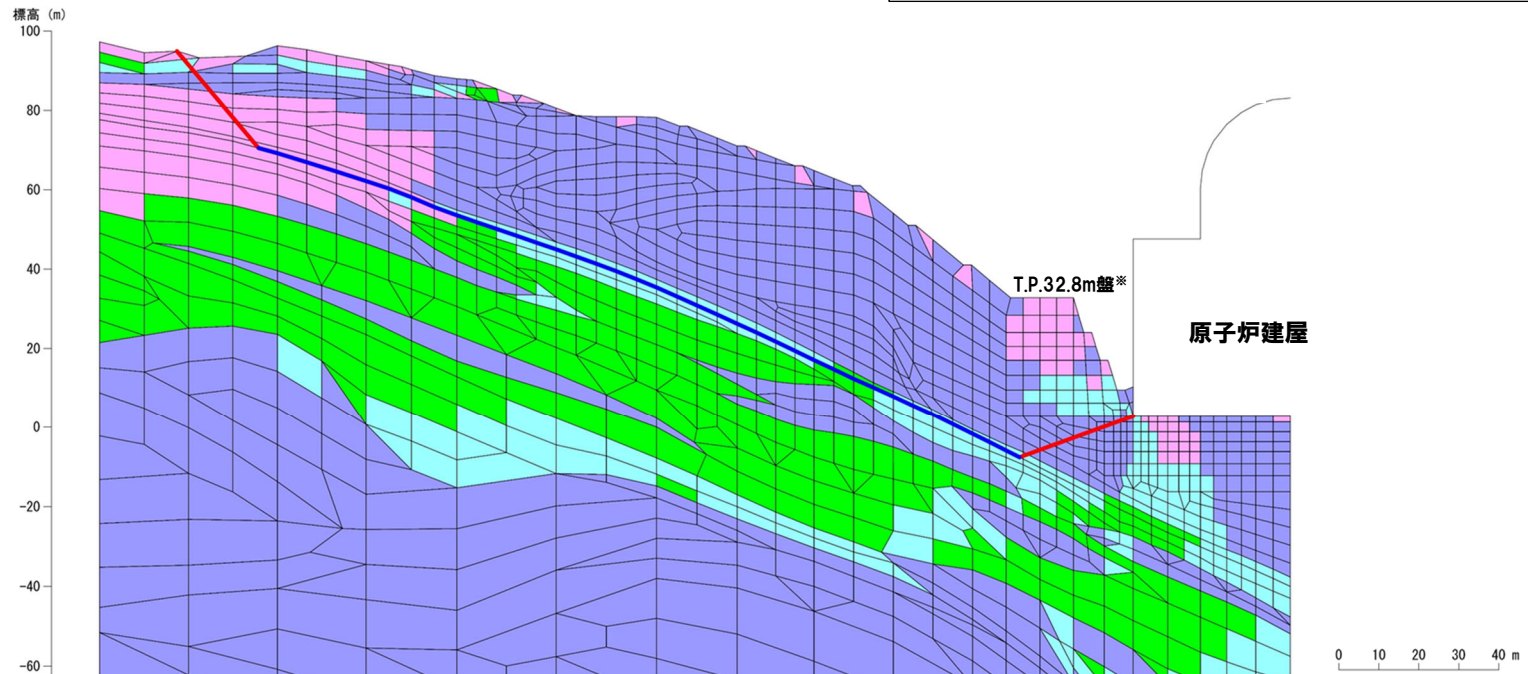
⑧-1 要素ごとの安全係数:Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が斜面中腹付近に連続しており、せん断強度に達した要素がF-11断層に認められる (次頁参照)。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素 (直応力が引張となる強度の低い要素も含む) 及びせん断強度に達した要素を通る位置に設定されていることから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (+,+)
- ・時刻 : 7.52秒
- ・すべり安全率 : 1.6 (平均強度)

凡 例	
— : 断層を通るすべり面	■ : せん断強度に達した要素
— : 断層以外を通るすべり面	■ : 引張応力が発生した要素
	■ : $1.00 \leq fs < 1.50$
	■ : $1.50 \leq fs < 2.00$
	■ : $2.00 \leq fs$



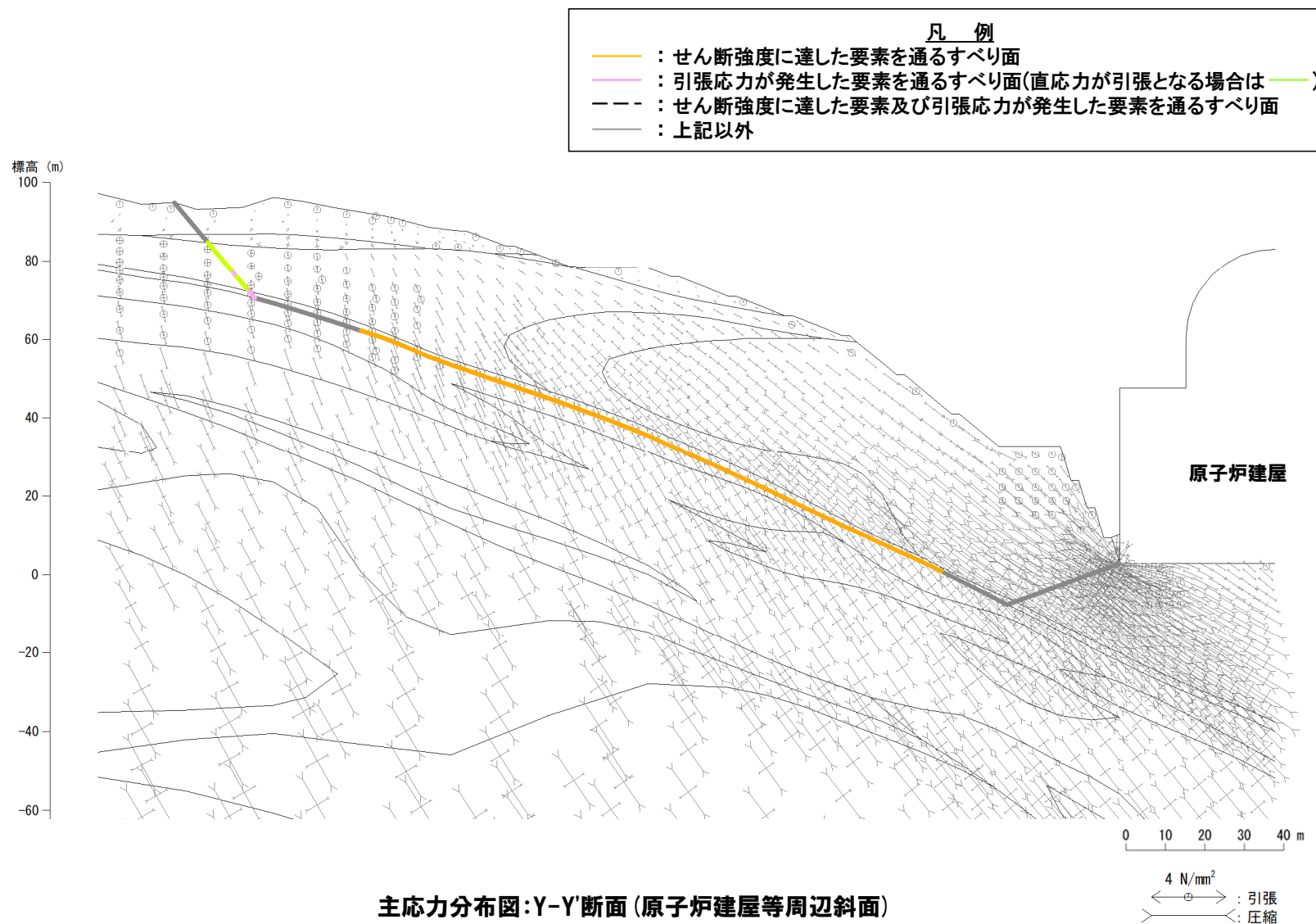
要素ごとの安全係数図:Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面)

※原子炉建屋背後のT.P.32.8m盤付近に引張応力が発生した要素が局所的に分布していることから、当該要素を通るすべり面について、すべり安全率を算定し、すべり面の追加設定は不要であることを確認している (詳細は、P218参照)。

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑧-2 主応力分布:Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面)

一部修正 (R6/1/19審査会合)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

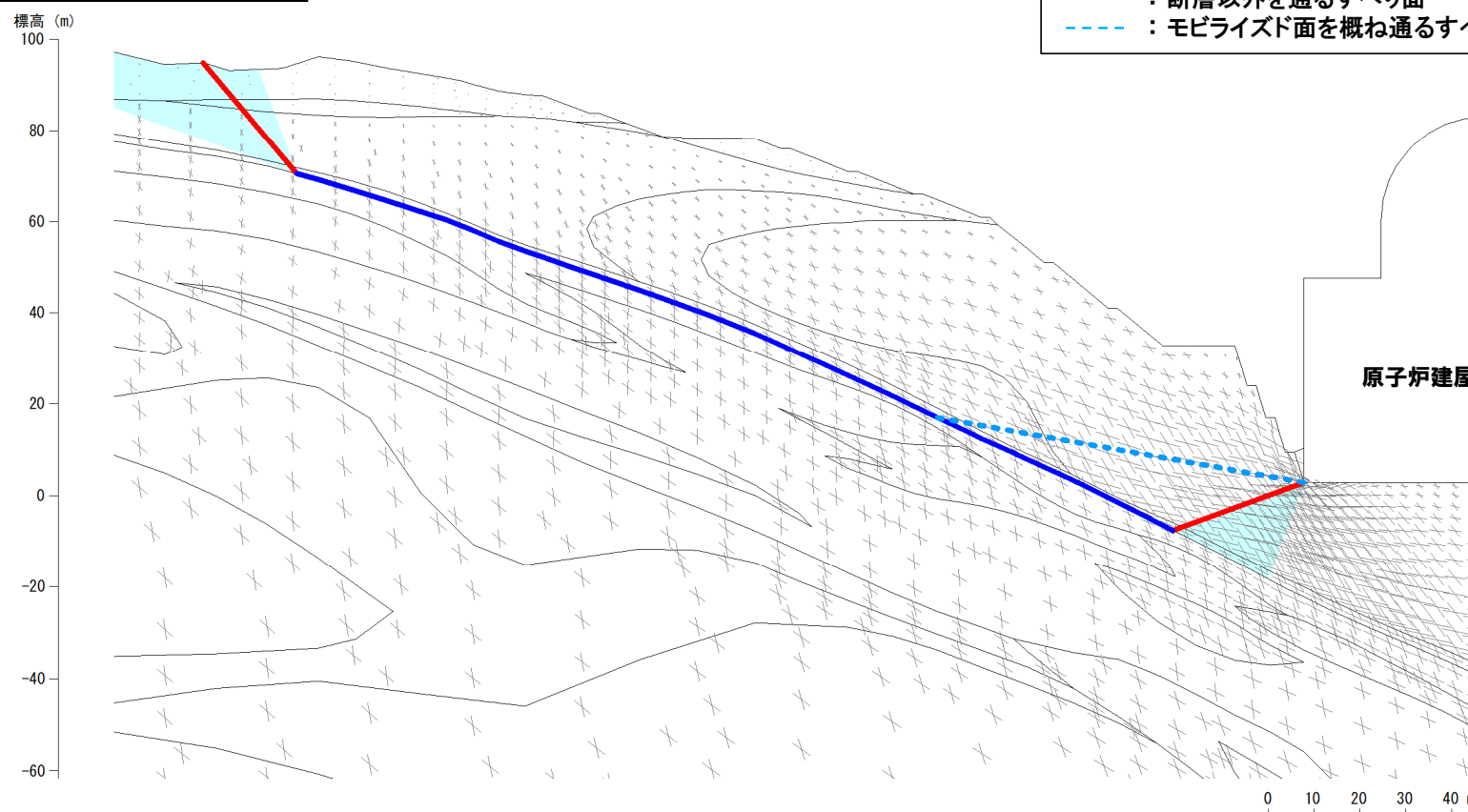
⑧-3 モビライズド面:Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面) (1/2)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○F-11断層から斜面法尻に抜ける部分では、モビライズド面を概ね通るすべり面 (下図の青破線) が想定されるものの、そのすべり安全率は2.0 (平均強度) であり、設定したすべり面の最小すべり安全率1.6 (平均強度) より大きいことから、すべり面の追加設定は不要である (次頁参照)。

- ・基準地震動 : Ss3-4 (+,+)
- ・時刻 : 7.52秒
- ・すべり安全率 : 1.6 (平均強度)

- 凡 例
- : パラメトリックに設定している範囲
 - : 断層を通るすべり面
 - : 断層以外を通るすべり面
 - - - : モビライズド面を概ね通るすべり面

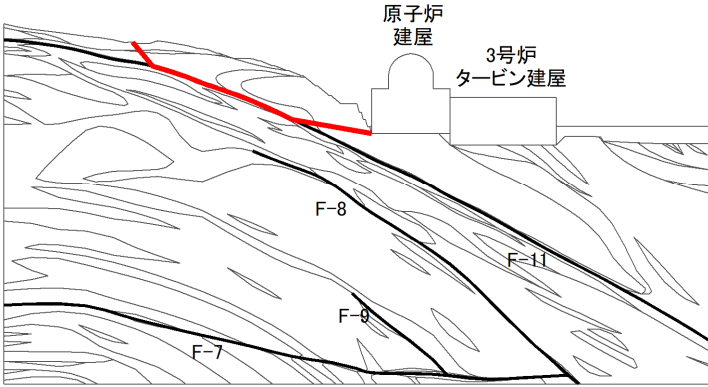
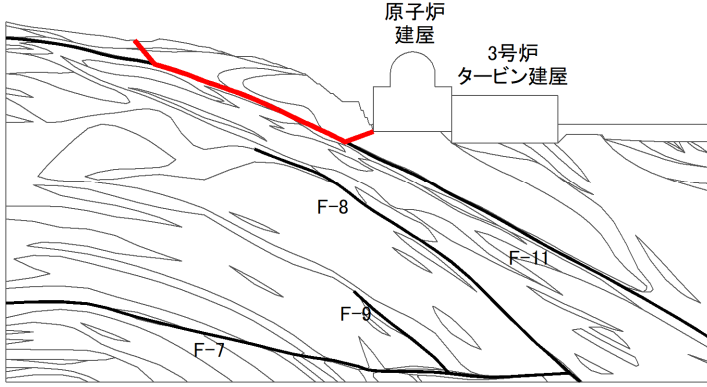


モビライズド面図:Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑧-3 モビライズド面:Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面) (2/2)

再掲 (R6/1/19審査会合)

モビライズド面より想定されるすべり面	設定したすべり面 (すべり面形状No.2)
	
・基準地震動 : Ss3-4 (+,+) ・時刻 : 7.53秒 ・すべり安全率 : 2.0	・基準地震動 : Ss3-4 (+,+) ・時刻 : 7.52秒 ・すべり安全率 : 1.6

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

(参考) T.P.32.8m盤付近に引張応力が発生した要素を通るすべり面

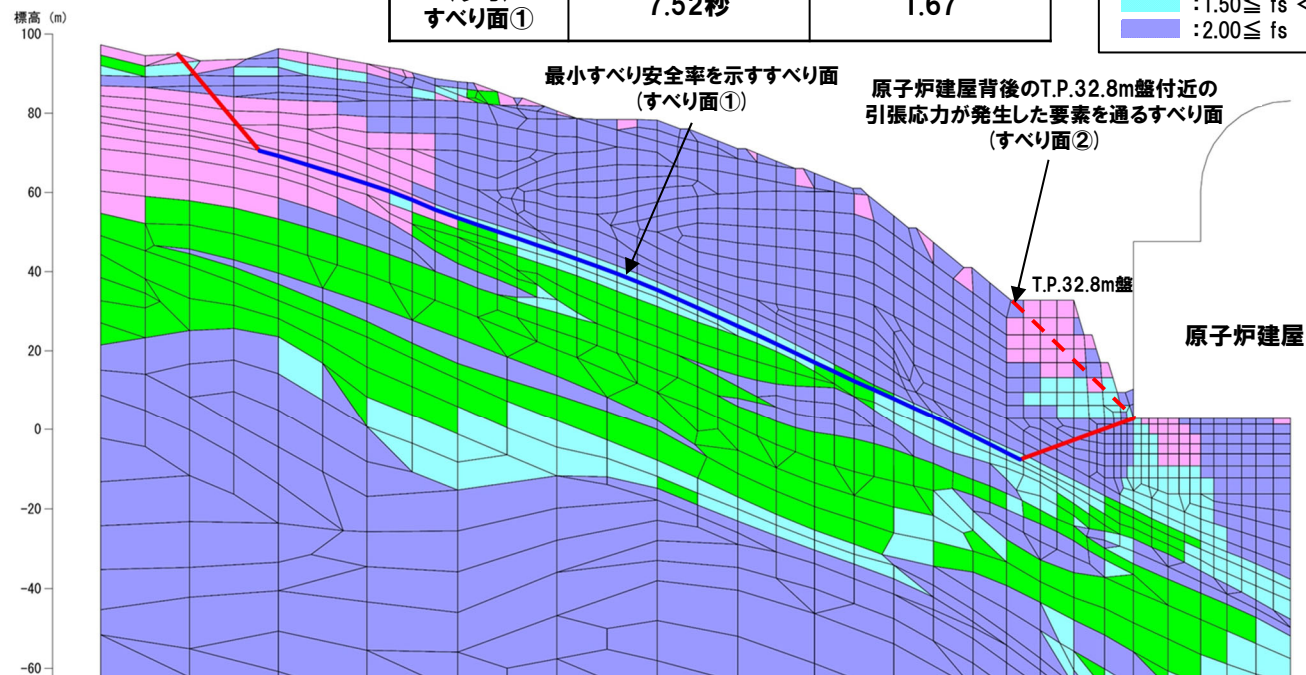
一部修正 (R6/1/19審査会合)

- 最小すべり安全率を示すすべり面 (下図のすべり面①) における最小すべり安全率発生時刻の応力状態において、局所的ではあるが、原子炉建屋背後のT.P.32.8m盤付近に引張応力が発生した要素が分布していることから、当該要素を通るすべり面 (下図のすべり面②) について、すべり安全率を算定した。
- すべり面②は、同応力状態におけるすべり安全率が37.1であり、時刻歴の最小すべり安全率が1.69であることから、すべり面の追加設定は不要である。

・基準地震動 : Ss3-4 (+,+)
・時刻 : 7.52秒

すべり面	時刻	すべり安全率
すべり面②	7.52秒	37.1
	7.45秒	1.69
(参考) すべり面①	7.52秒	1.67

凡 例	
— (青)	: 断層を通るすべり面
— (赤)	: 断層以外を通るすべり面
- - - (赤)	: すべり面②
■ (黄)	: せん断強度に達した要素
■ (緑)	: 引張応力が発生した要素
■ (青)	: $1.00 \leq f_s < 1.50$
■ (紫)	: $1.50 \leq f_s < 2.00$
■ (黒)	: $2.00 \leq f_s$



要素ごとの安全係数図: Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面)

0 10 20 30 40 m

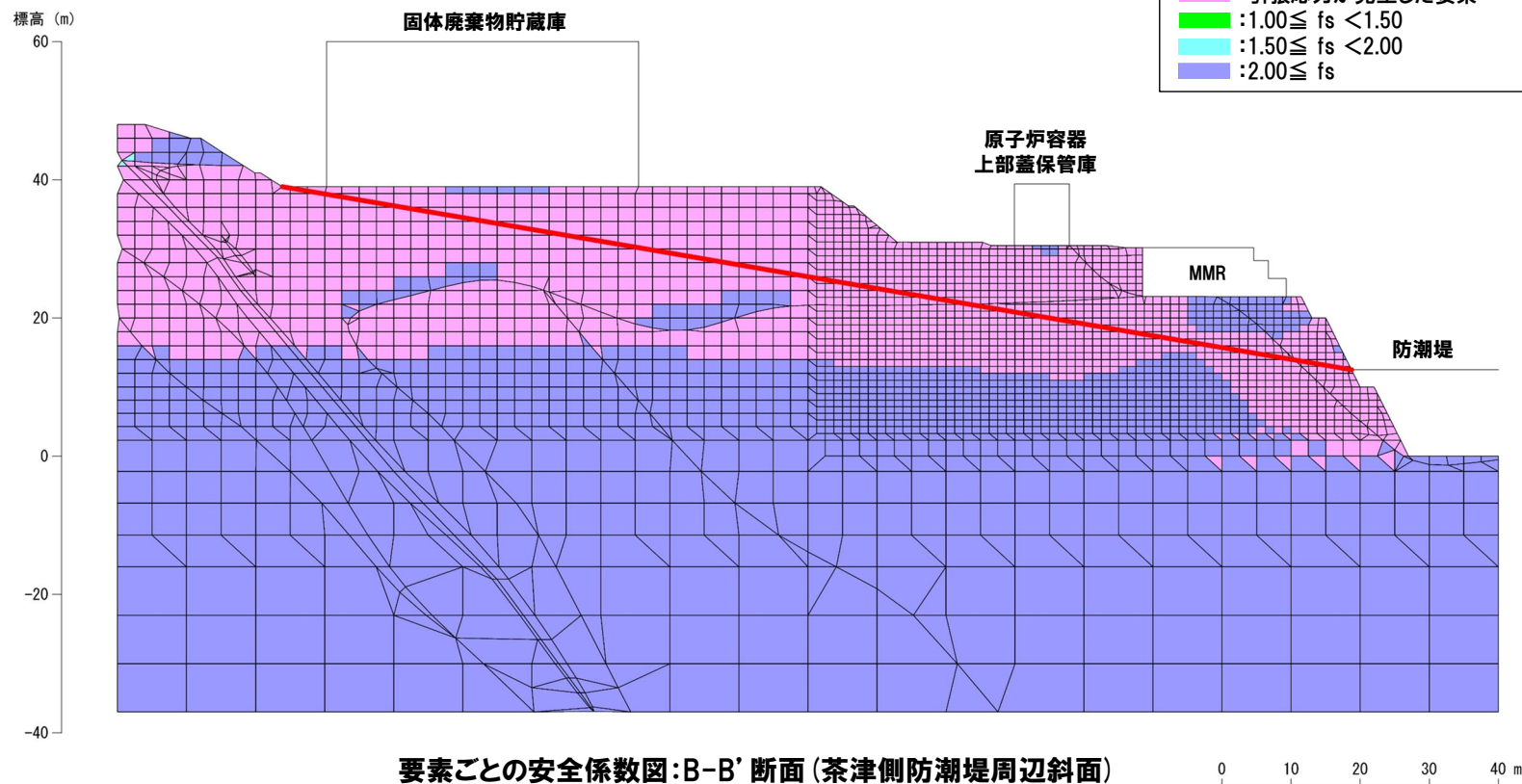
余白

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑨-1 要素ごとの安全係数:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面)

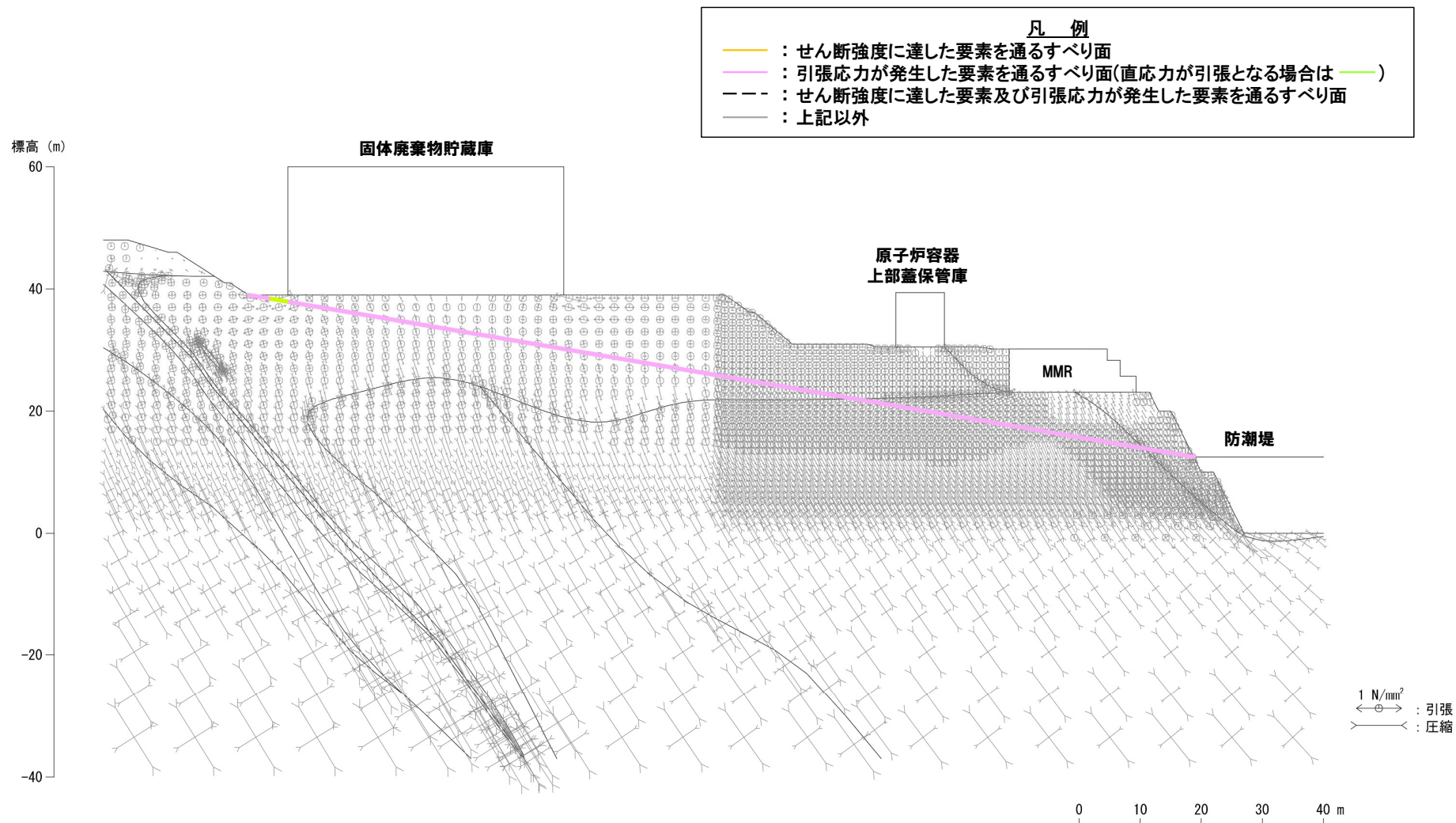
- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が斜面内に連続している。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素（直応力が引張となる強度の低い要素も含む）を通る位置に設定されている（次頁参照）ことから、すべり面の追加設定は不要である。

・基準地震動 : Ss1 (-,-)
 ・時刻 : 35.95秒
 ・すべり安全率 : 3.6 (平均強度)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑨-2 主応力分布:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面)



主応力分布図:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面)

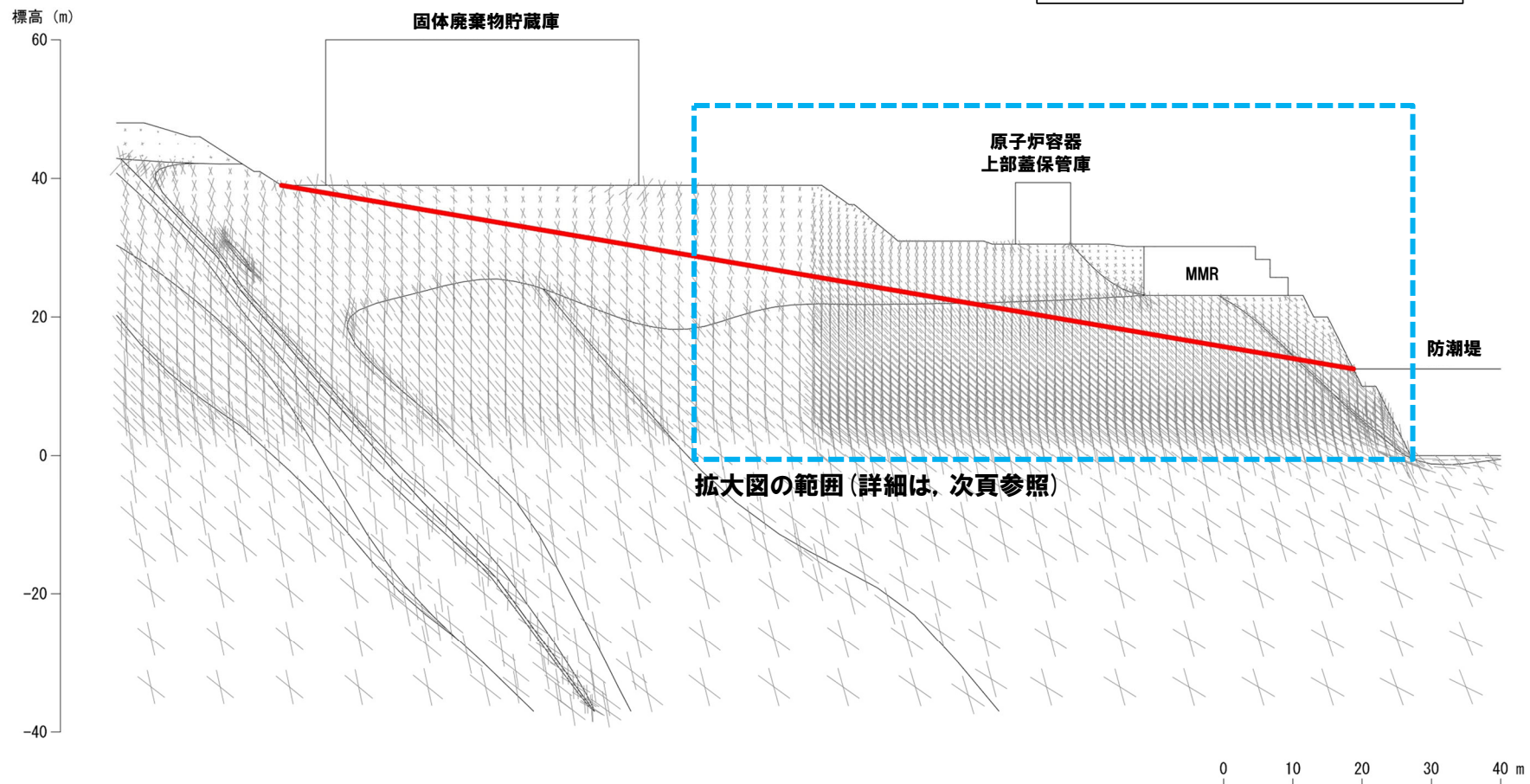
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑨-3 モビライズド面:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面) (1/2)

○モビライズド面から想定されるすべり面はないことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss1 (-,-)
- ・時刻 : 35.95秒
- ・すべり安全率 : 3.6 (平均強度)

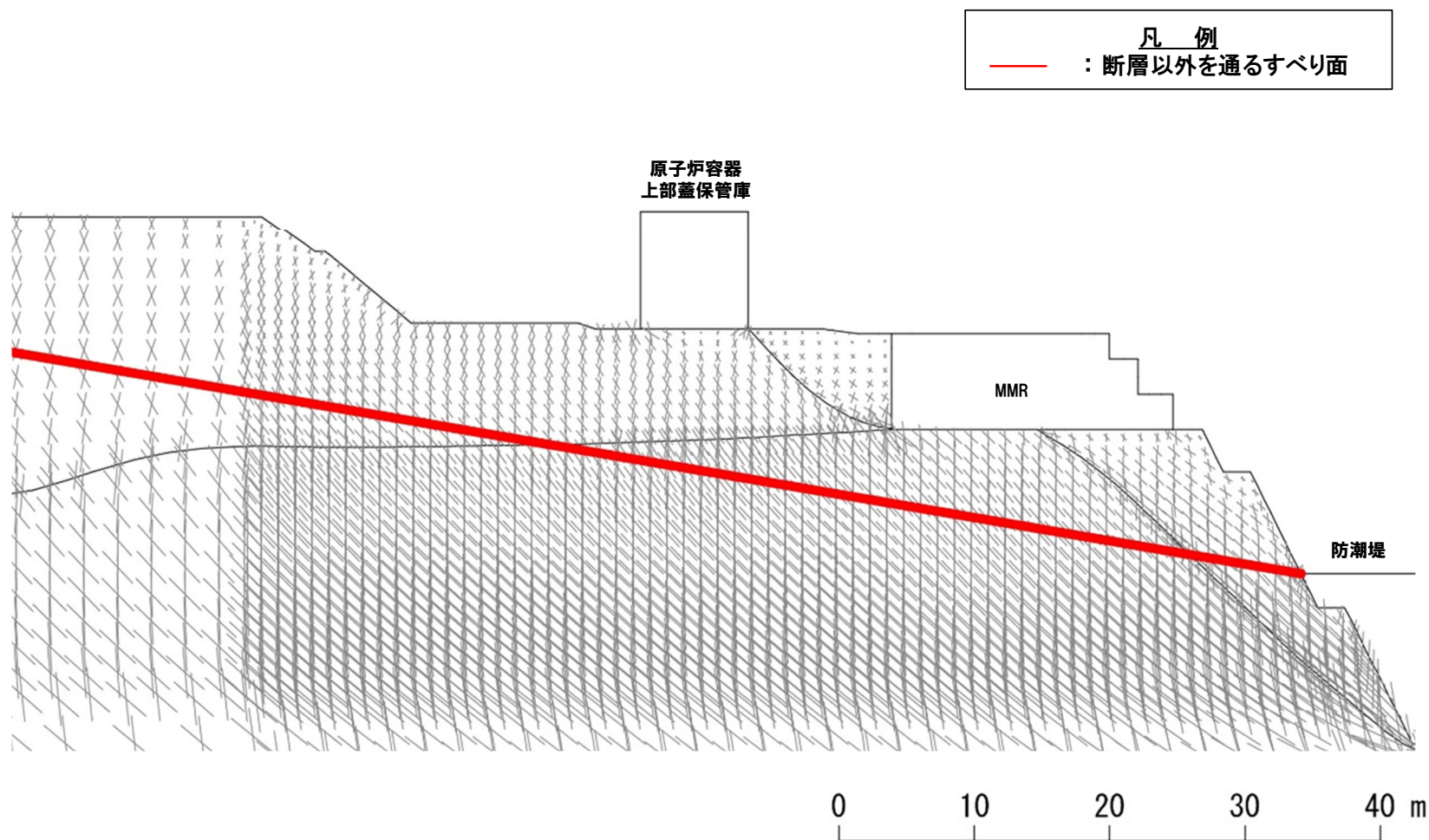
凡 例
— : 断層以外を通るすべり面



モビライズド面図:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑨-3 モビライズド面:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面) (2/2)



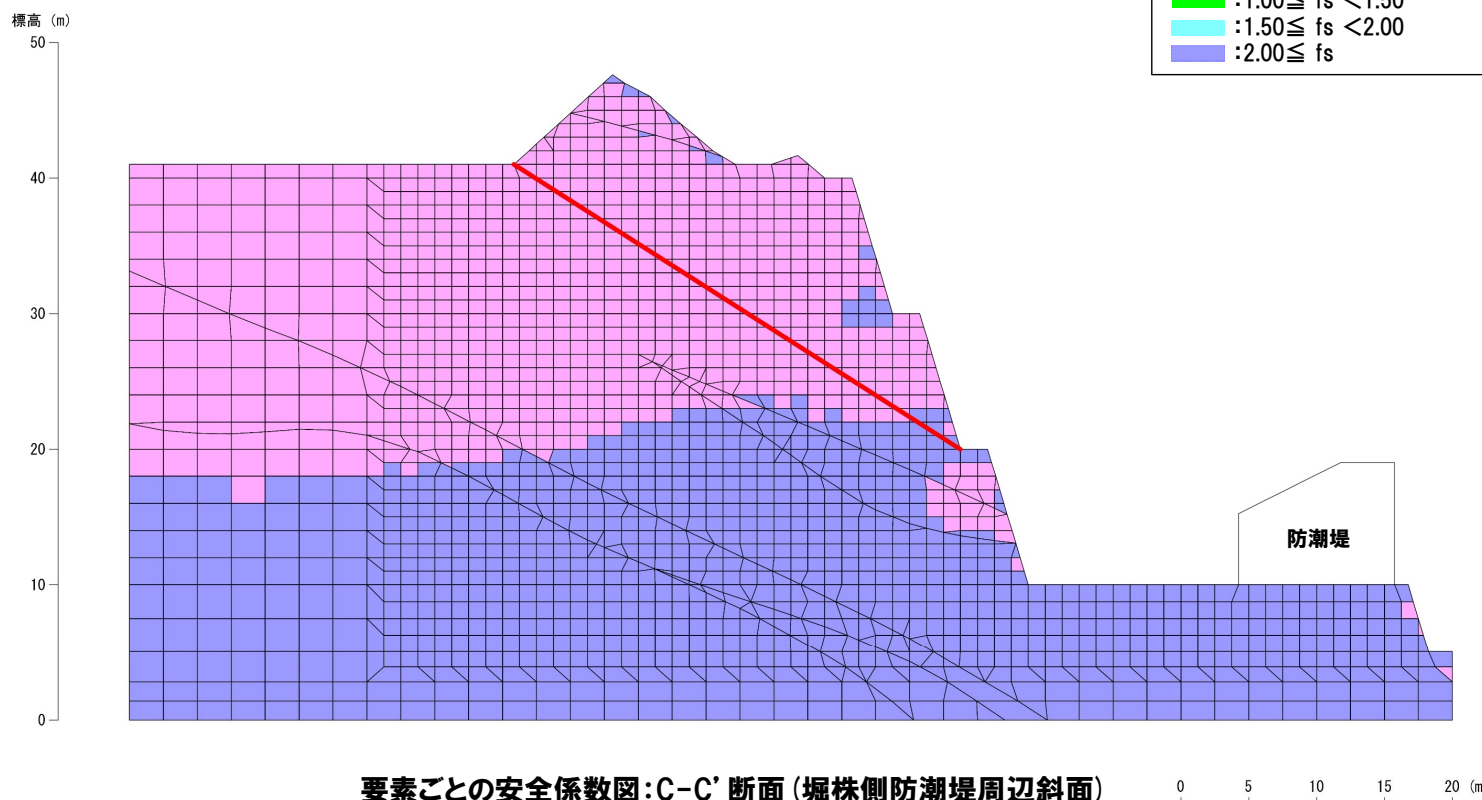
モビライズド面図 (拡大図) :B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面)

4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑩-1 要素ごとの安全係数:C-C' 断面 (堀株側防潮堤周辺斜面)

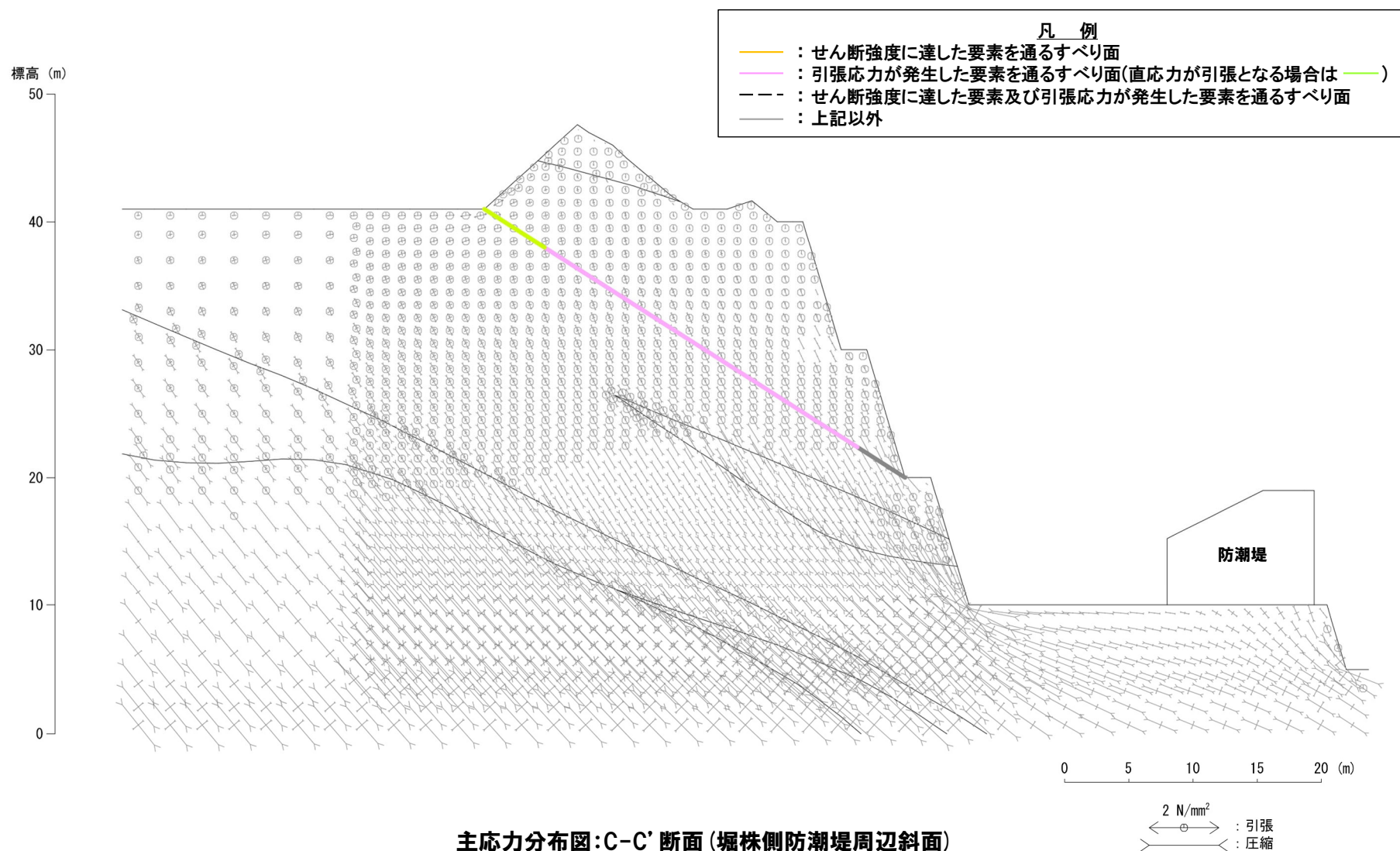
- 最小すべり安全率発生時刻において、引張応力が発生した要素が斜面内に連続している。
- 最小すべり安全率を示すすべり面は、引張応力が発生した要素（直応力が引張となる強度の低い要素も含む）を通る位置に設定されている（次頁参照）ことから、すべり面の追加設定は不要である。

- ・基準地震動 : Ss3-5 (+,+)
- ・時刻 : 11.62秒
- ・すべり安全率 : 2.4 (平均強度)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

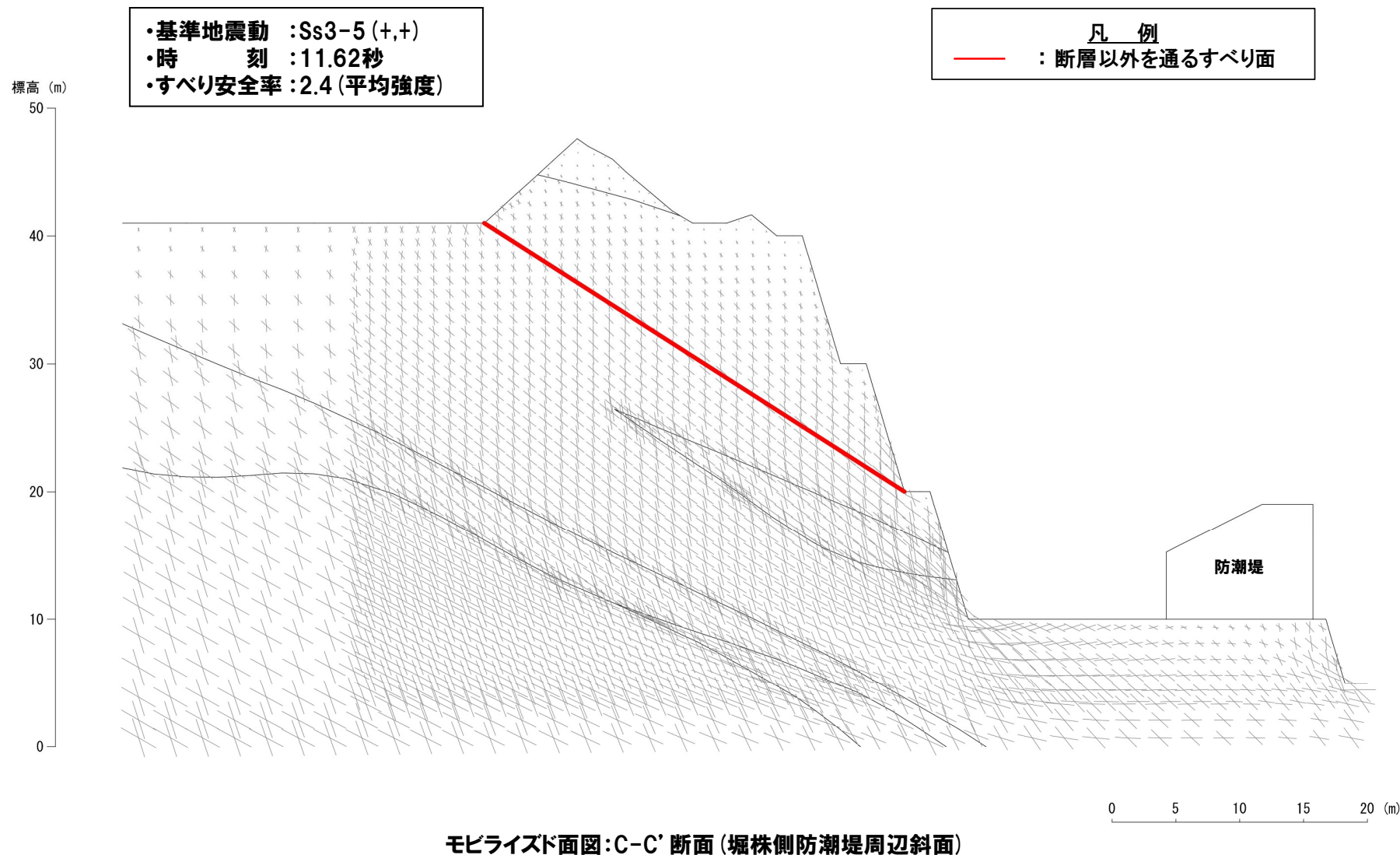
⑩-2 主応力分布:C-C' 断面 (堀株側防潮堤周辺斜面)



4. 1 設定したすべり面の妥当性確認

⑩-3 モビライズド面:C-C' 断面 (堀株側防潮堤周辺斜面)

○当該すべり面は、モビライズド面を概ね通るすべり面であることから、すべり面の追加設定は不要である。



1. 地質の概要に関する補足	P. 3
2. 解析用物性値に関する補足	P. 17
3. 評価方針に関する補足	P.101
4. 評価結果に関する補足	P.185
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認	P.185
4. 2 すべり安全率一覧	P.227
4. 3 地震時最大接地圧一覧	P.297
4. 4 基礎底面の傾斜一覧	P.305
4. 5 静的非線形解析による検討	P.313
4. 6 解析用物性値の使い分けによる影響	P.337
参考文献	P.356

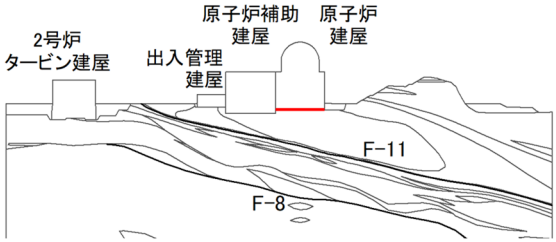
4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)(1/8)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面(1/8)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	 原子炉建屋基礎底面を通るすべり面	Ss3-4 (-,+)	4.8 [7.50]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.4 (+,-) [35.96]	24.8 (+,+) [21.00]	31.9 (+,+) [20.52]	31.7 (+,+) [19.95]	29.7 (+,+) [12.90]	29.8 (+,+) [33.96]	26.8 (+,+) [22.37]	17.2 (+,+) [6.71]	12.8 (+,+) [10.36]	10.2 (+,+) [12.01]	14.9 (+,+) [19.83]	12.5 (+,+) [14.68]	25.5 (+,+) [11.77]	14.4 (+,+) [12.18]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
16.3 (-,+) [14.04]	13.2 (+,+) [14.40]	12.8 (+,+) [7.89]	12.3 (+,+) [8.12]	8.4 (-,+) [8.16]	10.1 (+,+) [7.19]	4.8 (-,+) [7.50]	6.7 (-,+) [16.61]

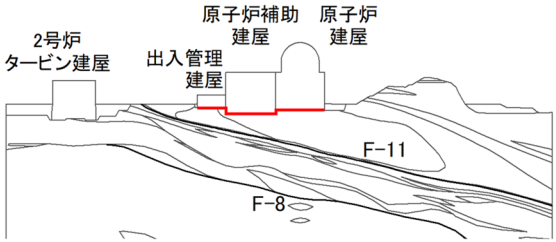
4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果：X-X'断面（原子炉建屋基礎地盤）（2/8）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面（2/8）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2	 出入管理建屋から原子炉建屋基礎底面を通るすべり面	Ss3-4 (+,+)	8.0 [7.51]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
9.3 (+,-) [35.96]	33.4 (+,+) [20.99]	55.7 (+,+) [20.52]	54.5 (+,+) [13.89]	48.8 (+,+) [12.43]	49.6 (+,+) [33.29]	38.2 (+,+) [22.36]	23.0 (+,+) [6.69]	17.5 (+,+) [10.36]	16.3 (+,+) [12.01]	19.2 (+,+) [19.82]	20.1 (+,+) [14.42]	34.4 (+,+) [11.28]	24.3 (+,+) [12.17]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
23.4 (-,+) [14.31]	17.8 (+,+) [14.40]	15.3 (+,+) [7.87]	17.3 (+,+) [8.13]	13.5 (+,+) [6.21]	15.5 (+,+) [8.23]	8.0 (+,+) [7.51]	8.9 (-,+) [6.74]

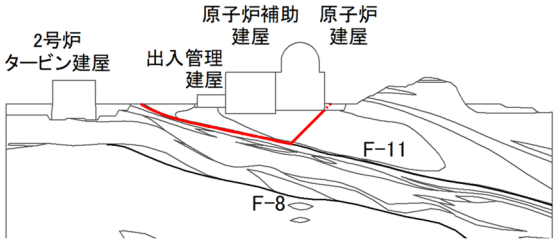
4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)(3/8)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面(3/8)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
3	 F-11断層左端からF-11断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	3.1 [7.50]

— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

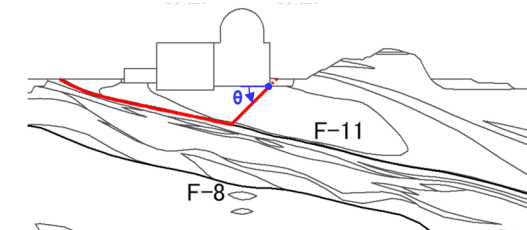
※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.8 (+,-) [35.95]	9.9 (+,+) [20.99]	12.7 (+,+) [20.52]	12.5 (+,+) [13.89]	11.3 (+,+) [12.42]	10.7 (+,+) [34.26]	9.2 (+,+) [22.35]	7.7 (+,+) [6.68]	5.9 (+,+) [10.35]	5.2 (+,+) [12.01]	5.5 (+,+) [19.81]	6.5 (+,+) [14.19]	8.4 (+,+) [11.27]	6.8 (+,+) [12.17]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
6.1 (-,+) [14.03]	4.6 (+,+) [14.41]	4.6 (-,+) [7.79]	5.0 (-,+) [8.00]	3.9 (-,+) [7.47]	4.1 (+,+) [8.24]	3.1 (-,+) [7.50]	3.3 (-,+) [11.61]

○すべり面形状No.3は、岩盤内を通る角度(θ)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)



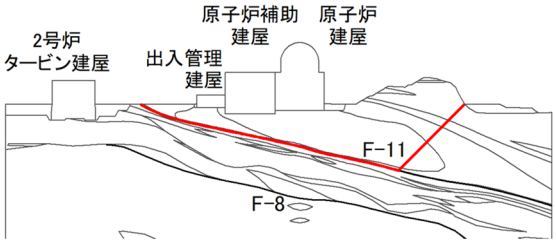
4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)(4/8)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面(4/8)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
4	 F-11断層左端からF-11断層を通り 原子炉建屋の南東側の地山の裾に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	2.5 [7.51]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

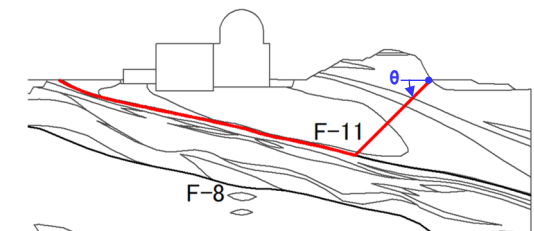
□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 []は発生時刻(秒)を示す。
※3 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動の
すべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※3													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.5 (+,+) [47.56]	12.1 (+,+) [20.80]	13.7 (+,+) [20.51]	13.2 (+,+) [19.95]	13.1 (+,+) [12.42]	10.9 (+,+) [34.26]	9.6 (+,+) [22.35]	7.1 (+,+) [6.70]	6.6 (+,+) [10.35]	4.9 (+,+) [12.01]	5.2 (+,+) [19.81]	6.2 (+,+) [14.18]	10.5 (+,+) [11.27]	6.4 (+,+) [12.17]

すべり安全率※3							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
6.2 (-,+) [14.02]	4.4 (+,+) [14.40]	5.3 (+,+) [8.47]	4.4 (-,+) [8.00]	4.0 (-,+) [8.17]	3.5 (+,+) [8.23]	2.5 (-,+) [7.51]	3.4 (-,+) [17.35]

○すべり面形状No.4は、岩盤内を通る角度(θ)を
パラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)



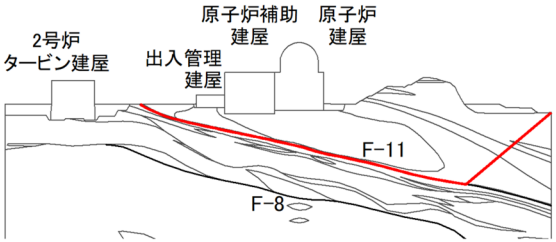
4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)(5/8)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面(5/8)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
5	 F-11断層左端からF-11断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	2.1 (1.8) [7.54]

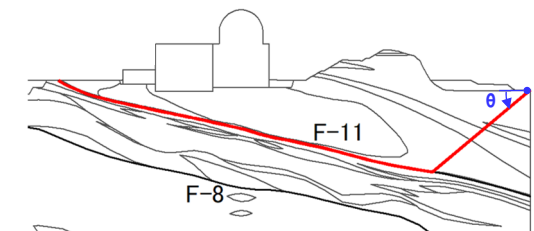
— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を,
[]は発生時刻(秒)を示す。
※3 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動の
すべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※3													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.7 (+,+) [47.57]	9.1 (+,+) [20.89]	12.8 (+,+) [20.66]	13.1 (+,+) [26.42]	11.1 (+,+) [20.52]	9.8 (+,+) [31.76]	13.8 (+,+) [32.67]	7.2 (+,+) [7.83]	7.1 (+,+) [9.68]	6.1 (+,+) [12.01]	5.9 (+,+) [19.96]	6.6 (+,+) [14.31]	9.2 (+,+) [11.19]	7.0 (+,+) [12.36]

すべり安全率※3							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
6.7 (+,+) [14.02]	4.5 (+,+) [14.39]	5.8 (-,+) [10.78]	5.0 (+,+) [9.75]	4.8 (+,+) [8.16]	3.7 (+,+) [8.24]	2.1 (-,+) [7.54]	4.0 (-,+) [17.35]

○すべり面形状No.5は、岩盤内を通る角度(θ)を
パラメトリックに設定(20° ~70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)(6/8)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面(6/8)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
6	2号炉タービン建屋基礎左端からF-8断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	4.0 [7.54]

— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

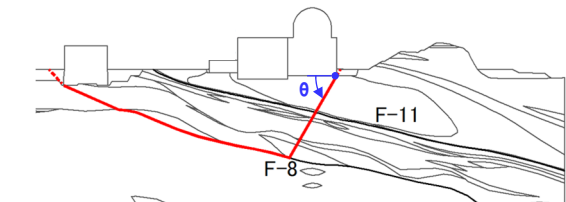
※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
5.2 (+,-) [47.57]	13.6 (+,+) [24.68]	13.9 (+,+) [20.80]	13.3 (+,+) [31.73]	13.2 (+,+) [13.0]	10.7 (+,+) [34.24]	10.7 (+,+) [22.34]	8.8 (+,+) [10.03]	8.8 (+,+) [9.49]	7.8 (+,+) [12.00]	7.5 (+,+) [19.79]	8.9 (+,+) [14.17]	13.6 (+,+) [10.63]	9.4 (+,+) [12.16]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
8.2 (-,+) [14.02]	5.7 (+,+) [14.36]	7.3 (+,+) [10.80]	6.6 (+,+) [10.78]	6.5 (-,+) [8.14]	5.5 (+,+) [8.22]	4.0 (-,+) [7.54]	4.8 (-,+) [17.35]

○すべり面形状No.6は、岩盤内を通る角度(θ)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)



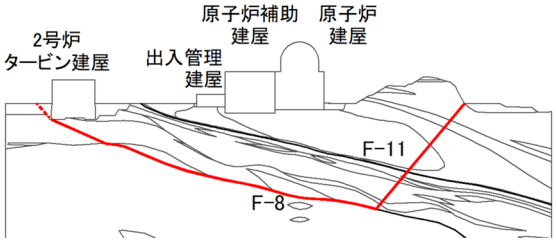
4.2 すべり安全率一覧

①すべり安全率評価結果:X-X'断面(原子炉建屋基礎地盤)(7/8)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■X-X'断面(7/8)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
7	 2号炉タービン建屋基礎左端からF-8断層を通り原子炉建屋の南東側の地山の裾に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	2.4 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

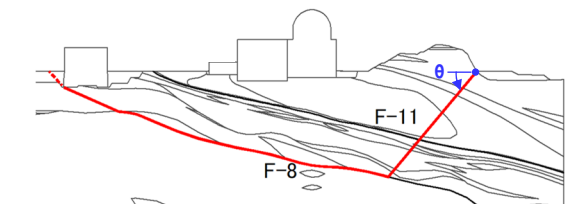
※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.7 (+,-) [47.58]	11.4 (+,+) [24.67]	11.4 (+,+) [22.61]	10.9 (+,+) [31.79]	10.8 (+,+) [18.29]	8.8 (+,+) [34.23]	9.6 (+,+) [22.34]	7.0 (+,+) [6.69]	6.9 (+,+) [11.30]	6.0 (+,+) [12.01]	6.5 (+,+) [19.80]	6.7 (+,+) [15.65]	11.7 (+,+) [9.90]	7.3 (+,+) [12.19]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
7.0 (-,+) [14.02]	4.4 (+,+) [14.36]	5.3 (+,+) [10.80]	4.9 (+,+) [7.75]	4.9 (-,+) [8.14]	4.0 (+,+) [8.24]	2.4 (-,+) [7.53]	4.3 (-,+) [17.34]

○すべり面形状No.7は、岩盤内を通る角度(θ)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)



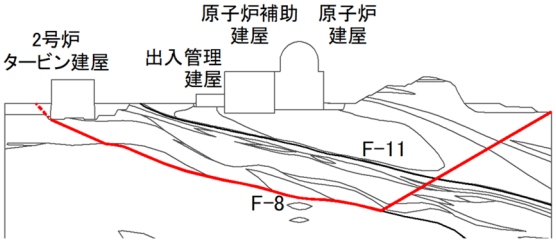
4.2 すべり安全率一覧

① すべり安全率評価結果：X-X'断面（原子炉建屋基礎地盤）（8/8）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■ X-X'断面（8/8）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
8	 2号炉タービン建屋基礎左端からF-8断層を通り解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	2.2 [7.53]

— : 岩級区分線 --- : すべり面※3 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

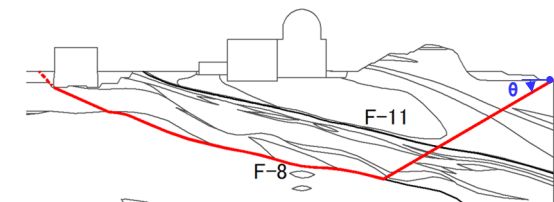
※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.9 (+,-) [47.58]	17.3 (+,+) [24.67]	17.7 (+,+) [20.81]	16.0 (+,+) [28.07]	15.6 (+,+) [18.29]	11.4 (+,+) [34.24]	12.4 (+,+) [22.34]	8.6 (+,+) [6.69]	8.3 (+,+) [11.29]	6.8 (+,+) [12.01]	7.6 (+,+) [19.79]	7.7 (+,+) [15.65]	18.4 (+,+) [10.65]	8.9 (+,+) [12.18]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
8.0 (-,+) [14.02]	4.4 (+,+) [14.36]	5.8 (+,+) [10.81]	5.2 (+,+) [7.76]	5.5 (-,+) [8.14]	4.1 (+,+) [8.24]	2.2 (-,+) [7.53]	4.8 (+,+) [6.63]

○すべり面形状No.8は、岩盤内を通る角度(θ)をパラメトリックに設定(20°～70°の範囲を5°間隔)



4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (1/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (1/14)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	原子炉建屋基礎底面を通るすべり面	Ss3-4 (-,+)	3.0 [7.56]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
4.0 (-,+) [35.86]	11.5 (+,+) [20.47]	13.7 (+,+) [22.76]	13.5 (+,+) [21.67]	13.0 (+,+) [15.42]	18.2 (+,+) [40.65]	12.5 (+,+) [24.29]	8.5 (+,+) [9.06]	8.9 (+,+) [11.81]	9.6 (+,+) [15.61]	8.1 (+,+) [15.78]	12.1 (+,+) [17.49]	11.2 (+,+) [12.87]	16.4 (+,+) [12.02]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
10.8 (+,+) [14.03]	3.5 (+,+) [14.40]	9.0 (+,+) [8.62]	8.1 (-,+) [9.11]	5.4 (-,+) [8.18]	6.2 (-,+) [7.25]	3.0 (-,+) [7.56]	4.5 (-,+) [17.39]

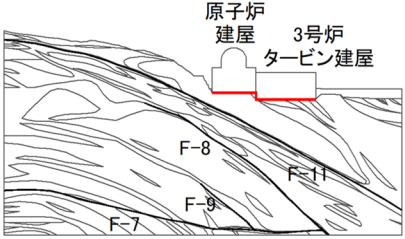
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (2/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (2/14)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2	 原子炉建屋から 3号炉タービン建屋基礎底面を通るすべり面	Ss3-4 (-,+)	6.3 [7.54]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
10.1 (-, -) [47.57]	18.5 (+, +) [20.46]	23.8 (+, +) [22.75]	23.6 (+, +) [21.66]	22.7 (+, +) [15.41]	32.2 (+, +) [34.45]	20.9 (+, +) [24.28]	13.6 (+, +) [9.04]	14.4 (+, +) [11.47]	15.8 (+, +) [15.60]	14.6 (+, +) [15.78]	20.1 (+, +) [17.48]	19.1 (+, +) [12.85]	27.8 (+, +) [12.27]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
16.9 (+, +) [14.03]	8.9 (+, +) [14.40]	15.2 (+, +) [7.79]	14.0 (-, +) [10.81]	11.7 (+, +) [8.17]	11.8 (-, +) [8.25]	6.3 (-, +) [7.54]	9.9 (+, +) [11.61]

4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (3/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (3/14)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
3	原子炉建屋基礎左端からF-11断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	7.7 [7.49]

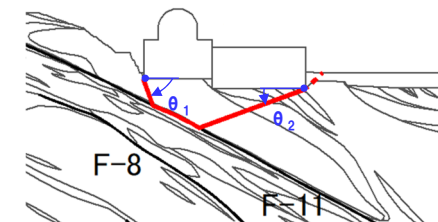
— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

- ※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 []は発生時刻(秒)を示す。
 ※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。
 ※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.8 (-, -) [47.56]	11.7 (+, +) [20.44]	14.1 (+, +) [22.73]	13.8 (+, +) [21.62]	13.8 (+, +) [15.40]	15.2 (+, +) [34.70]	13.2 (+, +) [24.26]	10.7 (+, +) [8.99]	10.7 (+, +) [11.45]	11.4 (+, +) [15.58]	11.2 (+, +) [15.75]	12.0 (+, +) [14.35]	12.1 (+, +) [12.83]	13.3 (+, +) [11.97]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
10.7 (+, +) [14.02]	8.4 (-, +) [14.69]	10.3 (+, +) [8.68]	10.0 (+, +) [9.75]	9.2 (-, +) [6.89]	9.0 (-, +) [8.23]	7.7 (+, +) [7.49]	8.0 (+, -) [11.59]

○すべり面形状No.3は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

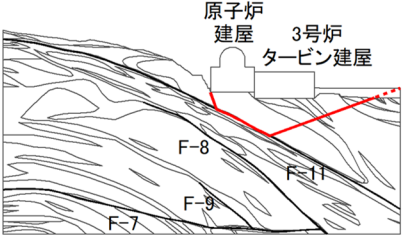
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (4/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (4/14)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
4	 原子炉建屋基礎左端からF-11断層を通り解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	7.0 [7.54]

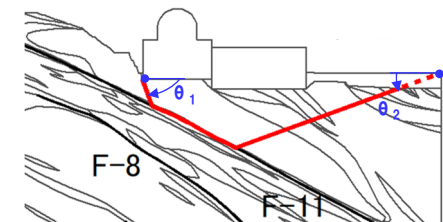
— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

- ※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 []は発生時刻(秒)を示す。
 ※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。
 ※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.0 (-, -) [47.56]	11.2 (+, +) [20.44]	14.3 (+, +) [22.72]	13.5 (+, +) [21.62]	13.9 (+, +) [15.41]	15.6 (+, +) [34.70]	13.0 (+, +) [24.26]	10.1 (+, +) [9.00]	10.2 (+, +) [11.45]	11.1 (+, +) [15.58]	10.3 (+, +) [15.76]	11.8 (+, +) [14.36]	12.4 (+, +) [12.83]	14.1 (+, +) [12.25]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
10.6 (+, +) [14.01]	8.0 (-, +) [14.68]	10.5 (+, +) [7.76]	9.5 (+, +) [7.98]	9.0 (+, +) [8.15]	8.3 (-, +) [8.22]	7.0 (+, +) [7.54]	7.4 (+, -) [17.35]

○すべり面形状No.4は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

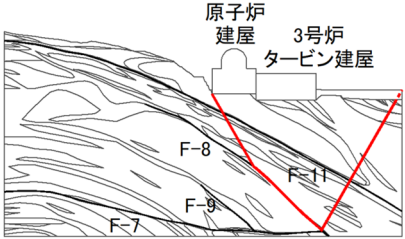
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (5/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (5/14)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
5	 原子炉建屋基礎左端からF-8断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	10.8 [7.51]

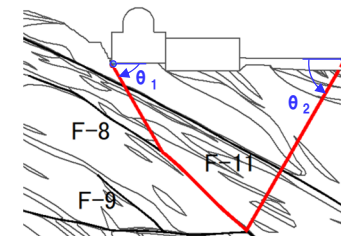
— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

- ※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 []は発生時刻(秒)を示す。
※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す
(本編資料5.1.4章を参照)。
※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動の
すべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
13.4 (-,+) [23.61]	21.8 (+,+) [20.42]	25.4 (+,+) [22.71]	23.8 (+,+) [22.30]	25.2 (+,+) [15.40]	28.4 (+,+) [36.53]	24.9 (+,+) [24.27]	18.1 (+,+) [9.03]	19.4 (+,+) [11.46]	21.7 (+,+) [15.59]	18.0 (+,+) [15.73]	23.2 (+,+) [17.40]	24.3 (+,+) [10.21]	26.3 (+,+) [10.91]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
18.6 (+,+) [14.32]	13.6 (-,+) [14.38]	18.3 (-,+) [10.82]	16.8 (-,+) [10.81]	16.3 (+,+) [8.16]	15.3 (-,+) [7.18]	10.8 (+,+) [7.51]	14.6 (+,+) [17.32]

○すべり面形状No.5は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)を
パラメトリックに設定(20° ~70° の範囲を5° 間隔)

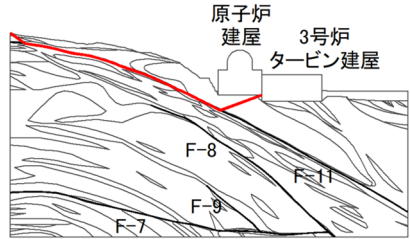
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (6/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (6/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
6	 解析モデル左端からF-11断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.0 (1.7) [7.54]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面) のすべり面形状No.3と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面) においても、評価結果を掲載している。

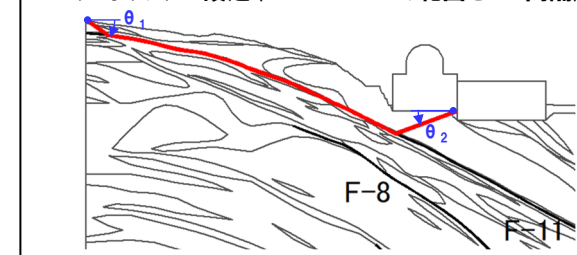
※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※4 ()は強度のばらつき (平均-1σ) を考慮したすべり安全率を、[]は発生時刻 (秒) を示す。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
2.7 (-,+) [47.63]	4.1 (+,+) [20.50]	4.6 (+,+) [14.50]	4.5 (+,+) [21.69]	4.4 (+,+) [15.24]	4.5 (+,+) [34.76]	4.6 (+,+) [24.32]	3.1 (+,+) [9.07]	3.4 (+,+) [11.31]	3.3 (+,+) [13.12]	3.0 (+,+) [15.83]	3.5 (+,+) [17.50]	3.9 (+,+) [12.89]	4.2 (+,+) [12.32]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.3 (-,+) [14.85]	3.5 (-,+) [14.23]	3.5 (-,+) [8.90]	3.1 (+,+) [9.78]	3.5 (+,+) [8.19]	2.8 (-,+) [8.27]	2.0 (+,+) [7.54]	2.8 (+,-) [16.65]

○すべり面形状No.6は、岩盤内を通る角度 (θ_1 及び θ_2) をパラメトリックに設定 ($20^\circ \sim 70^\circ$ の範囲を 5° 間隔)

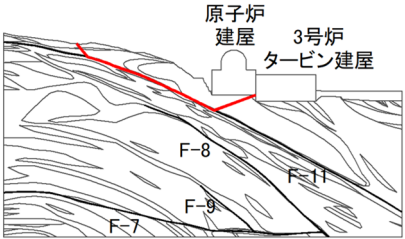
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面 (原子炉建屋基礎地盤) (7/14)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面 (7/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
7	 地表からF-11断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.1 [7.52]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面) のすべり面形状No.4と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面 (原子炉建屋等周辺斜面) においても、評価結果を掲載している。

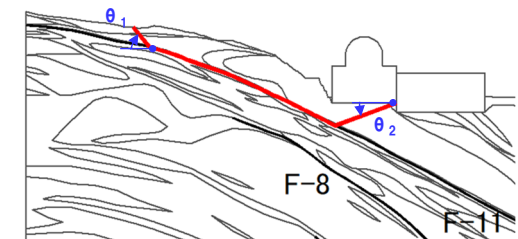
※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※4 []は発生時刻(秒)を示す。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
2.8 (+,+) [47.77]	4.3 (+,+) [20.49]	4.6 (+,+) [14.47]	4.8 (+,+) [21.68]	4.9 (+,+) [15.23]	4.7 (+,+) [34.47]	4.9 (+,+) [24.30]	3.1 (+,+) [9.06]	3.4 (+,+) [11.29]	3.2 (+,+) [15.62]	3.0 (+,+) [15.82]	3.6 (+,+) [17.48]	3.7 (+,+) [13.12]	4.1 (+,+) [12.30]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.6 (-,+) [14.84]	3.6 (-,+) [14.22]	3.6 (-,+) [7.92]	3.3 (+,+) [8.02]	3.5 (-,+) [6.25]	3.0 (-,+) [8.25]	2.1 (+,+) [7.52]	2.9 (+,-) [16.64]

○すべり面形状No.7は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

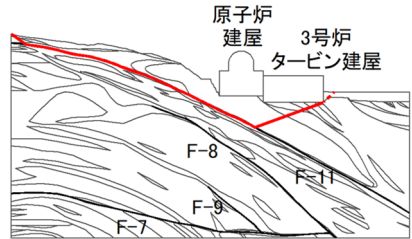
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(8/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(8/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
8	 解析モデル左端からF-11断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.3 [7.53]

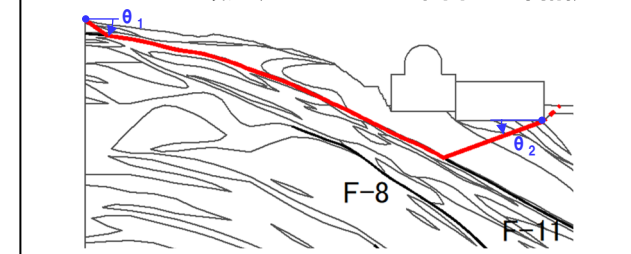
— :岩級区分線 --- :すべり面※5 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

- ※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.5と同じすべり面形状。
 ※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。
 ※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※4 []は発生時刻(秒)を示す。
 ※5 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。
 ※6 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※6													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.1 (-,+) [47.62]	4.6 (+,+) [20.49]	5.1 (+,+) [22.72]	5.0 (+,+) [21.70]	4.9 (+,+) [15.24]	5.0 (+,+) [34.76]	5.0 (+,+) [24.31]	3.6 (+,+) [9.06]	3.7 (+,+) [11.30]	3.7 (+,+) [13.11]	3.5 (+,+) [15.82]	3.9 (+,+) [17.49]	4.4 (+,+) [13.14]	4.7 (+,+) [11.01]

すべり安全率※6							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.7 (-,+) [14.85]	3.9 (-,+) [14.23]	3.7 (+,+) [8.68]	3.4 (+,+) [9.78]	3.9 (-,+) [9.54]	3.1 (-,+) [8.27]	2.3 (+,+) [7.53]	3.2 (+,-) [16.63]

○すべり面形状No.8は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

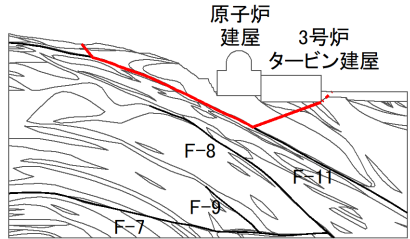
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(9/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(9/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
9	 原子炉建屋 3号炉タービン建屋 F-8 F-11 F-9 F-7 地表からF-11断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.4 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※5 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.6と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。

※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

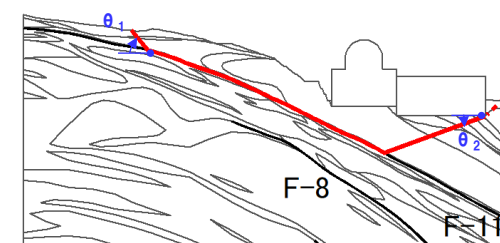
※4 []は発生時刻(秒)を示す。

※5 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※6 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※6													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.2 (+,+) [47.76]	4.7 (+,+) [20.48]	5.1 (+,+) [14.47]	5.2 (+,+) [21.66]	5.2 (+,+) [15.22]	5.0 (+,+) [34.47]	5.2 (+,+) [24.29]	3.5 (+,+) [9.05]	3.7 (+,+) [11.29]	3.7 (+,+) [15.61]	3.5 (+,+) [15.81]	4.0 (+,+) [17.48]	4.1 (+,+) [13.12]	4.7 (+,+) [12.29]

すべり安全率※6							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.8 (-,+) [14.84]	4.0 (-,+) [14.23]	3.9 (+,+) [8.67]	3.7 (+,+) [8.00]	3.9 (+,+) [8.16]	3.3 (-,+) [8.25]	2.4 (+,+) [7.53]	3.2 (+,-) [16.63]

○すべり面形状No.9は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

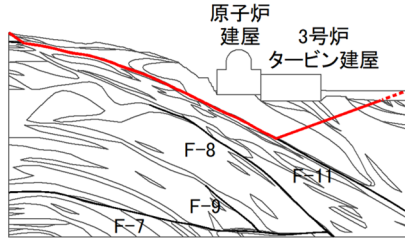
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(10/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(10/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
10	 解析モデル左端からF-11断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.7 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※5 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.7と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。

※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

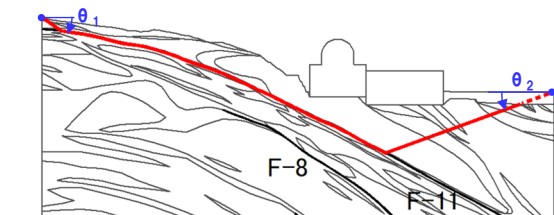
※4 []は発生時刻(秒)を示す。

※5 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※6 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※6													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.7 (-,+) [47.61]	5.7 (+,+) [20.46]	6.2 (+,+) [22.72]	6.3 (+,+) [21.66]	6.1 (+,+) [15.45]	6.5 (+,+) [34.74]	6.2 (+,+) [24.29]	4.4 (+,+) [9.06]	4.6 (+,+) [11.31]	4.7 (+,+) [13.10]	4.6 (+,+) [15.81]	4.8 (+,+) [17.49]	5.5 (+,+) [13.13]	6.4 (+,+) [11.01]

すべり安全率※6							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.7 (-,+) [14.84]	4.6 (-,+) [14.68]	4.6 (-,+) [10.81]	4.2 (+,+) [9.78]	4.6 (+,+) [8.17]	3.8 (-,+) [8.26]	2.7 (+,+) [7.53]	4.0 (+,-) [17.38]

○すべり面形状No.10は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

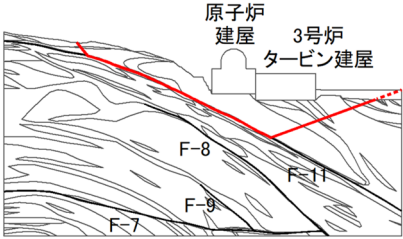
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(11/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(11/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
11	 原子炉建屋 3号炉 タービン建屋 F-8 F-11 F-9 F-7 地表からF-11断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.8 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※5 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.8と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。

※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

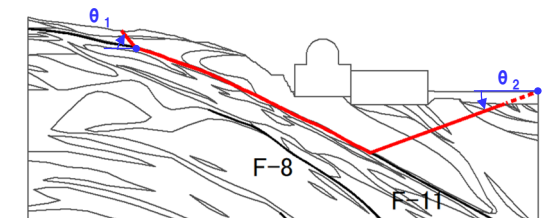
※4 []は発生時刻(秒)を示す。

※5 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※6 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※6													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.8 (-, -) [47.56]	5.8 (+, +) [20.46]	6.6 (+, +) [22.72]	6.4 (+, +) [21.65]	6.4 (+, +) [15.43]	6.6 (+, +) [34.73]	6.4 (+, +) [24.28]	4.4 (+, +) [9.05]	4.7 (+, +) [11.29]	4.6 (+, +) [15.60]	4.6 (+, +) [15.80]	5.0 (+, +) [17.48]	5.3 (+, +) [13.12]	6.2 (+, +) [12.28]

すべり安全率※6							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.9 (-, +) [14.84]	4.8 (-, +) [14.67]	4.9 (-, +) [10.78]	4.4 (+, +) [8.00]	4.5 (+, +) [8.16]	3.8 (-, +) [8.25]	2.8 (+, +) [7.53]	4.0 (-, +) [6.64]

○すべり面形状No.11は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

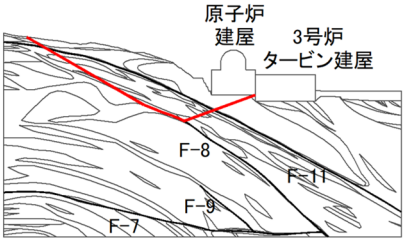
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(12/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(12/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
12	 地表からF-8断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.5 [7.53]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.9と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。

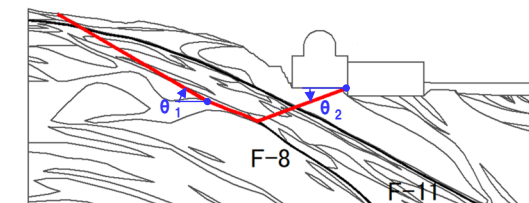
※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※4 []は発生時刻(秒)を示す。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.6 (-, -) [47.57]	5.5 (+, +) [20.48]	6.0 (+, +) [14.47]	6.0 (+, +) [21.67]	6.2 (+, +) [15.23]	5.9 (+, +) [34.75]	6.2 (+, +) [24.30]	3.9 (+, +) [9.06]	4.6 (+, +) [11.96]	4.1 (+, +) [15.61]	3.9 (+, +) [15.81]	4.5 (+, +) [17.49]	4.8 (+, +) [13.11]	5.6 (+, +) [12.30]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.5 (-, +) [14.85]	4.7 (-, +) [14.40]	4.5 (-, +) [8.91]	4.1 (-, +) [7.77]	4.2 (+, +) [8.17]	3.6 (-, +) [8.27]	2.5 (+, +) [7.53]	3.5 (+, -) [17.39]

○すべり面形状No.12は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

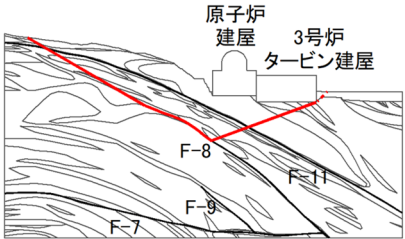
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(13/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(13/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
13	 地表からF-8断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.7 [7.53]

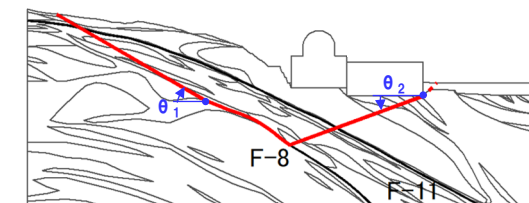
— :岩級区分線 --- :すべり面※5 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

- ※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.10と同じすべり面形状。
 ※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。
 ※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※4 []は発生時刻(秒)を示す。
 ※5 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。
 ※6 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※6													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.7 (-, -) [47.57]	5.8 (+, +) [20.47]	6.5 (+, +) [22.72]	6.3 (+, +) [21.66]	6.4 (+, +) [15.23]	6.2 (+, +) [34.75]	6.4 (+, +) [24.29]	4.2 (+, +) [9.05]	4.8 (+, +) [11.29]	4.5 (+, +) [15.60]	4.4 (+, +) [15.81]	4.8 (+, +) [17.49]	5.2 (+, +) [13.11]	6.1 (+, +) [12.27]

すべり安全率※6							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.8 (-, +) [14.84]	4.9 (-, +) [14.69]	4.7 (-, +) [10.81]	4.2 (-, +) [7.77]	4.5 (+, +) [8.17]	3.8 (-, +) [8.27]	2.7 (+, +) [7.53]	3.9 (+, -) [6.80]

○すべり面形状No.13は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

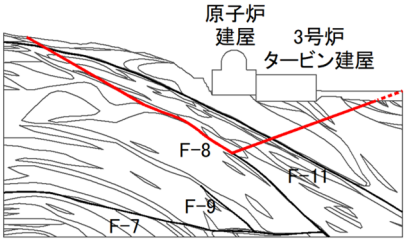
4.2 すべり安全率一覧

②すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)(14/14)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(14/14)

No.	すべり面形状※1,2	基準地震動※3	最小すべり安全率※4
14	 地表からF-8断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.9 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※5 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)のすべり面形状No.11と同じすべり面形状。

※2 すべり面形状No.6~No.14については、F-11断層及びF-8断層の分布を考慮し、斜面内を通るすべり面となっていることから、Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)においても、評価結果を掲載している。

※3 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

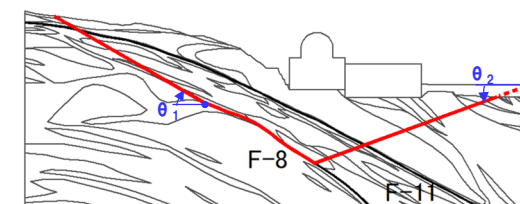
※4 []は発生時刻(秒)を示す。

※5 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。

※6 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※6													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
4.2 (-, -) [47.57]	6.6 (+, +) [20.45]	7.3 (+, +) [22.71]	7.2 (+, +) [21.65]	7.2 (+, +) [15.45]	7.4 (+, +) [34.74]	7.2 (+, +) [24.27]	5.0 (+, +) [9.05]	5.5 (+, +) [11.30]	5.3 (+, +) [15.60]	5.4 (+, +) [15.80]	5.7 (+, +) [17.49]	6.2 (+, +) [13.12]	7.6 (+, +) [12.26]

すべり安全率※6							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
5.7 (-, +) [14.84]	5.2 (-, +) [14.67]	5.2 (-, +) [10.80]	4.7 (-, +) [7.77]	5.1 (+, +) [8.16]	4.4 (-, +) [8.26]	2.9 (+, +) [7.53]	4.5 (-, +) [6.64]

○すべり面形状No.14は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

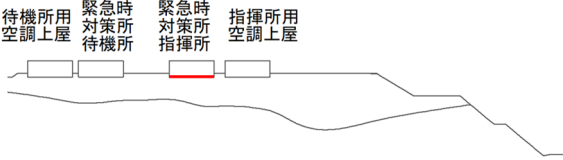
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果：a-a'断面（緊急時対策所指揮所基礎地盤）（1/11）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面（1/11）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	 緊急時対策所指揮所基礎底面を通るすべり面	Ss3-5 (+,+)	9.7 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
10.2 (-, -) [35.97]	32.4 (+, +) [20.92]	49.7 (+, +) [15.14]	50.1 (+, +) [21.67]	38.5 (+, +) [12.53]	46.0 (+, +) [34.66]	42.2 (+, +) [22.47]	26.2 (+, +) [10.16]	19.1 (+, +) [10.37]	23.4 (+, +) [12.03]	21.4 (+, +) [19.92]	21.6 (+, +) [15.80]	30.2 (+, +) [11.30]	29.7 (+, +) [12.19]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
19.1 (+, +) [16.91]	18.3 (+, +) [15.19]	17.1 (-, +) [8.47]	17.7 (-, +) [7.74]	13.0 (-, +) [7.49]	15.6 (-, +) [8.26]	12.6 (+, +) [7.47]	9.7 (+, +) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果：a-a'断面（緊急時対策所指揮所基礎地盤）（2/11）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面（2/11）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2	緊急時対策所指揮所基礎左端を通り T.P.10m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	6.3 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.5 (-,+) [35.97]	14.0 (+,+) [20.92]	18.7 (+,+) [15.13]	18.7 (+,+) [21.68]	16.3 (+,+) [12.53]	17.7 (+,+) [35.15]	17.0 (+,+) [22.47]	12.4 (+,+) [10.17]	12.2 (+,+) [11.65]	12.7 (+,+) [11.65]	11.3 (+,+) [19.92]	10.9 (+,+) [15.79]	16.0 (+,+) [11.22]	13.9 (+,+) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
11.2 (-,+) [16.02]	9.4 (-,+) [14.73]	9.6 (-,+) [7.89]	9.2 (-,+) [7.74]	8.1 (+,+) [7.49]	8.3 (-,+) [8.26]	7.5 (+,+) [7.49]	6.3 (+,-) [11.63]

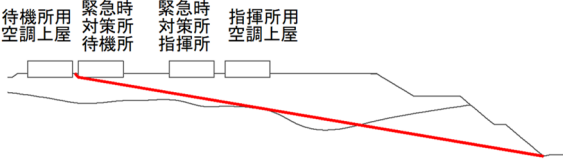
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(3/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面(3/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
3	 緊急時対策所待機所基礎左端を通り T.P.10m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	5.7 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
6.9 (-,+) [35.97]	13.1 (+,+) [20.92]	18.1 (+,+) [15.13]	17.8 (+,+) [21.68]	15.4 (+,+) [12.53]	17.0 (+,+) [35.15]	16.4 (+,+) [22.47]	11.6 (+,+) [10.17]	11.4 (+,+) [11.65]	11.9 (+,+) [11.65]	10.4 (+,+) [19.92]	10.0 (+,+) [15.80]	15.1 (+,+) [11.22]	13.1 (+,+) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
10.4 (-,+) [16.02]	8.8 (-,+) [14.73]	8.8 (-,+) [7.89]	8.6 (-,+) [7.74]	7.2 (+,+) [7.49]	7.6 (-,+) [8.26]	6.8 (+,+) [7.49]	5.7 (+,-) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果：a-a'断面（緊急時対策所指揮所基礎地盤）（4/11）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面（4/11）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
4		Ss3-5 (+,-)	6.2 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.4 (-,+) [35.97]	14.1 (+,+) [20.92]	19.8 (+,+) [15.13]	19.5 (+,+) [21.68]	16.9 (+,+) [12.53]	18.6 (+,+) [35.15]	17.9 (+,+) [22.47]	12.4 (+,+) [10.17]	12.3 (+,+) [11.65]	12.8 (+,+) [11.65]	11.2 (+,+) [19.92]	10.7 (+,+) [15.80]	16.4 (+,+) [11.22]	14.1 (+,+) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
11.2 (-,+) [16.02]	9.5 (-,+) [14.73]	9.4 (-,+) [7.89]	9.3 (-,+) [7.74]	7.7 (+,+) [7.49]	8.1 (-,+) [8.26]	7.2 (+,+) [7.49]	6.2 (+,-) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果：a-a'断面（緊急時対策所指揮所基礎地盤）（5/11）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面（5/11）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
5	緊急時対策所指揮所基礎左端を通り T.P.21m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	6.6 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.3 (-, -) [35.97]	16.9 (+, +) [20.92]	23.5 (+, +) [15.13]	23.6 (+, +) [21.68]	20.1 (+, +) [12.53]	22.5 (+, +) [35.15]	21.4 (+, +) [22.47]	14.8 (+, +) [10.17]	14.4 (+, +) [11.65]	15.1 (+, +) [11.65]	13.4 (+, +) [19.92]	12.7 (+, +) [15.80]	19.6 (+, +) [11.22]	16.7 (+, +) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
12.5 (-, +) [16.02]	10.8 (-, +) [14.73]	10.9 (+, +) [7.81]	10.5 (-, +) [7.74]	8.9 (+, +) [7.49]	9.5 (-, +) [8.26]	8.7 (+, +) [7.49]	6.6 (+, -) [11.63]

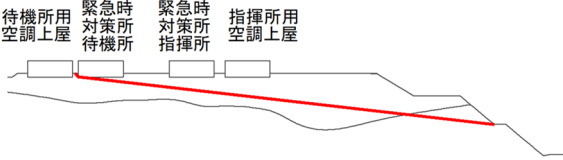
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(6/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面(6/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
6	 緊急時対策所待機所基礎左端を通り T.P.21m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	6.2 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.7 (-, -) [35.97]	16.0 (+, +) [20.92]	23.0 (+, +) [15.14]	22.9 (+, +) [21.68]	19.3 (+, +) [12.53]	21.9 (+, +) [35.15]	21.0 (+, +) [22.47]	14.1 (+, +) [10.17]	13.6 (+, +) [11.65]	14.4 (+, +) [11.65]	12.5 (+, +) [19.92]	11.7 (+, +) [15.80]	18.8 (+, +) [11.22]	15.9 (+, +) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
11.8 (-, +) [16.02]	10.2 (-, +) [14.73]	10.2 (-, +) [7.89]	10.0 (-, +) [7.74]	8.2 (+, +) [7.49]	8.9 (+, +) [7.11]	7.9 (+, +) [7.48]	6.2 (+, -) [11.63]

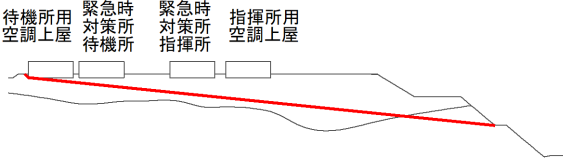
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(7/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面(7/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
7	 待機所用空調上屋基礎左端を通り T.P.21m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	6.1 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.3 (-,+) [35.97]	15.7 (+,+) [20.92]	23.0 (+,+) [15.13]	22.7 (+,+) [21.68]	19.3 (+,+) [12.53]	21.8 (+,+) [35.15]	20.8 (+,+) [22.48]	13.7 (+,+) [10.17]	13.3 (+,+) [11.65]	14.1 (+,+) [11.65]	12.1 (+,+) [19.92]	11.4 (+,+) [15.80]	18.7 (+,+) [11.22]	15.6 (+,+) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
11.4 (-,+) [16.02]	10.0 (-,+) [14.73]	9.8 (-,+) [7.89]	9.8 (-,+) [7.74]	7.9 (+,+) [7.49]	8.6 (-,+) [8.26]	7.7 (+,+) [7.48]	6.1 (+,+) [11.63]

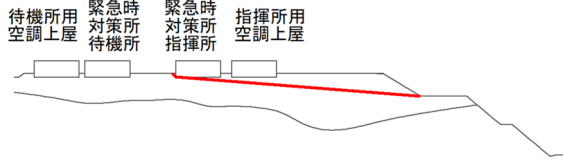
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(8/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面(8/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
8	 緊急時対策所指揮所基礎左端を通り T.P.31m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (-, -)	6.3 [11.64]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
9.0 (-, -) [35.97]	20.0 (+, +) [20.93]	29.7 (+, +) [15.14]	30.6 (+, +) [21.68]	25.5 (+, +) [12.53]	29.0 (+, +) [35.15]	27.7 (+, +) [22.48]	17.6 (+, +) [10.17]	16.8 (+, +) [11.65]	17.8 (+, +) [11.65]	15.7 (+, +) [19.92]	14.4 (+, +) [15.80]	23.9 (+, +) [11.22]	19.8 (+, +) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.9 (+, +) [16.91]	12.1 (-, +) [14.73]	12.1 (-, +) [8.48]	12.1 (-, +) [7.75]	9.4 (+, +) [7.49]	10.6 (+, +) [7.11]	9.8 (+, +) [7.52]	6.3 (-, -) [11.64]

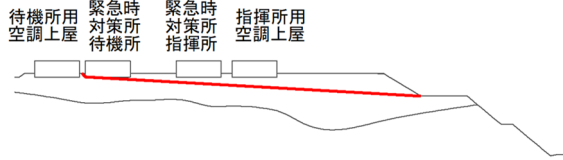
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果：a-a'断面（緊急時対策所指揮所基礎地盤）（9/11）

一部修正（R6/1/19審査会合）

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面（9/11）

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
9	 待機所用 空調上屋 緊急時 対策所 待機所 緊急時 対策所 指揮所 指揮所用 空調上屋 緊急時対策所待機所基礎左端を通り T.P.31m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	6.7 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.1 (-, -) [35.97]	20.3 (+, +) [20.93]	30.8 (+, +) [15.14]	31.5 (+, +) [21.68]	25.8 (+, +) [12.53]	30.2 (+, +) [35.15]	29.0 (+, +) [22.48]	17.8 (+, +) [10.17]	16.5 (+, +) [10.37]	18.2 (+, +) [11.65]	15.6 (+, +) [19.92]	14.3 (+, +) [15.80]	24.7 (+, +) [11.22]	20.2 (+, +) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.9 (-, +) [16.02]	12.2 (-, +) [14.73]	12.2 (-, +) [7.89]	12.2 (-, +) [7.75]	9.4 (+, +) [7.49]	10.5 (+, +) [7.11]	9.1 (+, +) [7.48]	6.7 (+, +) [11.63]

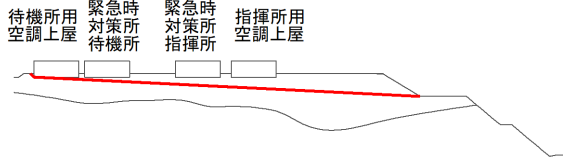
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(10/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面(10/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
10	 待機所用空調上屋基礎左端を通り T.P.31m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	6.6 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.7 (-, -) [35.97]	20.1 (+, +) [20.93]	30.8 (+, +) [15.14]	31.0 (+, +) [21.68]	25.9 (+, +) [12.53]	30.0 (+, +) [35.15]	28.1 (+, +) [22.48]	17.3 (+, +) [10.17]	15.4 (+, +) [10.37]	17.6 (+, +) [12.03]	15.0 (+, +) [19.92]	13.9 (+, +) [15.80]	24.8 (+, +) [11.22]	20.0 (+, +) [12.39]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.6 (-, +) [16.02]	12.3 (-, +) [14.73]	11.8 (-, +) [7.89]	11.9 (-, +) [7.75]	9.2 (+, +) [7.49]	10.3 (+, +) [7.11]	8.7 (+, +) [7.48]	6.6 (+, +) [11.63]

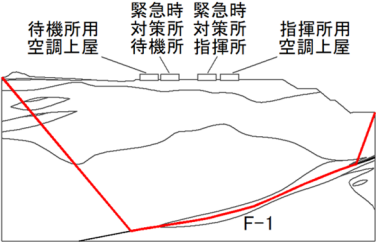
4.2 すべり安全率一覧

③すべり安全率評価結果:a-a'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(11/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■a-a'断面(11/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
11	 解析モデル左端からF-1断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	4.1 (3.3) [7.53]

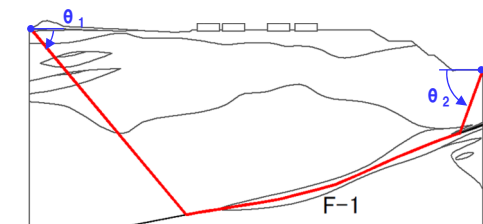
— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を, []は発生時刻(秒)を示す。
 ※3 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※3													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
6.4 (-, -) [47.59]	15.8 (+, +) [20.91]	20.0 (+, +) [20.66]	19.1 (+, +) [26.44]	16.0 (+, +) [20.56]	16.0 (+, +) [31.78]	20.5 (+, +) [29.16]	12.6 (+, +) [7.83]	11.3 (+, +) [9.68]	12.2 (+, +) [11.42]	9.5 (+, +) [19.96]	10.7 (+, +) [14.32]	15.6 (+, +) [11.18]	11.7 (+, +) [12.04]

すべり安全率※3							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
11.7 (+, +) [13.99]	7.7 (-, +) [14.37]	10.2 (-, +) [10.84]	8.8 (-, +) [7.78]	8.5 (+, +) [8.16]	7.3 (-, +) [8.25]	4.1 (+, +) [7.53]	7.0 (+, -) [17.37]

○すべり面形状No.11は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(1/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(1/7)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	緊急時対策所 指揮所 F-1 緊急時対策所指揮所基礎底面を通るすべり面	Ss3-5 (-, -)	9.3 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
12.3 (-, -) [35.96]	27.6 (+, +) [20.48]	45.4 (+, +) [14.45]	41.7 (+, +) [22.35]	45.6 (+, +) [15.44]	55.5 (+, +) [34.74]	41.0 (+, +) [24.29]	20.4 (+, +) [9.02]	17.3 (+, +) [12.50]	25.5 (+, +) [15.61]	21.8 (+, +) [15.78]	28.0 (+, +) [15.53]	28.9 (+, +) [12.87]	35.7 (+, +) [12.29]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
15.3 (+, +) [16.02]	11.4 (+, +) [14.73]	15.8 (-, +) [7.81]	18.4 (+, +) [8.03]	14.1 (-, +) [8.18]	13.6 (+, +) [8.26]	9.7 (+, +) [7.39]	9.3 (-, -) [11.63]

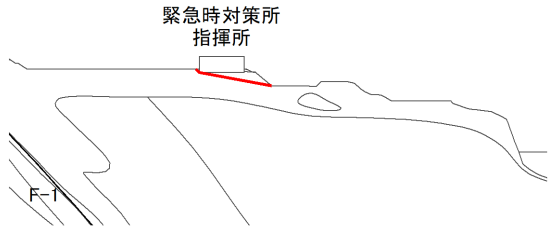
4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(2/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(2/7)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2	 緊急時対策所指揮所基礎左端を通り 緊急時対策所指揮所下部斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	6.8 [16.16]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.5 (-, -) [35.96]	17.5 (+, +) [20.47]	20.2 (+, +) [14.45]	22.7 (+, +) [21.65]	23.4 (+, +) [15.20]	23.6 (+, +) [34.72]	22.5 (+, +) [24.29]	12.0 (+, +) [9.02]	14.9 (+, +) [10.12]	14.8 (+, +) [15.60]	12.3 (+, +) [15.77]	15.6 (+, +) [14.38]	15.8 (+, +) [12.86]	17.6 (+, +) [12.27]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
12.1 (+, +) [16.91]	10.7 (-, +) [14.90]	11.0 (-, +) [7.89]	12.4 (-, +) [7.74]	11.5 (-, +) [6.92]	10.3 (-, +) [8.26]	7.3 (+, +) [7.43]	6.8 (+, -) [16.16]

4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(3/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(3/7)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
3	緊急時対策所 指揮所 T.P.39m盤法尻から緊急時対策所指揮所 下部斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	5.3 [16.16]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
5.8 (-, -) [35.96]	25.1 (+, +) [20.46]	22.5 (+, +) [14.44]	33.3 (+, +) [21.64]	29.7 (+, +) [13.54]	31.6 (+, +) [34.70]	33.9 (+, +) [22.28]	9.6 (+, +) [9.01]	12.1 (+, +) [12.57]	16.0 (+, +) [15.60]	9.7 (+, +) [15.77]	14.0 (+, +) [15.62]	13.6 (+, +) [12.10]	20.1 (+, +) [12.27]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
9.7 (+, +) [16.75]	9.7 (+, +) [16.23]	8.7 (-, +) [7.89]	11.6 (-, +) [8.13]	9.6 (+, +) [7.02]	9.4 (-, +) [6.89]	5.4 (+, +) [7.44]	5.3 (+, -) [16.16]

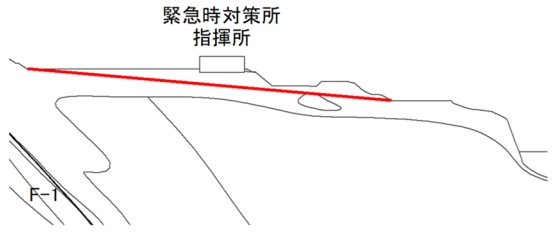
4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(4/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(4/7)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
4	 T.P.39m盤法尻から緊急時対策所指揮所 下部下段斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	5.0 (4.3) [7.43]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を, []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.1 (-, -) [35.96]	23.2 (+, +) [20.46]	25.6 (+, +) [14.44]	31.1 (+, +) [21.64]	34.6 (+, +) [13.54]	32.9 (+, +) [34.72]	34.9 (+, +) [24.29]	11.4 (+, +) [9.01]	15.3 (+, +) [12.50]	17.5 (+, +) [15.60]	11.7 (+, +) [15.78]	16.7 (+, +) [15.63]	16.4 (+, +) [12.10]	22.3 (+, +) [12.27]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.1 (+, +) [16.75]	12.3 (+, +) [16.23]	10.9 (-, +) [7.89]	14.0 (-, +) [8.13]	12.5 (-, +) [8.18]	10.6 (+, +) [8.26]	5.0 (+, +) [7.43]	7.0 (+, -) [16.16]

4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(5/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(5/7)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
5	緊急時対策所 指揮所 緊急時対策所指揮所基礎左端を通り T.P.10m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	8.4 [11.62]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
10.3 (-,+) [35.96]	17.7 (+,+) [20.46]	20.7 (+,+) [14.44]	22.1 (+,+) [21.65]	22.5 (+,+) [15.20]	23.5 (+,+) [34.72]	22.0 (+,+) [24.29]	12.9 (+,+) [9.02]	15.0 (+,+) [11.48]	15.1 (+,+) [15.60]	13.2 (+,+) [15.78]	16.3 (+,+) [16.83]	16.3 (+,+) [12.85]	18.0 (+,+) [12.27]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
14.1 (+,+) [16.90]	12.6 (-,+) [14.72]	12.7 (+,+) [7.80]	13.6 (-,+) [7.73]	12.1 (-,+) [6.92]	11.8 (-,+) [8.26]	10.2 (+,+) [7.51]	8.4 (+,-) [11.62]

4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(6/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(6/7)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
6	緊急時対策所 指揮所 T.P.39m盤法尻から T.P.10m盤法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	7.7 [11.62]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
9.0 (-, -) [35.96]	17.7 (+, +) [20.46]	20.1 (+, +) [14.44]	22.7 (+, +) [21.65]	24.0 (+, +) [15.20]	24.4 (+, +) [34.73]	23.2 (+, +) [24.28]	11.5 (+, +) [9.02]	14.6 (+, +) [11.48]	14.5 (+, +) [15.59]	11.8 (+, +) [15.78]	15.6 (+, +) [16.83]	15.7 (+, +) [12.85]	17.4 (+, +) [12.27]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.6 (-, +) [16.01]	12.7 (-, +) [14.42]	11.6 (-, +) [7.88]	13.6 (-, +) [7.74]	11.4 (-, +) [6.92]	11.2 (-, +) [8.26]	9.2 (+, +) [7.48]	7.7 (+, +) [11.62]

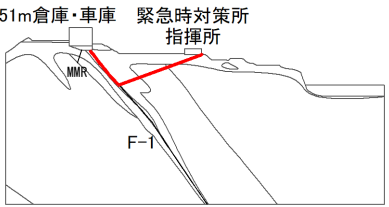
4.2 すべり安全率一覧

④すべり安全率評価結果:b-b'断面(緊急時対策所指揮所基礎地盤)(7/7)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■b-b'断面(7/7)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
7	 F-1断層左端から 緊急時対策所指揮所基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	5.2 [7.53]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 当該すべり面については、MMR(設計基準強度18N/mm²)が神恵内層に比べて十分な強度を有していることから、MMRを通らないすべり面とした。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

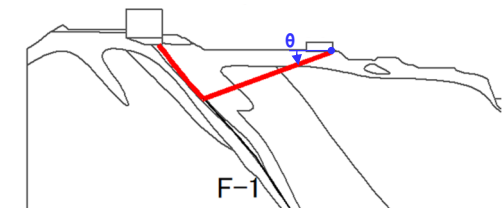
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.3 (+,-) [47.58]	18.1 (+,+) [20.59]	18.4 (+,+) [14.34]	20.3 (+,+) [22.97]	21.1 (+,+) [13.08]	19.1 (+,+) [32.62]	18.4 (+,+) [23.00]	12.1 (+,+) [9.90]	8.4 (+,+) [12.48]	10.2 (+,+) [13.22]	11.9 (+,+) [15.66]	11.6 (+,+) [15.52]	12.3 (+,+) [12.00]	19.4 (+,+) [11.11]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
14.3 (+,+) [16.01]	10.7 (+,+) [14.39]	12.0 (-,+) [7.79]	9.7 (-,+) [8.00]	8.3 (-,+) [8.17]	7.5 (+,+) [8.26]	5.2 (-,+) [7.53]	6.0 (-,+) [17.38]

○すべり面形状No.7は、岩盤内を通る角度(θ)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

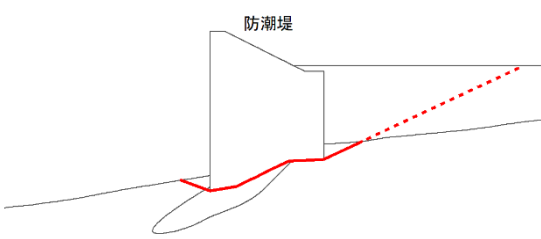


4.2 すべり安全率一覧

⑤すべり安全率評価結果:c-c' 断面 (防潮堤基礎地盤)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■c-c' 断面

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	 防潮堤基礎底面を通るすべり面	Ss3-4 (-,+)	2.7 (2.3) [7.51]

— :岩級区分線 --- :すべり面※3 — :断層

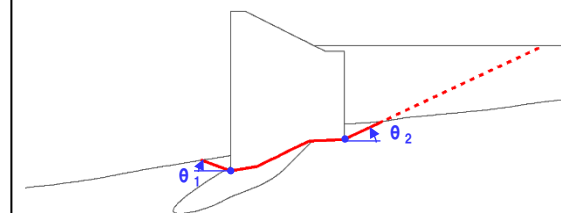
□ :すべり安全率の最小値

- ※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を, []は発生時刻(秒)を示す。
 ※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。
 ※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.1 (-,+) [17.34]	5.5 (+,+) [20.48]	5.7 (+,+) [14.45]	6.2 (+,+) [21.66]	6.5 (+,+) [15.21]	6.6 (+,+) [34.45]	6.5 (+,+) [24.29]	3.4 (+,+) [9.04]	3.8 (+,+) [10.33]	3.8 (+,+) [15.59]	3.6 (+,+) [15.79]	4.6 (+,+) [15.64]	4.4 (+,+) [12.87]	5.4 (+,+) [12.03]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.0 (-,+) [16.14]	3.8 (+,+) [14.40]	3.9 (-,+) [8.63]	4.1 (+,+) [8.13]	3.9 (-,+) [5.12]	3.5 (+,+) [7.25]	2.7 (-,+) [7.51]	3.1 (-,+) [16.61]

○すべり面形状No.1は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

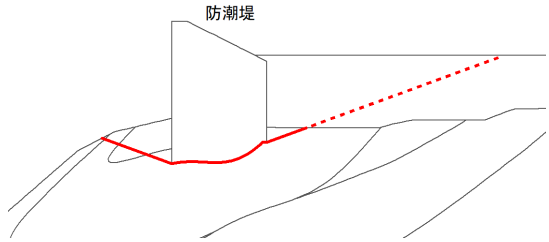


4.2 すべり安全率一覧

⑥すべり安全率評価結果:e-e' 断面 (防潮堤基礎地盤)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■e-e' 断面

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	 防潮堤基礎底面を通るすべり面	Ss3-4 (-,+)	3.0 (2.3) [7.51]

— : 岩級区分線 - - - : すべり面※3 — : 断層

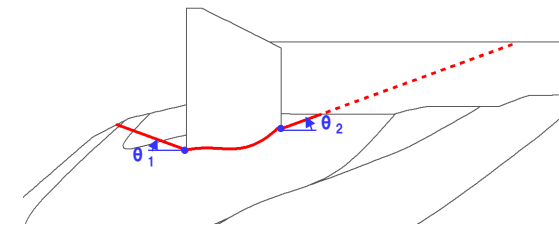
□ : すべり安全率の最小値

- ※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を, []は発生時刻(秒)を示す。
 ※3 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料5.1.4章を参照)。
 ※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.5 (-, -) [17.34]	5.9 (+, +) [20.46]	6.8 (+, +) [14.45]	6.2 (+, +) [21.66]	7.6 (+, +) [21.08]	8.1 (+, +) [34.69]	8.0 (+, +) [24.28]	4.9 (+, +) [10.01]	5.5 (+, +) [13.73]	5.6 (+, +) [13.07]	4.9 (+, +) [15.77]	6.0 (+, +) [16.58]	6.1 (+, +) [12.10]	5.4 (+, +) [12.02]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.6 (-, +) [16.14]	4.4 (+, +) [14.40]	4.1 (-, +) [8.62]	4.3 (-, +) [8.01]	4.2 (-, +) [8.17]	3.7 (+, +) [8.25]	3.0 (-, +) [7.51]	3.7 (-, +) [16.61]

○すべり面形状No.1は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)



4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(1/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(1/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	解析モデル左端からF-11断層を通り 斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	1.7 [7.53]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

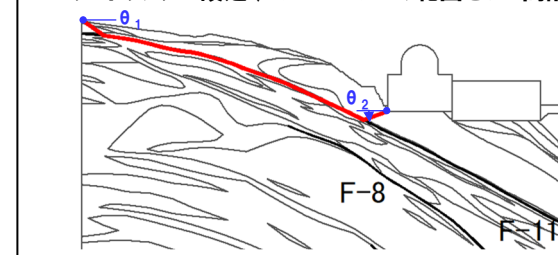
※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

※3 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※3													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
2.0 (+,+) [47.80]	3.0 (+,+) [20.82]	3.2 (+,+) [14.51]	3.4 (+,+) [21.70]	3.3 (+,+) [15.25]	3.2 (+,+) [34.76]	3.3 (+,+) [23.18]	2.4 (+,+) [9.07]	2.5 (+,+) [11.97]	2.5 (+,+) [13.13]	2.2 (+,+) [15.83]	2.6 (+,+) [17.50]	2.9 (+,+) [12.15]	2.9 (+,+) [12.32]

すべり安全率※3							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
2.4 (-,+) [14.85]	2.4 (-,+) [14.23]	2.5 (-,+) [8.90]	2.5 (-,+) [7.75]	2.6 (-,+) [8.48]	2.2 (-,+) [8.27]	1.7 (+,+) [7.53]	2.1 (+,-) [16.65]

○すべり面形状No.1は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(2/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(2/11)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2	地表からF-11断層を通り 斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	1.6 (1.4) [7.52]

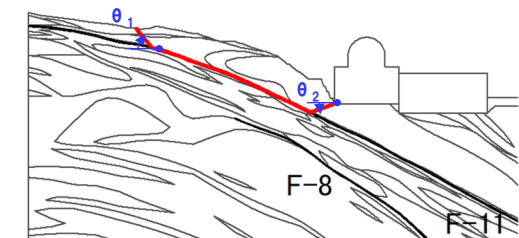
— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
 ※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を, []は発生時刻(秒)を示す。
 ※3 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※3													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
1.9 (-,+) [36.00]	3.1 (+,+) [20.78]	3.0 (+,+) [14.48]	3.2 (+,+) [20.93]	3.1 (+,+) [20.53]	3.1 (+,+) [33.29]	3.1 (+,+) [23.15]	2.3 (+,+) [9.05]	2.3 (+,+) [11.95]	2.4 (+,+) [15.62]	2.1 (+,+) [15.81]	2.5 (+,+) [16.86]	2.6 (+,+) [12.13]	2.7 (+,+) [12.30]

すべり安全率※3							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
2.4 (+,+) [16.14]	2.3 (-,+) [14.21]	2.3 (-,+) [7.92]	2.3 (-,+) [8.17]	2.4 (-,+) [8.29]	2.2 (-,+) [8.25]	1.6 (+,+) [7.52]	2.0 (+,-) [16.64]

○すべり面形状No.2は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(3/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(3/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
3	解析モデル左端からF-11断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.0 [7.54]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.6と同じすべり面形状。

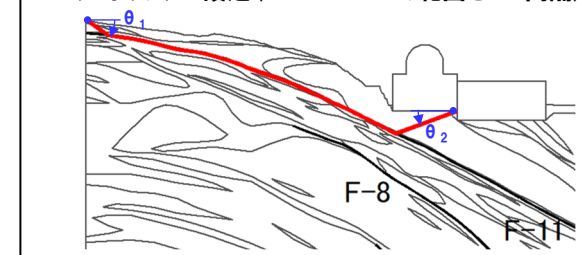
※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
2.7 (-,+) [47.63]	4.1 (+,+) [20.50]	4.6 (+,+) [14.50]	4.5 (+,+) [21.69]	4.4 (+,+) [15.24]	4.5 (+,+) [34.76]	4.6 (+,+) [24.32]	3.1 (+,+) [9.07]	3.4 (+,+) [11.31]	3.3 (+,+) [13.12]	3.0 (+,+) [15.83]	3.5 (+,+) [17.50]	3.9 (+,+) [12.89]	4.2 (+,+) [12.32]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.3 (-,+) [14.85]	3.5 (-,+) [14.23]	3.5 (-,+) [8.90]	3.1 (+,+) [9.78]	3.5 (+,+) [8.19]	2.8 (-,+) [8.27]	2.0 (+,+) [7.54]	2.8 (+,-) [16.65]

○すべり面形状No.3は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

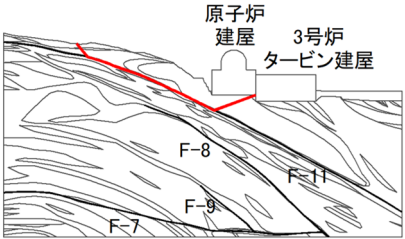
4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(4/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(4/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
4	 地表からF-11断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.1 [7.52]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.7と同じすべり面形状。

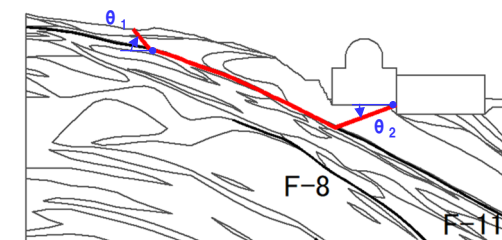
※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
2.8 (+,+) [47.77]	4.3 (+,+) [20.49]	4.6 (+,+) [14.47]	4.8 (+,+) [21.68]	4.9 (+,+) [15.23]	4.7 (+,+) [34.47]	4.9 (+,+) [24.30]	3.1 (+,+) [9.06]	3.4 (+,+) [11.29]	3.2 (+,+) [15.62]	3.0 (+,+) [15.82]	3.6 (+,+) [17.48]	3.7 (+,+) [13.12]	4.1 (+,+) [12.30]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.6 (-,+) [14.84]	3.6 (-,+) [14.22]	3.6 (-,+) [7.92]	3.3 (+,+) [8.02]	3.5 (-,+) [6.25]	3.0 (-,+) [8.25]	2.1 (+,+) [7.52]	2.9 (+,-) [16.64]

○すべり面形状No.4は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(5/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(5/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
5	解析モデル左端からF-11断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.3 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※4 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.8と同じすべり面形状。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

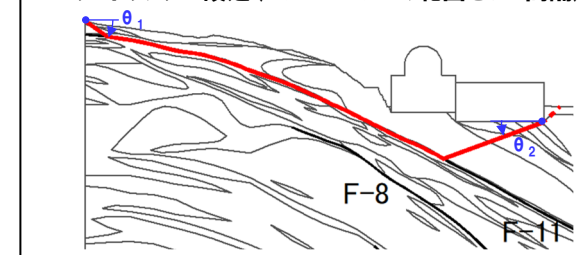
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料6.3章を参照)。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.1 (-,+) [47.62]	4.6 (+,+) [20.49]	5.1 (+,+) [22.72]	5.0 (+,+) [21.70]	4.9 (+,+) [15.24]	5.0 (+,+) [34.76]	5.0 (+,+) [24.31]	3.6 (+,+) [9.06]	3.7 (+,+) [11.30]	3.7 (+,+) [13.11]	3.5 (+,+) [15.82]	3.9 (+,+) [17.49]	4.4 (+,+) [13.14]	4.7 (+,+) [11.01]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.7 (-,+) [14.85]	3.9 (-,+) [14.23]	3.7 (+,+) [8.68]	3.4 (+,+) [9.78]	3.9 (-,+) [9.54]	3.1 (-,+) [8.27]	2.3 (+,+) [7.53]	3.2 (+,-) [16.63]

○すべり面形状No.5は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20°~70°の範囲を5°間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(6/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(6/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
6	地表からF-11断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.4 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※4 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.9と同じすべり面形状。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

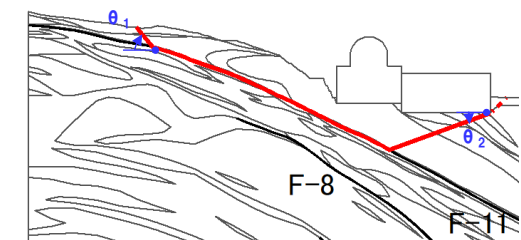
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料6.3章を参照)。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.2 (+,+) [47.76]	4.7 (+,+) [20.48]	5.1 (+,+) [14.47]	5.2 (+,+) [21.66]	5.2 (+,+) [15.22]	5.0 (+,+) [34.47]	5.2 (+,+) [24.29]	3.5 (+,+) [9.05]	3.7 (+,+) [11.29]	3.7 (+,+) [15.61]	3.5 (+,+) [15.81]	4.0 (+,+) [17.48]	4.1 (+,+) [13.12]	4.7 (+,+) [12.29]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
3.8 (-,+) [14.84]	4.0 (-,+) [14.23]	3.9 (+,+) [8.67]	3.7 (+,+) [8.00]	3.9 (+,+) [8.16]	3.3 (-,+) [8.25]	2.4 (+,+) [7.53]	3.2 (+,-) [16.63]

○すべり面形状No.6は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

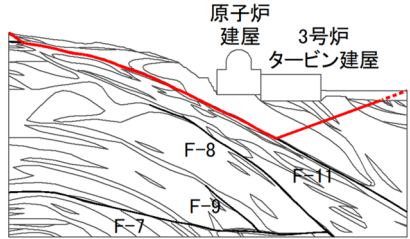
4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(7/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(7/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
7	 解析モデル左端からF-11断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.7 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※4 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.10と同じすべり面形状。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

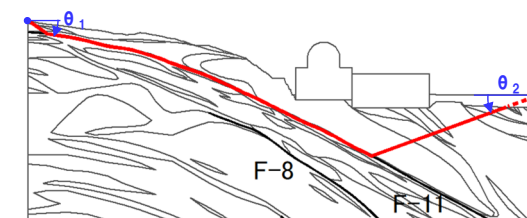
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す
(本編資料6.3章を参照)。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.7 (-,+) [47.61]	5.7 (+,+) [20.46]	6.2 (+,+) [22.72]	6.3 (+,+) [21.66]	6.1 (+,+) [15.45]	6.5 (+,+) [34.74]	6.2 (+,+) [24.29]	4.4 (+,+) [9.06]	4.6 (+,+) [11.31]	4.7 (+,+) [13.10]	4.6 (+,+) [15.81]	4.8 (+,+) [17.49]	5.5 (+,+) [13.13]	6.4 (+,+) [11.01]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.7 (-,+) [14.84]	4.6 (-,+) [14.68]	4.6 (-,+) [10.81]	4.2 (+,+) [9.78]	4.6 (+,+) [8.17]	3.8 (-,+) [8.26]	2.7 (+,+) [7.53]	4.0 (+,-) [17.38]

○すべり面形状No.7は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

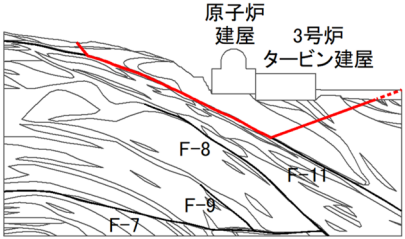
4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(8/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(8/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
8	 地表からF-11断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.8 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※4 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.11と同じすべり面形状。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

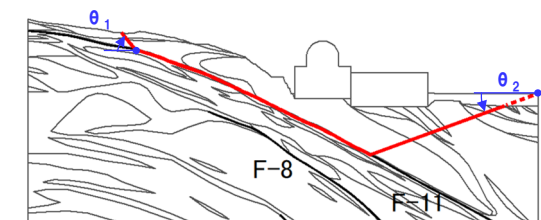
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料6.3章を参照)。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.8 (-, -) [47.56]	5.8 (+, +) [20.46]	6.6 (+, +) [22.72]	6.4 (+, +) [21.65]	6.4 (+, +) [15.43]	6.6 (+, +) [34.73]	6.4 (+, +) [24.28]	4.4 (+, +) [9.05]	4.7 (+, +) [11.29]	4.6 (+, +) [15.60]	4.6 (+, +) [15.80]	5.0 (+, +) [17.48]	5.3 (+, +) [13.12]	6.2 (+, +) [12.28]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.9 (-, +) [14.84]	4.8 (-, +) [14.67]	4.9 (-, +) [10.78]	4.4 (+, +) [8.00]	4.5 (+, +) [8.16]	3.8 (-, +) [8.25]	2.8 (+, +) [7.53]	4.0 (-, +) [6.64]

○すべり面形状No.8は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(9/11)

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(9/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
9	地表からF-8断層を通り 原子炉建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.5 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.12と同じすべり面形状。

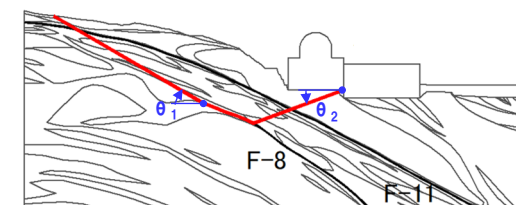
※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※4													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.6 (-, -) [47.57]	5.5 (+, +) [20.48]	6.0 (+, +) [14.47]	6.0 (+, +) [21.67]	6.2 (+, +) [15.23]	5.9 (+, +) [34.75]	6.2 (+, +) [24.30]	3.9 (+, +) [9.06]	4.6 (+, +) [11.96]	4.1 (+, +) [15.61]	3.9 (+, +) [15.81]	4.5 (+, +) [17.49]	4.8 (+, +) [13.11]	5.6 (+, +) [12.30]

すべり安全率※4							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.5 (-, +) [14.85]	4.7 (-, +) [14.40]	4.5 (-, +) [8.91]	4.1 (-, +) [7.77]	4.2 (+, +) [8.17]	3.6 (-, +) [8.27]	2.5 (+, +) [7.53]	3.5 (+, -) [17.39]

○すべり面形状No.9は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(10/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(10/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
10	地表からF-8断層を通り 3号炉タービン建屋基礎右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.7 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※4 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.13と同じすべり面形状。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

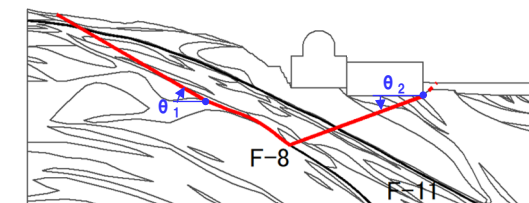
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す(本編資料6.3章を参照)。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.7 (-, -) [47.57]	5.8 (+, +) [20.47]	6.5 (+, +) [22.72]	6.3 (+, +) [21.66]	6.4 (+, +) [15.23]	6.2 (+, +) [34.75]	6.4 (+, +) [24.29]	4.2 (+, +) [9.05]	4.8 (+, +) [11.29]	4.5 (+, +) [15.60]	4.4 (+, +) [15.81]	4.8 (+, +) [17.49]	5.2 (+, +) [13.11]	6.1 (+, +) [12.27]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
4.8 (-, +) [14.84]	4.9 (-, +) [14.69]	4.7 (-, +) [10.81]	4.2 (-, +) [7.77]	4.5 (+, +) [8.17]	3.8 (-, +) [8.27]	2.7 (+, +) [7.53]	3.9 (+, -) [6.80]

○すべり面形状No.10は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

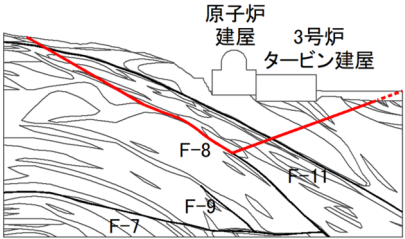
4.2 すべり安全率一覧

⑦すべり安全率評価結果:Y-Y'断面(原子炉建屋等周辺斜面)(11/11)

一部修正(R6/1/19審査会合)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■Y-Y'断面(11/11)

No.	すべり面形状※1	基準地震動※2	最小すべり安全率※3
11	 地表からF-8断層を通り 解析モデル右端に抜けるすべり面	Ss3-4 (+,+)	2.9 [7.53]

— :岩級区分線 --- :すべり面※4 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 Y-Y'断面(原子炉建屋基礎地盤)のすべり面形状No.14と同じすべり面形状。

※2 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

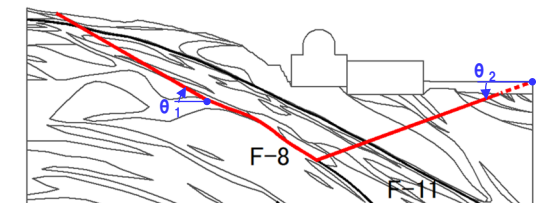
※3 []は発生時刻(秒)を示す。

※4 破線は液状化影響を考慮する範囲を示す
(本編資料6.3章を参照)。

※5 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※5													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
4.2 (-, -) [47.57]	6.6 (+, +) [20.45]	7.3 (+, +) [22.71]	7.2 (+, +) [21.65]	7.2 (+, +) [15.45]	7.4 (+, +) [34.74]	7.2 (+, +) [24.27]	5.0 (+, +) [9.05]	5.5 (+, +) [11.30]	5.3 (+, +) [15.60]	5.4 (+, +) [15.80]	5.7 (+, +) [17.49]	6.2 (+, +) [13.12]	7.6 (+, +) [12.26]

すべり安全率※5							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
5.7 (-, +) [14.84]	5.2 (-, +) [14.67]	5.2 (-, +) [10.80]	4.7 (-, +) [7.77]	5.1 (+, +) [8.16]	4.4 (-, +) [8.26]	2.9 (+, +) [7.53]	4.5 (-, +) [6.64]

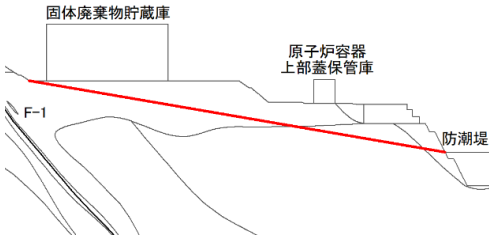
○すべり面形状No.11は、岩盤内を通る角度(θ_1 及び θ_2)をパラメトリックに設定(20° ~ 70° の範囲を5° 間隔)

4.2 すべり安全率一覧

⑧すべり安全率評価結果:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面) (1/3)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■B-B' 断面 (1/3)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	 T.P.39m盤法尻から斜面法尻に抜けるすべり面	Ss1 (-, -)	3.6 (3.1) [35.95]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を, []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率

Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.6 (-, -) [35.95]	12.8 (+, +) [20.46]	15.2 (+, +) [14.44]	16.4 (+, +) [21.65]	18.6 (+, +) [15.19]	18.6 (+, +) [34.72]	17.4 (+, +) [24.28]	9.5 (+, +) [9.01]	11.8 (+, +) [11.48]	11.9 (+, +) [13.07]	9.5 (+, +) [15.78]	12.3 (+, +) [14.38]	12.7 (+, +) [12.86]	13.1 (+, +) [12.27]

すべり安全率

Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
9.7 (+, +) [16.91]	9.3 (+, +) [16.23]	9.2 (-, +) [8.90]	9.5 (-, +) [7.74]	7.9 (+, +) [7.47]	7.8 (-, +) [8.26]	3.9 (+, +) [7.45]	4.8 (+, +) [16.16]

4.2 すべり安全率一覧

⑧すべり安全率評価結果:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面) (2/3)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■B-B' 断面 (2/3)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2		Ss3-4 (+,+)	3.8 [7.45]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。
※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
3.89 (-, -) [35.95]	15.3 (+, +) [20.46]	17.6 (+, +) [14.44]	18.4 (+, +) [21.65]	19.3 (+, +) [13.17]	19.5 (+, +) [33.24]	19.0 (+, +) [24.28]	12.4 (+, +) [9.98]	12.3 (+, +) [12.55]	14.1 (+, +) [13.07]	11.5 (+, +) [15.76]	14.5 (+, +) [17.41]	14.5 (+, +) [12.08]	14.9 (+, +) [12.27]

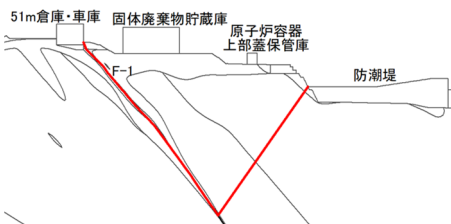
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
11.8 (+, +) [16.90]	8.6 (+, +) [14.76]	11.0 (-, +) [7.87]	11.8 (-, +) [8.12]	7.0 (-, +) [8.25]	9.9 (-, +) [7.71]	3.80 (+, +) [7.45]	4.4 (+, +) [16.15]

4.2 すべり安全率一覧

⑧すべり安全率評価結果:B-B' 断面 (茶津側防潮堤周辺斜面) (3/3)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■B-B' 断面 (3/3)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
3	 地表からF-1断層を通り斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-4 (-,+)	7.8 [7.53]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

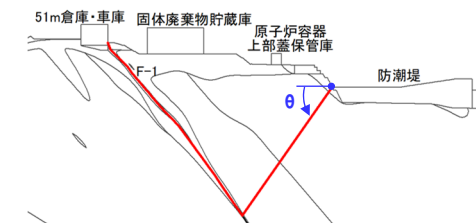
※2 []は発生時刻(秒)を示す。

※3 岩盤内を通る角度をパラメトリックに設定した際の各地震動のすべり安全率の最小値を示す。

すべり安全率※3													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
9.2 (-, -) [47.57]	14.0 (+, +) [20.46]	17.6 (+, +) [14.45]	16.1 (+, +) [21.65]	17.7 (+, +) [15.41]	19.1 (+, +) [34.72]	16.1 (+, +) [24.28]	11.6 (+, +) [9.03]	12.7 (+, +) [11.47]	12.6 (+, +) [15.60]	12.0 (+, +) [15.79]	15.3 (+, +) [17.49]	14.3 (+, +) [12.86]	16.7 (+, +) [12.28]

すべり安全率※3							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
14.4 (-, +) [16.01]	11.0 (-, +) [14.40]	12.1 (+, +) [8.62]	11.7 (+, +) [8.01]	10.0 (+, +) [8.17]	10.3 (-, +) [8.25]	7.8 (-, +) [7.53]	9.5 (+, -) [17.37]

○すべり面形状No.3は、岩盤内を通る角度(θ)をパラメトリックに設定(20° ~55° の範囲を5° 間隔)

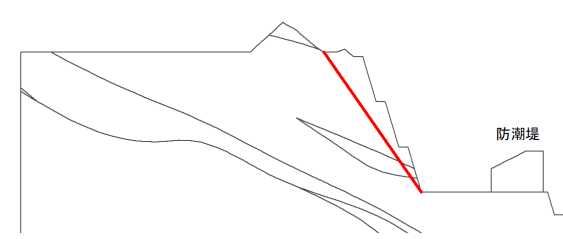


4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(1/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(1/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
1	 T.P.41mから斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	6.8 [11.62]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
9.8 (-,+) [33.58]	24.5 (+,+) [20.45]	25.6 (+,+) [14.44]	25.2 (+,+) [21.65]	26.5 (+,+) [20.51]	26.8 (+,+) [34.91]	26.9 (+,+) [24.25]	22.3 (+,+) [9.97]	21.7 (+,+) [10.42]	23.5 (+,+) [11.64]	21.2 (+,+) [13.17]	21.6 (+,+) [15.75]	23.9 (+,+) [10.43]	21.2 (+,+) [11.98]

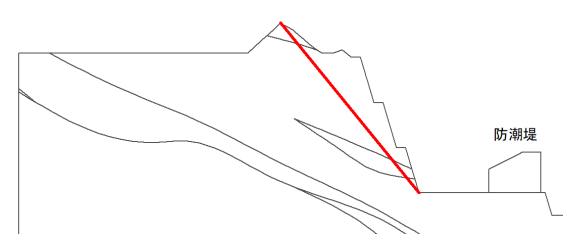
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
15.3 (-,+) [16.79]	14.0 (-,+) [14.73]	9.4 (-,+) [8.47]	14.6 (-,+) [7.73]	9.5 (+,+) [7.48]	9.8 (-,+) [7.23]	11.9 (+,+) [7.45]	6.8 (+,-) [11.62]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(2/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(2/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
2	 T.P.47.6mから斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	4.4 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
7.8 (-,+) [33.57]	18.1 (+,+) [20.45]	20.4 (+,+) [15.13]	20.1 (+,+) [21.65]	21.4 (+,+) [21.06]	21.4 (+,+) [34.97]	21.4 (+,+) [24.26]	18.5 (+,+) [9.97]	17.2 (+,+) [10.42]	18.6 (+,+) [11.64]	17.0 (+,+) [13.18]	17.5 (+,+) [16.58]	19.4 (+,+) [12.86]	16.4 (+,+) [11.98]

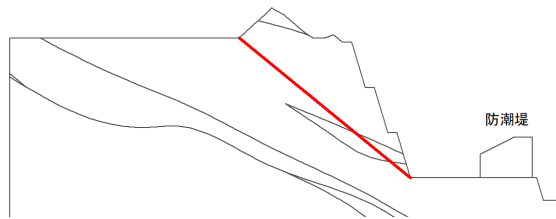
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.0 (-,+) [16.79]	11.5 (-,+) [14.73]	9.1 (-,+) [8.47]	13.0 (-,+) [7.73]	6.9 (+,+) [7.48]	7.6 (-,+) [7.23]	9.9 (+,+) [7.45]	4.4 (+,-) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(3/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(3/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
3	 T.P.41m盤海側法尻から斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	4.2 [11.62]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
6.3 (-,+) [33.57]	11.5 (+,+) [20.45]	12.9 (+,+) [15.14]	12.5 (+,+) [21.66]	13.5 (+,+) [21.06]	13.9 (+,+) [34.69]	13.3 (+,+) [24.26]	11.5 (+,+) [9.98]	10.7 (+,+) [10.42]	11.9 (+,+) [11.65]	10.8 (+,+) [13.18]	11.3 (+,+) [16.58]	12.3 (+,+) [12.86]	10.4 (+,+) [11.98]

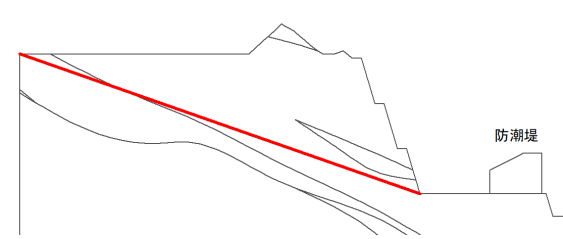
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
8.1 (-,+) [16.79]	7.2 (-,+) [14.73]	6.2 (-,+) [8.47]	8.0 (-,+) [7.73]	6.0 (+,+) [7.48]	6.0 (-,+) [7.23]	7.0 (+,+) [7.60]	4.2 (+,+) [11.62]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C' 断面 (堀株側防潮堤周辺斜面) (4/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C' 断面 (4/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
4	 解析モデル左端から斜面法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	3.8 [11.63]

— : 岩級区分線 — : すべり面 — : 断層

□ : すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
5.4 (-,+) [33.58]	9.8 (+,+) [20.46]	12.1 (+,+) [14.45]	11.2 (+,+) [21.66]	13.2 (+,+) [20.52]	13.1 (+,+) [34.70]	12.5 (+,+) [24.28]	10.7 (+,+) [9.98]	10.7 (+,+) [11.46]	11.1 (+,+) [11.48]	10.0 (+,+) [19.09]	9.9 (+,+) [16.58]	11.7 (+,+) [12.86]	9.2 (+,+) [11.99]

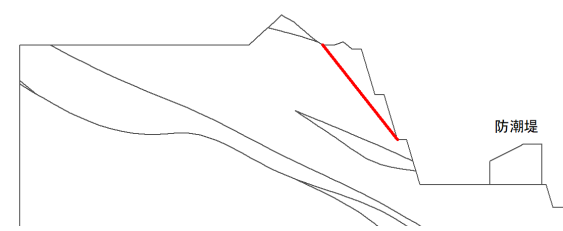
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
7.4 (-,+) [17.51]	6.8 (-,+) [14.73]	6.0 (-,+) [8.47]	6.8 (-,+) [7.73]	5.2 (+,+) [7.48]	5.0 (-,+) [7.23]	5.4 (+,+) [7.52]	3.8 (+,-) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(5/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(5/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
5	 T.P.41mからT.P.20m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	5.1 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
8.2 (-,+) [33.58]	20.6 (+,+) [20.46]	25.8 (+,+) [14.45]	24.8 (+,+) [21.66]	26.6 (+,+) [21.06]	27.4 (+,+) [31.72]	26.5 (+,+) [24.26]	20.5 (+,+) [9.98]	20.6 (+,+) [12.30]	23.5 (+,+) [14.83]	19.7 (+,+) [15.36]	20.1 (+,+) [16.58]	23.7 (+,+) [12.85]	18.7 (+,+) [11.99]

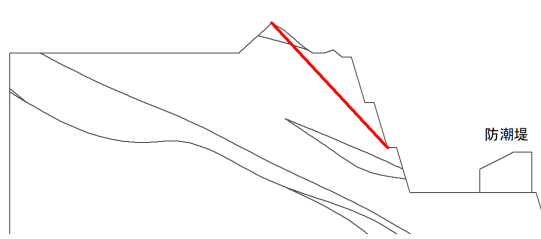
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.0 (-,+) [17.51]	10.6 (-,+) [14.73]	8.2 (-,+) [8.47]	12.3 (-,+) [7.73]	6.7 (+,+) [7.48]	7.3 (-,+) [7.23]	9.5 (+,+) [7.52]	5.1 (+,-) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(6/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(6/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
6	 T.P.47.6mからT.P.20m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	3.3 [11.62]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
6.5 (-,+) [33.58]	20.0 (+,+) [20.46]	22.6 (+,+) [15.14]	22.3 (+,+) [21.66]	23.4 (+,+) [13.18]	24.1 (+,+) [35.21]	22.9 (+,+) [24.26]	20.3 (+,+) [9.98]	19.5 (+,+) [10.42]	20.5 (+,+) [13.08]	19.4 (+,+) [15.36]	19.6 (+,+) [16.58]	21.4 (+,+) [12.85]	18.4 (+,+) [11.99]

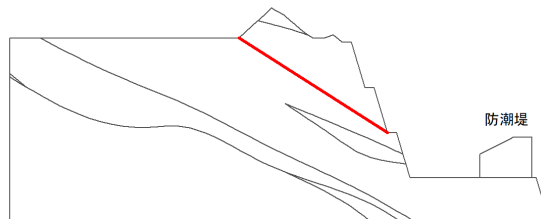
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
13.1 (-,+) [17.51]	10.2 (-,+) [14.73]	7.3 (-,+) [8.47]	12.2 (-,+) [7.73]	6.6 (+,+) [7.48]	6.5 (-,+) [7.23]	8.4 (+,+) [7.52]	3.3 (+,+) [11.62]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(7/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(7/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
7	 T.P.41m盤海側法尻から T.P.20m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,+)	2.4 (2.0) [11.62]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 ()は強度のばらつき(平均-1σ)を考慮したすべり安全率を,
[]は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
4.8 (-,+) [33.57]	11.3 (+,+) [20.45]	13.3 (+,+) [14.45]	12.7 (+,+) [21.66]	14.5 (+,+) [13.18]	15.3 (+,+) [29.38]	14.2 (+,+) [24.26]	11.6 (+,+) [9.98]	10.9 (+,+) [10.42]	12.4 (+,+) [13.08]	10.9 (+,+) [15.36]	11.1 (+,+) [16.58]	13.0 (+,+) [12.86]	10.2 (+,+) [11.98]

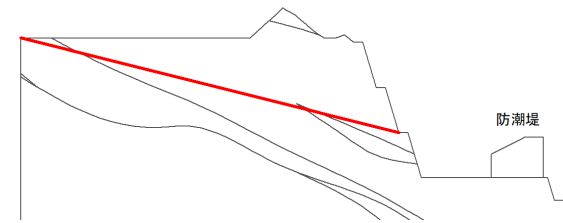
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
7.6 (-,+) [16.79]	6.3 (-,+) [14.73]	5.2 (-,+) [8.47]	7.3 (-,+) [7.73]	3.9 (+,+) [7.48]	4.3 (-,+) [7.22]	5.4 (+,+) [7.52]	2.4 (+,+) [11.62]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(8/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(8/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
8	 解析モデル左端から T.P.20m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	3.9 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
5.7 (-, -) [35.96]	13.1 (+, +) [20.46]	16.4 (+, +) [14.45]	14.7 (+, +) [21.66]	18.3 (+, +) [13.18]	18.3 (+, +) [34.70]	17.7 (+, +) [24.28]	14.1 (+, +) [14.12]	14.0 (+, +) [11.47]	15.3 (+, +) [19.82]	13.5 (+, +) [19.09]	13.5 (+, +) [16.58]	16.8 (+, +) [12.86]	12.4 (+, +) [11.99]

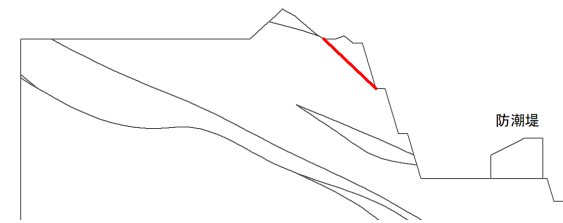
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
9.1 (-, +) [17.51]	7.7 (-, +) [14.73]	7.2 (-, +) [8.47]	8.3 (-, +) [7.73]	5.9 (+, +) [7.48]	5.6 (-, +) [7.23]	6.5 (+, +) [7.52]	3.9 (+, -) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C' 断面 (堀株側防潮堤周辺斜面) (9/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C' 断面 (9/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
9	 T.P.41mからT.P.30m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	4.2 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
6.9 (-, -) [35.97]	24.4 (+, +) [20.45]	31.2 (+, +) [15.14]	30.3 (+, +) [21.66]	34.8 (+, +) [21.06]	35.8 (+, +) [31.72]	31.5 (+, +) [24.26]	28.7 (+, +) [9.02]	25.7 (+, +) [12.30]	27.9 (+, +) [13.08]	25.5 (+, +) [19.09]	25.2 (+, +) [16.58]	29.1 (+, +) [12.86]	26.0 (+, +) [11.99]

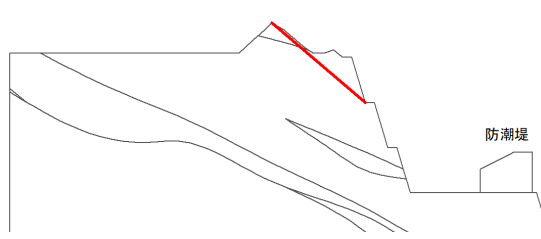
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
14.8 (-, +) [16.79]	10.8 (-, +) [14.73]	7.4 (-, +) [8.47]	14.0 (-, +) [7.73]	5.7 (+, +) [7.48]	7.7 (-, +) [7.23]	8.7 (+, +) [7.52]	4.2 (+, -) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(10/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(10/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
10	 T.P.47.6mからT.P.30m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	5.8 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
9.1 (-, -) [35.97]	29.1 (+, +) [20.46]	33.4 (+, +) [14.45]	32.1 (+, +) [21.66]	36.3 (+, +) [20.51]	36.6 (+, +) [31.72]	34.6 (+, +) [24.26]	30.3 (+, +) [9.02]	29.1 (+, +) [12.30]	30.7 (+, +) [13.08]	28.8 (+, +) [19.09]	28.5 (+, +) [16.58]	32.3 (+, +) [12.85]	27.6 (+, +) [11.99]

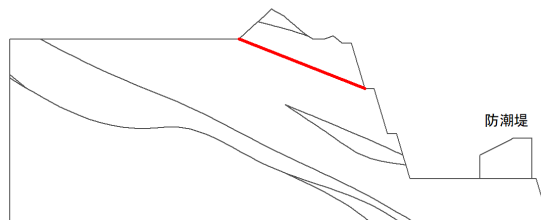
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
18.8 (-, +) [16.79]	13.2 (-, +) [14.73]	10.7 (-, +) [8.47]	17.5 (-, +) [7.74]	8.9 (+, +) [7.48]	8.5 (-, +) [7.23]	11.0 (+, +) [7.52]	5.8 (+, -) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(11/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(11/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
11	 T.P.41m盤海側法尻から T.P.30m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	3.3 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
5.1 (-, -) [35.96]	13.4 (+, +) [20.45]	17.4 (+, +) [14.45]	17.7 (+, +) [21.66]	22.5 (+, +) [13.18]	25.5 (+, +) [29.38]	22.1 (+, +) [24.26]	14.2 (+, +) [9.98]	13.5 (+, +) [12.30]	15.3 (+, +) [11.47]	13.1 (+, +) [15.36]	13.3 (+, +) [16.58]	19.7 (+, +) [12.86]	12.7 (+, +) [11.99]

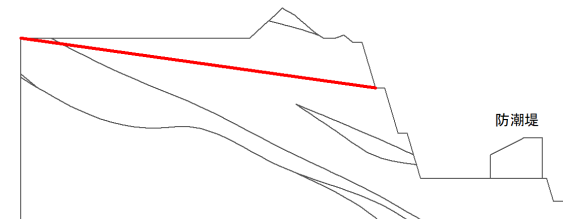
すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
8.9 (-, +) [16.79]	6.3 (-, +) [14.73]	5.3 (-, +) [8.47]	8.5 (-, +) [7.73]	4.8 (+, +) [7.48]	4.8 (-, +) [7.23]	5.6 (+, +) [7.52]	3.3 (+, -) [11.63]

4.2 すべり安全率一覧

⑨すべり安全率評価結果:C-C'断面(堀株側防潮堤周辺斜面)(12/12)

○各基準地震動のすべり安全率一覧を下表に示す。

■C-C'断面(12/12)

No.	すべり面形状	基準地震動※1	最小すべり安全率※2
12	 解析モデル左端から T.P.30m小段法尻に抜けるすべり面	Ss3-5 (+,-)	4.3 [11.63]

— :岩級区分線 — :すべり面 — :断層

□ :すべり安全率の最小値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転,
(+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

すべり安全率													
Ss1	Ss2-1	Ss2-2	Ss2-3	Ss2-4	Ss2-5	Ss2-6	Ss2-7	Ss2-8	Ss2-9	Ss2-10	Ss2-11	Ss2-12	Ss2-13
6.5 (-, -) [35.96]	18.9 (+, +) [20.46]	26.2 (+, +) [14.45]	23.7 (+, +) [21.66]	31.1 (+, +) [13.18]	34.0 (+, +) [34.70]	30.8 (+, +) [24.26]	22.4 (+, +) [14.12]	21.4 (+, +) [11.46]	23.2 (+, +) [11.48]	19.7 (+, +) [19.09]	20.3 (+, +) [16.58]	28.3 (+, +) [12.86]	18.5 (+, +) [11.99]

すべり安全率							
Ss3-1		Ss3-2		Ss3-3		Ss3-4	Ss3-5
ダム軸方向	上下流方向	NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
10.8 (-, +) [17.51]	8.9 (-, +) [14.73]	8.6 (-, +) [8.48]	9.7 (-, +) [7.73]	6.7 (+, +) [7.49]	6.1 (-, +) [7.22]	6.3 (+, +) [7.52]	4.3 (+, -) [11.63]

余白

1. 地質の概要に関する補足	P. 3
2. 解析用物性値に関する補足	P. 17
3. 評価方針に関する補足	P.101
4. 評価結果に関する補足	P.185
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認	P.185
4. 2 すべり安全率一覧	P.227
4. 3 地震時最大接地圧一覧	P.297
4. 4 基礎底面の傾斜一覧	P.305
4. 5 静的非線形解析による検討	P.313
4. 6 解析用物性値の使い分けによる影響	P.337
参考文献	P.356

4.3 地震時最大接地圧一覧

①地震時最大接地圧(原子炉建屋):X-X'断面

○各基準地震動による地震時最大接地圧の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss1	(+,+)	2.0 [35.98]
	(+,-)	1.8 [34.29]
	(-,+)	1.9 [17.36]
	(-,-)	1.8 [35.85]
Ss2-1	(+,+)	1.5 [21.02]
Ss2-2	(+,+)	1.3 [20.53]
Ss2-3	(+,+)	1.4 [19.71]
Ss2-4	(+,+)	1.4 [12.91]
Ss2-5	(+,+)	1.3 [28.56]
Ss2-6	(+,+)	1.4 [22.39]
Ss2-7	(+,+)	1.6 [13.83]
Ss2-8	(+,+)	1.7 [11.77]
Ss2-9	(+,+)	1.8 [12.04]
Ss2-10	(+,+)	1.7 [19.95]
Ss2-11	(+,+)	1.7 [14.45]
Ss2-12	(+,+)	1.5 [11.32]
Ss2-13	(+,+)	1.6 [12.19]

基準地震動※1		地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	1.6 [14.83]
	(-,+)	1.7 [16.12]
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	1.7 [14.73]
	(-,+)	1.7 [15.21]
Ss3-2- NS方向	(+,+)	1.8 [7.91]
	(-,+)	1.8 [7.90]
Ss3-2- EW方向	(+,+)	1.7 [8.16]
	(-,+)	1.7 [7.99]
Ss3-3- NS方向	(+,+)	1.8 [6.94]
	(-,+)	1.7 [8.16]
Ss3-3- EW方向	(+,+)	1.9 [10.86]
	(-,+)	1.9 [7.12]
Ss3-4	(+,+)	2.05 [7.49]
	(-,+)	2.07 [7.50]
Ss3-5	(+,+)	2.0 [6.60]
	(+,-)	1.8 [16.61]
	(-,+)	1.9 [17.39]
	(-,-)	1.9 [16.20]

2.07:地震時最大接地圧の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 3 地震時最大接地圧一覧

②地震時最大接地圧(原子炉建屋):Y-Y'断面

○各基準地震動による地震時最大接地圧の一覧を下表に示す。

基準地震動※1	地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss1	(+,+)
	(+,-)
	(-,+)
	(-,-)
Ss2-1	(+,+)
Ss2-2	(+,+)
Ss2-3	(+,+)
Ss2-4	(+,+)
Ss2-5	(+,+)
Ss2-6	(+,+)
Ss2-7	(+,+)
Ss2-8	(+,+)
Ss2-9	(+,+)
Ss2-10	(+,+)
Ss2-11	(+,+)
Ss2-12	(+,+)
Ss2-13	(+,+)

基準地震動※1	地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-2- NS方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-2- EW方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-3- NS方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-3- EW方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-4	(+,+)
	(-,+)
Ss3-5	(+,+)
	(+,-)
	(-,+)
	(-,-)

□:地震時最大接地圧の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 3 地震時最大接地圧一覧

③地震時最大接地圧（緊急時対策所指揮所）：a-a' 断面

○各基準地震動による地震時最大接地圧の一覧を下表に示す。

基準地震動※1	地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss1	(+,+)
	(+,-)
	(-,+)
	(-,-)
Ss2-1	(+,+)
Ss2-2	(+,+)
Ss2-3	(+,+)
Ss2-4	(+,+)
Ss2-5	(+,+)
Ss2-6	(+,+)
Ss2-7	(+,+)
Ss2-8	(+,+)
Ss2-9	(+,+)
Ss2-10	(+,+)
Ss2-11	(+,+)
Ss2-12	(+,+)
Ss2-13	(+,+)

基準地震動※1	地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-2- NS方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-2- EW方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-3- NS方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-3- EW方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-4	(+,+)
	(-,+)
Ss3-5	(+,+)
	(+,-)
	(-,+)
	(-,-)

□:地震時最大接地圧の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 3 地震時最大接地圧一覧

④地震時最大接地圧（緊急時対策所指揮所）：b-b' 断面

○各基準地震動による地震時最大接地圧の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss1	(+,+)	0.19 [27.60]
	(+,-)	0.19 [33.54]
	(-,+)	0.19 [35.97]
	(-,-)	0.20 [15.95]
Ss2-1	(+,+)	0.15 [21.09]
Ss2-2	(+,+)	0.14 [13.80]
Ss2-3	(+,+)	0.14 [13.65]
Ss2-4	(+,+)	0.14 [19.42]
Ss2-5	(+,+)	0.14 [35.21]
Ss2-6	(+,+)	0.14 [20.88]
Ss2-7	(+,+)	0.16 [8.26]
Ss2-8	(+,+)	0.16 [10.11]
Ss2-9	(+,+)	0.16 [17.58]
Ss2-10	(+,+)	0.16 [13.20]
Ss2-11	(+,+)	0.17 [15.75]
Ss2-12	(+,+)	0.15 [10.44]
Ss2-13	(+,+)	0.15 [12.26]

基準地震動※1		地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.20 [17.05]
	(-,+)	0.18 [19.12]
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.21 [14.07]
	(-,+)	0.19 [18.16]
Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.19 [8.73]
	(-,+)	0.18 [8.47]
Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.18 [8.33]
	(-,+)	0.17 [8.34]
Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.19 [7.61]
	(-,+)	0.18 [9.57]
Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.20 [7.11]
	(-,+)	0.18 [9.72]
Ss3-4	(+,+)	0.19 [7.60]
	(-,+)	0.17 [7.65]
Ss3-5	(+,+)	0.20 [11.64]
	(+,-)	0.18 [16.62]
	(-,+)	0.20 [5.90]
	(-,-)	0.19 [6.19]

 : 地震時最大接地圧の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 3 地震時最大接地圧一覧

⑤地震時最大接地圧(防潮堤):c-c' 断面

○各基準地震動による地震時最大接地圧の一覧を下表に示す。

基準地震動※1	地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss1	(+,+)
	(+,-)
	(-,+)
	(-,-)
Ss2-1	(+,+)
Ss2-2	(+,+)
Ss2-3	(+,+)
Ss2-4	(+,+)
Ss2-5	(+,+)
Ss2-6	(+,+)
Ss2-7	(+,+)
Ss2-8	(+,+)
Ss2-9	(+,+)
Ss2-10	(+,+)
Ss2-11	(+,+)
Ss2-12	(+,+)
Ss2-13	(+,+)

基準地震動※1	地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-2- NS方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-2- EW方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-3- NS方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-3- EW方向	(+,+)
	(-,+)
Ss3-4	(+,+)
	(-,+)
Ss3-5	(+,+)
	(+,-)
	(-,+)
	(-,-)

□:地震時最大接地圧の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 3 地震時最大接地圧一覧

⑥地震時最大接地圧(防潮堤):e-e' 断面

○各基準地震動による地震時最大接地圧の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss1	(+,+)	1.7 [35.98]
	(+,-)	1.5 [18.43]
	(-,+)	1.5 [47.77]
	(-,-)	1.5 [17.32]
Ss2-1	(+,+)	1.3 [20.48]
Ss2-2	(+,+)	1.2 [14.47]
Ss2-3	(+,+)	1.2 [21.67]
Ss2-4	(+,+)	1.2 [15.20]
Ss2-5	(+,+)	1.1 [34.72]
Ss2-6	(+,+)	1.2 [24.29]
Ss2-7	(+,+)	1.4 [9.03]
Ss2-8	(+,+)	1.3 [10.12]
Ss2-9	(+,+)	1.3 [13.09]
Ss2-10	(+,+)	1.4 [13.20]
Ss2-11	(+,+)	1.3 [14.99]
Ss2-12	(+,+)	1.2 [12.12]
Ss2-13	(+,+)	1.4 [12.01]

基準地震動※1		地震時最大接地圧※2 (N/mm ²)
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	1.4 [14.83]
	(-,+)	1.4 [16.12]
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	1.5 [14.74]
	(-,+)	1.3 [15.58]
Ss3-2- NS方向	(+,+)	1.5 [7.90]
	(-,+)	1.4 [9.29]
Ss3-2- EW方向	(+,+)	1.4 [10.67]
	(-,+)	1.4 [9.77]
Ss3-3- NS方向	(+,+)	1.5 [10.03]
	(-,+)	1.3 [10.64]
Ss3-3- EW方向	(+,+)	1.6 [8.27]
	(-,+)	1.6 [7.13]
Ss3-4	(+,+)	1.5 [7.30]
	(-,+)	1.7 [7.50]
Ss3-5	(+,+)	1.6 [16.07]
	(+,-)	1.4 [6.65]
	(-,+)	1.8 [17.39]
	(-,-)	1.6 [7.87]

□:地震時最大接地圧の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

余白

1. 地質の概要に関する補足	P. 3
2. 解析用物性値に関する補足	P. 17
3. 評価方針に関する補足	P.101
4. 評価結果に関する補足	P.185
4. 1 設定したすべり面の妥当性確認	P.185
4. 2 すべり安全率一覧	P.227
4. 3 地震時最大接地圧一覧	P.297
4. 4 基礎底面の傾斜一覧	P.305
4. 5 静的非線形解析による検討	P.313
4. 6 解析用物性値の使い分けによる影響	P.337
参考文献	P.356

4.4 基礎底面の傾斜一覧

①基礎底面の傾斜(原子炉建屋):X-X'断面

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動による基礎底面の傾斜の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		原子炉建屋 (L=58.2m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss1	(+,+)	0.173[36.13]	1/32,000
	(+,-)	0.15[34.30]	1/38,000
	(-,+)	0.15[34.30]	1/38,000
	(-,-)	0.173[36.13]	1/32,000
Ss2-1	(+,+)	0.09[21.17]	1/64,000
Ss2-2	(+,+)	0.04[20.54]	1/140,000
Ss2-3	(+,+)	0.05[13.73]	1/110,000
Ss2-4	(+,+)	0.07[12.90]	1/83,000
Ss2-5	(+,+)	0.05[32.22]	1/110,000
Ss2-6	(+,+)	0.05[22.08]	1/110,000
Ss2-7	(+,+)	0.12[14.08]	1/48,000
Ss2-8	(+,+)	0.12[12.00]	1/48,000
Ss2-9	(+,+)	0.14[12.04]	1/41,000
Ss2-10	(+,+)	0.11[20.10]	1/52,000
Ss2-11	(+,+)	0.13[15.80]	1/44,000
Ss2-12	(+,+)	0.06[11.66]	1/97,000
Ss2-13	(+,+)	0.09[12.19]	1/64,000

基準地震動※1		原子炉建屋 (L=58.2m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.17[14.61]	1/34,000
	(-,+)	0.10[17.05]	1/58,000
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.14[14.45]	1/41,000
	(-,+)	0.14[14.63]	1/41,000
Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.11[6.41]	1/52,000
	(-,+)	0.12[8.14]	1/48,000
Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.11[8.62]	1/52,000
	(-,+)	0.13[8.83]	1/44,000
Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.16[7.48]	1/36,000
	(-,+)	0.14[6.47]	1/41,000
Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.12[11.01]	1/48,000
	(-,+)	0.176[7.49]	1/32,000
Ss3-4	(+,+)	0.16[7.73]	1/36,000
	(-,+)	0.11[8.08]	1/52,000
Ss3-5	(+,+)	0.16[16.44]	1/36,000
	(+,-)	0.14[16.65]	1/41,000
	(-,+)	0.14[16.65]	1/41,000
	(-,-)	0.16[16.44]	1/36,000

0.176[7.49]: 基礎底面の傾斜の最大値

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 4 基礎底面の傾斜一覧

②基礎底面の傾斜(原子炉建屋):Y-Y' 断面

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動による基礎底面の傾斜の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		原子炉建屋 (L=79.1m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss1	(+,+)	0.39[47.64]	1/20,000
	(+,-)	0.35[36.07]	1/22,000
	(-,+)	0.35[36.07]	1/22,000
	(-,-)	0.39[47.64]	1/20,000
Ss2-1	(+,+)	0.16[27.74]	1/49,000
Ss2-2	(+,+)	0.16[15.38]	1/49,000
Ss2-3	(+,+)	0.09[22.55]	1/87,000
Ss2-4	(+,+)	0.16[13.16]	1/49,000
Ss2-5	(+,+)	0.15[34.66]	1/52,000
Ss2-6	(+,+)	0.14[21.02]	1/56,000
Ss2-7	(+,+)	0.25[9.13]	1/31,000
Ss2-8	(+,+)	0.27[11.86]	1/29,000
Ss2-9	(+,+)	0.24[13.17]	1/32,000
Ss2-10	(+,+)	0.23[15.87]	1/34,000
Ss2-11	(+,+)	0.20[17.56]	1/39,000
Ss2-12	(+,+)	0.17[10.75]	1/46,000
Ss2-13	(+,+)	0.13[11.19]	1/60,000

基準地震動※1		原子炉建屋 (L=79.1m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.18[16.49]	1/43,000
	(-,+)	0.27[14.89]	1/29,000
Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.27[14.48]	1/29,000
	(-,+)	0.30[14.29]	1/26,000
Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.22[8.71]	1/35,000
	(-,+)	0.21[8.37]	1/37,000
Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.26[9.80]	1/30,000
	(-,+)	0.23[10.23]	1/34,000
Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.24[8.51]	1/32,000
	(-,+)	0.22[8.25]	1/35,000
Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.26[8.99]	1/30,000
	(-,+)	0.26[8.10]	1/30,000
Ss3-4	(+,+)	0.38[7.59]	1/20,000
	(-,+)	0.43[7.57]	1/18,000
Ss3-5	(+,+)	0.29[16.68]	1/27,000
	(+,-)	0.36[16.68]	1/21,000
	(-,+)	0.36[16.68]	1/21,000
	(-,-)	0.29[16.68]	1/27,000

 : 基礎底面の傾斜の最大値

 : 本編資料「5. 3 地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価」に用いる傾斜

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし, (-,+)は水平反転, (+,-)は鉛直反転, (-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 4 基礎底面の傾斜一覧

③基礎底面の傾斜（緊急時対策所指揮所）：a-a' 断面

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動による基礎底面の傾斜の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		緊急時対策所指揮所 (L=15.65m)		基準地震動※1		緊急時対策所指揮所 (L=15.65m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜			最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss1	(+,+)	0.03[36.15]	1/52,000	Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.03[17.08]	1/52,000
	(+,-)	0.03[47.95]	1/52,000		(-,+)	0.03[17.05]	1/52,000
	(-,+)	0.03[47.95]	1/52,000	Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.03[14.91]	1/52,000
	(-,-)	0.03[36.15]	1/52,000		(-,+)	0.04[17.06]	1/39,000
Ss2-1	(+,+)	0.02[25.38]	1/78,000	Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.03[8.56]	1/52,000
Ss2-2	(+,+)	0.01[15.70]	1/150,000		(-,+)	0.03[8.81]	1/52,000
Ss2-3	(+,+)	0.01[22.18]	1/150,000	Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.02[7.57]	1/78,000
Ss2-4	(+,+)	0.02[14.21]	1/78,000		(-,+)	0.02[10.90]	1/78,000
Ss2-5	(+,+)	0.01[31.43]	1/150,000	Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.02[8.49]	1/78,000
Ss2-6	(+,+)	0.01[30.31]	1/150,000		(-,+)	0.03[7.68]	1/52,000
Ss2-7	(+,+)	0.02[6.70]	1/78,000	Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.03[7.23]	1/52,000
Ss2-8	(+,+)	0.02[10.74]	1/78,000		(-,+)	0.03[7.19]	1/52,000
Ss2-9	(+,+)	0.02[11.66]	1/78,000	Ss3-4	(+,+)	0.02[7.65]	1/78,000
Ss2-10	(+,+)	0.02[13.18]	1/78,000		(-,+)	0.02[7.69]	1/78,000
Ss2-11	(+,+)	0.02[16.86]	1/78,000	Ss3-5	(+,+)	0.03[17.42]	1/52,000
Ss2-12	(+,+)	0.01[11.53]	1/150,000		(+,-)	0.03[10.70]	1/52,000
Ss2-13	(+,+)	0.02[11.65]	1/78,000		(-,+)	0.03[10.70]	1/52,000
					(-,-)	0.03[17.42]	1/52,000

 : 基礎底面の傾斜の最大値

※1 基準地震動の (+,+) は位相反転なし, (-,+) は水平反転, (+,-) は鉛直反転, (-,-) は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 [] は発生時刻 (秒) を示す。

4. 4 基礎底面の傾斜一覧

④基礎底面の傾斜（緊急時対策所指揮所）：b-b' 断面

一部修正 (R6/1/19審査会合)

○各基準地震動による基礎底面の傾斜の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		緊急時対策所指揮所 (L=15.65m)		基準地震動※1		緊急時対策所指揮所 (L=15.65m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜			最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss1	(+,+)	0.04[36.08]	1/39,000	Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.04[17.05]	1/39,000
	(+,-)	0.04[47.58]	1/39,000		(-,+)	0.03[14.33]	1/52,000
	(-,+)	0.04[47.58]	1/39,000	Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.04[15.69]	1/39,000
	(-,-)	0.04[36.08]	1/39,000		(-,+)	0.04[17.05]	1/39,000
Ss2-1	(+,+)	0.02[27.74]	1/78,000	Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.03[8.50]	1/52,000
Ss2-2	(+,+)	0.02[20.15]	1/78,000		(-,+)	0.03[7.88]	1/52,000
Ss2-3	(+,+)	0.02[22.36]	1/78,000	Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.03[7.58]	1/52,000
Ss2-4	(+,+)	0.02[14.32]	1/78,000		(-,+)	0.03[8.01]	1/52,000
Ss2-5	(+,+)	0.02[34.73]	1/78,000	Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.03[6.93]	1/52,000
Ss2-6	(+,+)	0.02[26.04]	1/78,000		(-,+)	0.04[7.50]	1/39,000
Ss2-7	(+,+)	0.03[9.91]	1/52,000	Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.03[7.23]	1/52,000
Ss2-8	(+,+)	0.03[10.20]	1/52,000		(-,+)	0.04[8.26]	1/39,000
Ss2-9	(+,+)	0.03[13.24]	1/52,000	Ss3-4	(+,+)	0.04[7.38]	1/39,000
Ss2-10	(+,+)	0.03[16.68]	1/52,000		(-,+)	0.03[7.69]	1/52,000
Ss2-11	(+,+)	0.02[15.52]	1/78,000	Ss3-5	(+,+)	0.05[17.37]	1/31,000
Ss2-12	(+,+)	0.02[12.01]	1/78,000		(+,-)	0.04[16.18]	1/39,000
Ss2-13	(+,+)	0.02[12.00]	1/78,000		(-,+)	0.04[16.18]	1/39,000
					(-,-)	0.05[17.37]	1/31,000

 : 基礎底面の傾斜の最大値

 : 本編資料「5. 3 地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価」に用いる傾斜

※1 基準地震動の (+,+) は位相反転なし, (-,+) は水平反転, (+,-) は鉛直反転, (-,-) は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 [] は発生時刻 (秒) を示す。

4. 4 基礎底面の傾斜一覧

⑤基礎底面の傾斜(防潮堤):c-c' 断面

○各基準地震動による基礎底面の傾斜の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		防潮堤 (L=30m)		基準地震動※1		防潮堤 (L=30m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜			最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss1	(+,+)	0.32[47.59]	1/9,300	Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.22[14.64]	1/13,000
	(+,-)	0.31[40.56]	1/9,600		(-,+)	0.20[16.15]	1/15,000
	(-,+)	0.31[40.56]	1/9,600	Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.24[13.97]	1/12,000
	(-,-)	0.32[47.59]	1/9,300		(-,+)	0.28[14.93]	1/10,000
Ss2-1	(+,+)	0.18[20.49]	1/16,000	Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.27[7.91]	1/11,000
Ss2-2	(+,+)	0.16[14.47]	1/18,000		(-,+)	0.27[7.91]	1/11,000
Ss2-3	(+,+)	0.17[21.67]	1/17,000	Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.22[8.03]	1/13,000
Ss2-4	(+,+)	0.12[20.63]	1/25,000		(-,+)	0.24[10.16]	1/12,000
Ss2-5	(+,+)	0.13[34.46]	1/23,000	Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.29[6.24]	1/10,000
Ss2-6	(+,+)	0.15[24.30]	1/20,000		(-,+)	0.31[10.05]	1/9,600
Ss2-7	(+,+)	0.32[9.05]	1/9,300	Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.30[7.15]	1/10,000
Ss2-8	(+,+)	0.33[10.24]	1/9,000		(-,+)	0.35[7.25]	1/8,500
Ss2-9	(+,+)	0.26[11.40]	1/11,000	Ss3-4	(+,+)	0.36[7.51]	1/8,300
Ss2-10	(+,+)	0.29[15.81]	1/10,000		(-,+)	0.36[7.32]	1/8,300
Ss2-11	(+,+)	0.23[14.52]	1/13,000	Ss3-5	(+,+)	0.36[7.89]	1/8,300
Ss2-12	(+,+)	0.24[12.98]	1/12,000		(+,-)	0.40[17.41]	1/7,500
Ss2-13	(+,+)	0.17[12.03]	1/17,000		(-,+)	0.40[17.41]	1/7,500
					(-,-)	0.36[7.89]	1/8,300

□:基礎底面の傾斜の最大値

□:本編資料「5. 3 地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価」に用いる傾斜

※1 基準地震動の(+,+)は位相反転なし、(-,+)は水平反転、(+,-)は鉛直反転、(-,-)は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 []は発生時刻(秒)を示す。

4. 4 基礎底面の傾斜一覧

⑥基礎底面の傾斜(防潮堤):e-e'断面

○各基準地震動による基礎底面の傾斜の一覧を下表に示す。

基準地震動※1		防潮堤 (L=25m)		基準地震動※1		防潮堤 (L=25m)	
		最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜			最大相対変位量※2 (cm)	最大傾斜
Ss1	(+,+)	0.23[47.59]	1/10,000	Ss3-1- ダム軸方向	(+,+)	0.17[16.04]	1/14,000
	(+,-)	0.20[25.30]	1/12,000		(-,+)	0.15[14.85]	1/16,000
	(-,+)	0.20[25.30]	1/12,000	Ss3-1- 上下流方向	(+,+)	0.21[14.10]	1/11,000
	(-,-)	0.23[47.59]	1/10,000		(-,+)	0.21[14.75]	1/11,000
Ss2-1	(+,+)	0.12[20.48]	1/20,000	Ss3-2- NS方向	(+,+)	0.17[8.06]	1/14,000
Ss2-2	(+,+)	0.10[14.47]	1/25,000		(-,+)	0.16[8.51]	1/15,000
Ss2-3	(+,+)	0.13[22.36]	1/19,000	Ss3-2- EW方向	(+,+)	0.15[9.79]	1/16,000
Ss2-4	(+,+)	0.09[13.56]	1/27,000		(-,+)	0.15[8.77]	1/16,000
Ss2-5	(+,+)	0.08[36.77]	1/31,000	Ss3-3- NS方向	(+,+)	0.19[7.65]	1/13,000
Ss2-6	(+,+)	0.09[24.78]	1/27,000		(-,+)	0.22[10.04]	1/11,000
Ss2-7	(+,+)	0.14[9.93]	1/17,000	Ss3-3- EW方向	(+,+)	0.24[7.14]	1/10,000
Ss2-8	(+,+)	0.17[10.22]	1/14,000		(-,+)	0.20[8.04]	1/12,000
Ss2-9	(+,+)	0.12[13.23]	1/20,000	Ss3-4	(+,+)	0.20[7.51]	1/12,000
Ss2-10	(+,+)	0.13[16.71]	1/19,000		(-,+)	0.23[7.31]	1/10,000
Ss2-11	(+,+)	0.13[14.49]	1/19,000	Ss3-5	(+,+)	0.24[17.40]	1/10,000
Ss2-12	(+,+)	0.10[11.18]	1/25,000		(+,-)	0.31[17.39]	1/8,000
Ss2-13	(+,+)	0.12[12.02]	1/20,000		(-,+)	0.31[17.39]	1/8,000
					(-,-)	0.24[17.40]	1/10,000

 : 基礎底面の傾斜の最大値

※1 基準地震動の (+,+) は位相反転なし, (-,+) は水平反転, (+,-) は鉛直反転, (-,-) は水平反転かつ鉛直反転を示す。

※2 [] は発生時刻 (秒) を示す。

余白